

特 記 仕 様 書

I. 工 事 概 要

(○印の付いた「・」の項目を適用する)

1. 工 事 名 武岡住宅１０１号棟新築電気設備工事
2. 工事場所 鹿児島市武岡二丁目２番地１
3. 工 期 本工事の工期は、令和９年７月３０日までとする。
4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階数	※延べ面積(m ²)	消防法別表	備 考
武岡住宅１０１号棟	鉄筋コンクリート造	9階建	3,818.24	5項（ロ）	

※ ・建築基準法による表記 ・文部科学省算定床面積 ・その他（ ）

5. 工事種目

(○印の付いた「工事種目」を適用する)

工 事 種 目		工 事 種 別			
		本 工 事			
1. 電 灯 設 備	一式	○			
2. 動 力 設 備	一式	○			
3. 電 熱 設 備	一式				
4. 雷 保 護 設 備	一式	○			
5. 受 変 電 設 備	一式				
6. 電 力 貯 蔵 設 備	一式				
7. 自 家 発 電 設 備	一式				
8. 構 内 情 報 通 信 網 設 備	一式				
9. 構 内 交 換 設 備	一式	○			
10. 情 報 表 示 設 備	一式				
11. 映 像 ・ 音 響 設 備	一式				
12. 拡 声 設 備	一式				
13. 誘 導 支 援 装 置	一式				
14. テレビ共同受信設備	一式	○			
15. テレビ電波障害防除装置	一式				
16. 監視カメラ設備	一式				
17. 駐車場管制設備	一式				
18. 入 退 室 管 理 装 置	一式				
19. 自動火災報知設備	一式	○			
20. 自動閉鎖設備	一式				
21. 非常警報設備	一式				
22. ガス漏れ火災警報設備	一式				
23. 中 央 監 視 設 備	一式				
24. 構 内 配 電 設 備	一式	○			
25. 構 内 通 信 線 路 設 備	一式				
26. 太 陽 光 発 電 設 備	一式				

6. 鹿児島市建設工事請負契約書第33条に基づく部分使用
○無 ・有（範囲、時期については監督員の指示による）
7. 鹿児島市建設工事請負契約書第38条に基づく指定部分
○無 ・有（範囲、時期については監督員の指示による）

II. 一般事項

(○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する)

- ① 本工事は、公共工事であることを十分に認識し、工事の施工に当たって必要な官公署その他への手続きは速やかに行い、建築基準法、労働安全衛生法、建設工事公衆災害防止対策要綱及びその他関係法令を遵守し、災害及び事故の防止並びに環境の保全に努めること。
- ② 本工事の施工において、関係法令により資格が必要な作業については有資格者が行うこと。
- ③ 本工事の関連工事に従事する別契約の受注者とは、関連の工程・段取り等を事前に十分協議し、相互理解の上で施工すること。
- ④ 安全管理をはじめとする、その他の諸管理に十分留意して作業を行うこと。
- ⑤ 本工事の施工に当たっては、地場産業育成の見地に立ってでき得る限り、市内の専門業者や労働者の活用を図ること。また、資材についても同じように市内業者からの購入に努めること。
- ⑥ 元請業者は、下請業者の施工能力の向上・雇用管理・労働安全管理等の措置に関し、必要な指導、助言その他の援助を行い、両者の合理的な関係の確立に努めること。
- ⑦ 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- ⑧ 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- (1) 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
- (2) 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- (3) 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- (4) その他監督員が記載を指示した業務等
- ⑨ 本工事の施工業者は、建設業退職金共済制度の趣旨をふまえ、この制度の活用に努めること。
- ⑩ 建設業法第26条及び同施行令第27条に規定する監理技術者については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。
- ⑪ 設計図書に明記なき事項といえども、機能上、技術上必要と認められるものは監督員と協議のうえ、施工すること。
- ⑫ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後10日以内（土、日、祝日等を除く）に（一財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。また、登録完了後は、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録

内容確認書」を、直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。

- ⑬ 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。なお、地震、大雨及び台風等が発生した場合は、直ちに工事現場の被災状況を調査し、被災の有無にかかわらずその状況を監督員に報告すること。
- ⑭ 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告し、適切に対応すること。
- (低入札価格調査に基づく措置)
- 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。
- ⑮ 施工体制の強化
- (1) 低入札価格調査の対象となった工事（以下「調査対象工事」という。）には、専任の主任技術者等を配置すること。
- (2) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。
- ア 65点未満の工事成績評定を通知された場合
- イ 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合
- ウ 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合
- エ 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合
- ⑯ 監督体制の強化
- (1) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときは、これに応じなければならない。
- (2) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。
- (工事実施)
- ⑰ 工事現場での通行、運搬、掘削、舗装等の作業に当たっては、特に現場周辺の住民及び通行人への危険防止に万全の注意を払うとともに、昼夜間を問わず、十分なる安全対策を行い、事故の皆無を期すること。また、工事現場周辺の側溝、その他の公共物を土砂やモルタル等の残材等で埋没させないように特に注意すること。埋没させた場合は速やかに受注者の負担で復旧すること。
- ⑱ 本工事の施工現場の詰め所等においては、火気責任者を定め、火気の取り扱いには十分注意すること。（下請業者への指導を含む。）
- ⑲ 本工事の施工に当たって、支障物件を発見し、工事の進捗に影響があると思われる場合には、速やかに監督員に連絡し、互いに協議の後、監督員の指示により処理すること。なお、軽微なものについて、これに要する費用は受注者の負担とする。
- (屋内に使用する材料等)
20. ホルムアルデヒドを発生する資材を使用する場合、居室内はF☆☆☆☆規格、居室へホルムアルデヒドが流入する恐れのある床下及び天井裏は、F☆☆☆規格以上にそれぞれ適合すること。但し、これによりがたい場合は監督員と協議し、承諾を得ること。
- ※ 対象となる材料
- 木質建材（合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等）、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、保温材、接着剤、仕上げ塗料等。
- 注) デアガラリ等により連通され、居室への流入が見込まれるトイレ等は、居室と一体化とみなす。
21. クロルビリホスを添加しないこと。クロルビリホスを添加した材料でないこと。
22. 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性系のものとする。（水廻り及び湿度の高い箇所を除く。）但し、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの拡散が極力小さいものとする。
- (契約不適合担保責任検査)
- ⑳ 契約不適合担保責任（鹿児島市建設工事請負契約書第41条）の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。
- (火災保険等)
- ㉑ 請負契約締結後速やかに、次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間（24時まで）とする。
- 火災保険等（工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等）等に生じる損害を填補）
- 請負業者賠償責任保険（工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補）
- 保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。
- (法定外労災保険の付保等について)
- ㉒ 法定外の労災保険の付保
- 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間（24時まで）とする。
- ㉓ 墜落制止用器具の使用について
- 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。
- (前払金・中間前払金)
- ㉔ 前払金 ※請求することができる ○令和7年度中に請求すること
- ㉕ 中間前払金
- (1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前払金か部分払かのいずれかを選択すること。なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合は、中間前払金は行わない。
- (2) 中間前払金を受け取るための要件（全て満たすこと。）
- ア 請負金額の10分の4の前払金が含まれていること。
- イ 工期の2分の1を経過していること。
- ウ 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
- エ 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。
- (3) 中間前払金の割合について

- 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。
- (営繕工事における週休2日工事について)
- ㉙ 実施に当たっては、鹿児島県「営繕工事における「週休2日」工事実施要領（令和7年8月1日施行）（以下、「実施要領」という。）」を準用するものとする。なお、実施要領は鹿児島県ホームページから入手できる。
- (桜島地区の工事について)
30. 本工事は、「桜島地域営繕工事における渡船料算出等取扱要領」に基づき対応を行う。「桜島地域営繕工事における渡船料算出等取扱要領」は鹿児島市ホームページから入手できる。
- (路上工事の一時中止について)
31. 「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」に基づき、下記の期間は路上の工事を原則一時中止するものとする。
- ・令和7年4月25日(金)22時から令和7年5月7日(水)9時 事由：ゴールデンウィーク
- ・令和7年8月8日(金)22時から令和7年8月18日(月)9時 事由：お盆
- ・令和7年12月26日(金)22時から令和8年1月5日(月)9時 事由：年末年始
- なお、日時は変更することもあるため、詳細については監督員と協議し、かつその指示に従うものとする。
- (街区基準点等について)
32. 街区基準点等付近での工事等については、街区基準点等の亡失、き損の防止を念頭に、「鹿児島市国土調査権限等管理保全要綱」に従い、所定の様式を監督員に提出し、監督員の指示に従わなければならない。
33. 工事の施工において、施工範囲に境界点、公共基準点等の標識が設置されている場合においても亡失、き損してはならない。工事の支障となる場合は、監督員へ報告の上、保護・復旧措置等について協議するものとする。
- (暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置)
- ④ 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
- (環境基本計画)
- ⑤ 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。
- ⑥ 本工事に使用する建設機械については、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」第10条第1項に基づく「鹿児島県環境物品等調達方針」に適合するものを使用すること。
- ⑦ 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」第10条第1項に基づく「鹿児島県環境物品等調達方針」適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。
- ⑧ 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提供の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。
- ⑨ 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を撤出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに務めること。
- (低騒音型建設機械の使用の原則化)
- ⑩ 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示し、工事完成図書に写真を添付すること。
- (現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合)
- ⑪ 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合
- 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合には、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。
- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。
- (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間。
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。
- また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。
- (4) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間。
- ⑫ 発注者への報告
- 前項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。
- (現場代理人の兼任)
- ⑬ 現場代理人の兼任を認める工事
- 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の（1）から（5）の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。
- なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、（2）、（4）、（5）の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。
- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。
- (3) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。

- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。また、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。
- ⑭ 手続き
- 現場代理人の兼任を行う場合には、「現場代理人の兼任（変更）申請書（第11-1号様式）」を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等変更通知書」により、発注者に通知すること。
- なお、それぞれの工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。
- ⑮ 受注者に対する措置請求
- 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。
- (監理技術者等の途中交代)
- ⑯ 「監理技術者制度運用マニュアル」に明記された監理技術者等の途中交代に関する条件に該当し、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合は途中交代が可能となる。
- (監理技術者等の途中交代の試行について)
- ⑰ 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。
- (1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。
- (2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。
- (施工体制点検等への協力)
- ⑱ 請負代金額が4,500万円（建築一式工事は9,000万円）以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円（建築一式工事は9,000万円）未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。
- (ダンプトラック等による過積載等の防止について)
- ⑲ 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- ⑳ 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- ㉑ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- ㉒ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
- ㉓ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- ㉔ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- ㉕ 49項から54項のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
- (電子納品)
- ㉖ 電子納品
- (1) 本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン（案）【建築・設備編】」（以下、ガイドラインという。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。
- (2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD-R又はDVD-R）で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
- (架空線の防護措置について)
- ⑲ 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理業者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。（公共工事における現場一斉閉鎖の実施について）
- ⑳ 受注者は、公共工事における現場一斉閉鎖の実施に協力するものとする。なお、現場閉鎖の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。
- (道路占用許可申請及び道路使用許可申請について)
59. 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。なお、道路占用料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。

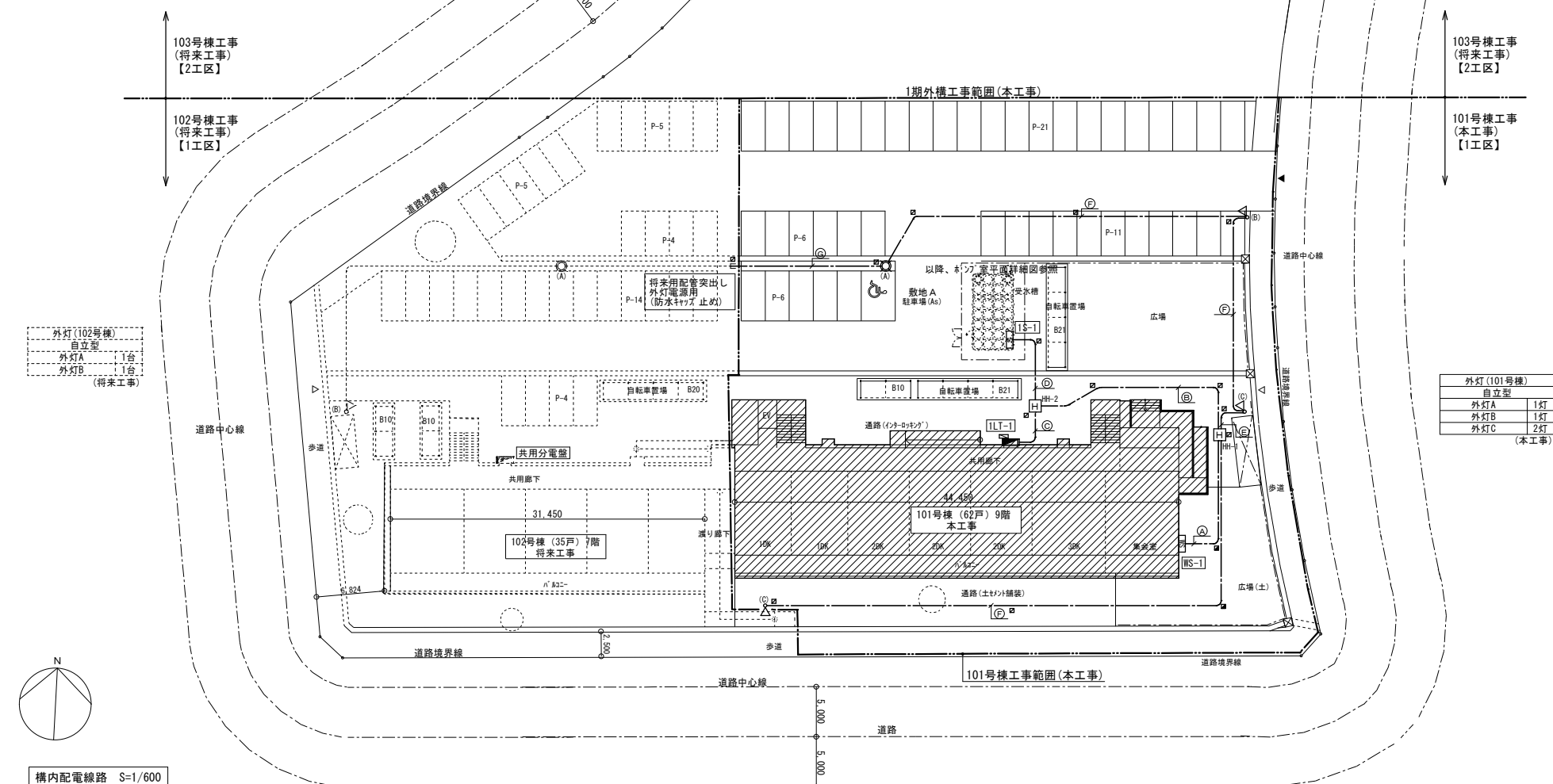
III. 建設副産物

(○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する)

- (共通事項)
- ① 発生材の処理
- (1) 引渡しを要するもの ・有（ ） ○無
- (2) 廃棄処分するもの ・有 ○無
- (3) 再生処理又は再資源化を図るもの ・有 ○無
2. 建設副産物の処理における、運搬及びその処理費用は本工事費に含む。
3. 建設副産物は、再生処理又は再資源化することを原則とし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「建設工事公衆災害防止対策要綱」、「建設副産物適正処理推進要綱」及び「鹿児島市建設局における再生資源活用工事実施要領（鹿児島市）」を遵守するとともに、マニフェスト（産業廃棄物管理票）システムにより適正処理を行うこと。また、産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合は、契約書及び、許可証の写しを監督員に提出すること。

別表4
令和7年度版改訂（改訂1）
別表5
令和7年度版改訂（改訂2）
別表6
令和7年度版改訂（改訂3）
別表7
令和7年度版改訂（改訂4）
別表8
令和7年度版改訂（改訂5）

武岡住宅１０１号棟新築電気設備工事			
特記仕様書（１）		NO SCALE	1
鹿児島市建設局建築部設備課			全４０



工事内容

1. 101号棟新築に伴う、住戸内・共用部・ポンプ室・屋外の電気設備工事一式

特記事項

- 1) 101号棟新築に伴って仮囲いは住居者が往来しているので、安全確保し十分注意して作業を行うこと。
- 2) 本工事で工前に現地調査を十分行い施工すること。
- 3) 本工事において、監督職員と十分協議し、承諾を得た後作業に着手すること。
- 4) 工事期間中は安全作業に努めると共に火気にも十分注意して作業すること。
- 5) 屋外露出及び多量箇所の支持金物・ボルトナット類は全てステンレス製（SUS304）とする。
- 6) 施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督職員に連絡、協議を行うこと。
- 7) 機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について監督職員と協議すること。また、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。

注記

1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による		
記 号	配 線	保護管
<u>5.5^φ</u>	EM-IE5.5 ^φ	(VE16)
<u>C</u>	空配管	(傍記とする)
2) ㊦：配線リスト参照		
3) ハンド・ホム内配線には合成樹脂製、フ Ain [®] 製の行先表示札を取り付けること		
4) ハンド・ホム設置詳細位置は、監督職員と協議の上決定すること		
5) ハンド・ホム内金物には、ED 埋接地 (EM-IE5.5 ^φ) を取ること		

配線リスト

	配 線	保護管	径 間		種 別
Ⓐ	EM-CE38 ³ E5. 5 ² × 2 —C—	(FEP50) (FEP65 × 2)	引込開閉器盤 (WS-1)	～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1) 	3 φ 3W
Ⓑ	EM-CE38 ³ E5. 5 ² × 2 —C—	(FEP50) (FEP65 × 2)	引込開閉器盤 (WS-1)	～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1) 	3 φ 3W
	EM-CE3. 5 ² -3C 1C:E	(FEP30)	共用電灯・端子盤 (1LT-1)	～ 各外灯 	1 φ 2W (100V)
Ⓒ	EM-CE3. 5 ² -3C 1C:E EM-CE3. 5 ² -2C EM-CEE2 ² -4C	(FEP40～ZnGP36)	共用電灯・端子盤 (1LT-1) 共用電灯・端子盤 (1LT-1) 共用電灯・端子盤 (1LT-1)	～ 各外灯  ～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1)  ～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1)	1 φ 2W (100V) 1 φ 2W (100V) 警報
Ⓓ	EM-CE38 ³ E5. 5 ² × 2 EM-CE3. 5 ² -2C EM-CEE2 ² -4C	(FEP50) (FEP30) (FEP30)	引込開閉器盤 (WS-1) 共用電灯・端子盤 (1LT-1) 共用電灯・端子盤 (1LT-1)	～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1)  ～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1)  ～ 8' 2" 室手元開閉器盤 (IS-1)	3 φ 3W 1 φ 2W (100V) 警報
Ⓔ	EM-CE3. 5 ² -3C 1C:E EM-CE3. 5 ² -3C 1C:E EM-CE3. 5 ² -3C 1C:E	(FEP30) (FEP30)	共用電灯・端子盤 (1LT-1) 各外灯 各外灯	～ 各外灯  ～ 各外灯  ～ 各外灯 	1 φ 2W (100V) 1 φ 2W (100V) 1 φ 2W (100V)
Ⓕ	EM-CE3. 5 ² -3C 1C:E —C—	(FEP30) (FEP30)	各外灯 予備 (102号棟外灯用)	～ 各外灯  	1 φ 2W (100V) 1 φ 2W (100V)

ハンドホール仕様・附属品リスト

記 号	寸 法	蓋	ハンガーポスト	ケーブルハンガー	支持碕石	足場金物	調整リング
HH-1	600×600×900 (H1-9)	重荷重 (耐スリッパ型)	600×75×75×9 2個	210×t6 2個	50 2個	200×120×16φ 1個	H=100 1個
HH-2	600×600×900 (H1-9)	重荷重 (耐スリッパ型)	600×75×75×9 2個	210×t6 2個	50 2個	200×120×16φ 1個	H=100 1個

外灯(101号棟)	
自立型	
外灯A	1灯
外灯B	1灯
外灯C	2灯
















(本工事)

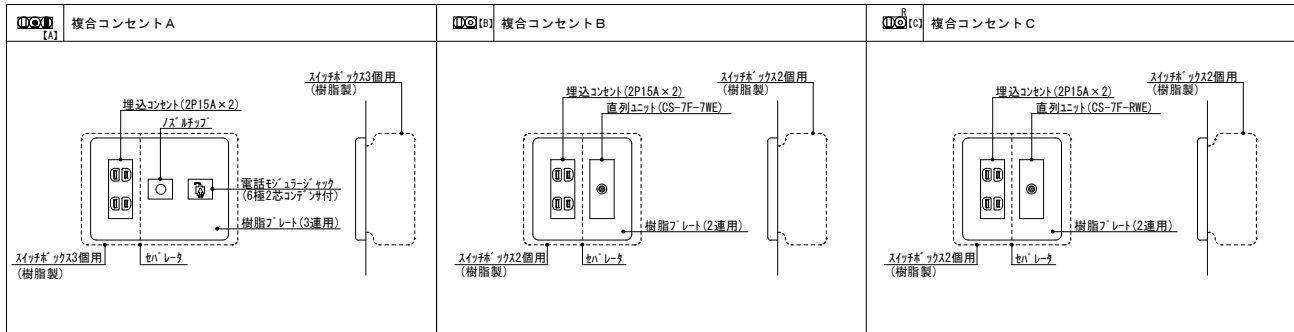


凡例表


記 号	名 称	仕 様	備 考	記 号	名 称	仕 様	備 考
(機器)				(機器)			
	引込開閉器盤	屋外自立型 SUS製	盤結線図参照		11V呼出表示器	2室 AC100V	姿図参照
	住戸電灯分電盤	屋内壁掛型 樹脂製 カバー付	盤結線図参照		呼出ボタン	埋込型 引きひも式	姿図参照
	電灯・端子盤	屋内自立型 SUS製	盤結線図参照				
	積算電力量計取付板	1φ3W 30A 1個用 樹脂製	積算電力量計：電力会社取付		火災受信機	P型1級 火災(25回線) 共同住宅用非常警報設備（自火報代用型）	火災受信機収納箱へ組込
	700V用3P電極	3P SUS電極棒・保持器共	取付座：別途機械設備工事		発信機	P型1級 埋込型	
	700V用5P電極	5P SUS電極棒・保持器共	取付座：別途機械設備工事		表示灯	AC24V	
	電磁弁		別途機械設備工事		非常ベル	DC24V	
	LED照明器具	天井直付型	姿図参照		機器收容箱	(内蔵) 屋外埋込防雨型 SUS製	
	LED照明器具	壁付型(縦向き)	姿図参照		差動式スポット型感知器	2種 露出型	△：遠隔試験機能付
	LED照明器具(シーリング)	天井直付型	姿図参照		定温式スポット型感知器	1種 露出型 防水型	△：遠隔試験機能付
	LED照明器具(グランド)	天井埋込型	姿図参照		光電式スポット型感知器	2種 露出型	△：遠隔試験機能付
	LED照明器具(ブラケット)	壁付型	姿図参照		光電式スポット型感知器	2種 露出型	側面点検ボックス付
	LED照明器具(外灯)	鋼管スズル・基礎共	姿図参照		終端抵抗		
	LED照明器具(外灯)	鋼管スズル・基礎共	姿図参照		警戒区域番号	自動火災報知設備用	
	引掛シーリング	125V 5A コンセント付・ハンガー付	姿図参照		警戒区域境界線		
	LED非常灯付照明器具	天井直付型	姿図参照		GP型3級受信機	40号省令適合品 露出型、バスフリー、モニター付	姿図参照
	埋込タンブラースイッチ	1P15A×1	樹脂プレート		埋込コンベイト	ガス警報器用(15A 125V)天井取付	
	埋込タンブラースイッチ	1PL4A×1	樹脂プレート		戸外表示器	遠隔試験機能(中継器)内蔵、露出防雨型	姿図参照
	埋込タンブラースイッチ	3W15A×1	樹脂プレート		表示灯	連結送水管用 AC100V 防水型	
	埋込タンブラースイッチ	4W15A×1	樹脂プレート				
	防雨スイッチ	1P15A×1 1個用露出スイッチボックス(金属製)共	樹脂プレート		ブルボックス	傍記とする	
	埋込スイッチ	7インチハンドル型 1P15A×1	樹脂プレート		ファレットボックス	中凹角深型0付	
	埋込スイッチ	7インチハンドル型 1PL15A×1	樹脂プレート	(壁) (天井)	カバープレート	SUS製 角型 刻印共 1個用	
	埋込スイッチ	7インチハンドル型 3W15A×1	樹脂プレート		ズバプレート	SUS製 角型 刻印共 1個用	
	自動点滅器	AC100V 3A 点灯照度補正型			腰高プレート(カバー付)	樹脂製 角型 1個用	
	照明制御装置(親機)	人感・明るさ内蔵 広角検知型	軒下取付形		丸形露出ボックス	金属製 丸型	
	照明制御装置(子機)	人感内蔵 広角検知型	軒下取付形		ジャンクションボックス	フローラル用 角型	
	天井換気扇	スイッチ・機器電源接続：本工事	機器：別途機械設備工事		防雨入線カバー	樹脂製	
	埋込コンベイト	2P15A×1 接地極付抜け止め形	SUSプレート		接地極	7-ス棒式	
	埋込コンベイト	2P15A×1 接地端子付	樹脂プレート				
	埋込コンベイト	2P15A×1 接地極接地端子付	樹脂プレート		水道集中検針盤	7キボックス(0B中流0付(樹脂製)×2)：本工事	機器：別途機械設備工事
	埋込コンベイト	2P15A×2	樹脂プレート		端末伝送器	7キボックス(0B中流0付(樹脂製)×2)：本工事	機器：別途機械設備工事
	埋込コンベイト	2P15A×2 接地極接地端子付	樹脂プレート				
	埋込コンベイト	2P20A×1 接地極付	樹脂プレート				
(天井)	埋込コンベイト	2P15A・20A兼用×1 接地極接地端子付	樹脂プレート		複合コンベイトA	埋込コンベイト2P15A×2+ベルコンベイト (6極2芯コンベイト付)+光ケーブル用バスケット	樹脂プレート
	防水コンベイト	2P15A×2 接地極接地端子付	樹脂製		複合コンベイトB	埋込コンベイト2P15A×2 +直列ユニット(CS-7F-7WE)	樹脂プレート
	屋外コンベイト収納箱	屋外防水壁掛型・SUS製	参考寸法：W200×H250×D150		複合コンベイトC	埋込コンベイト2P15A×2 +直列ユニット(CS-7F-7WE)	樹脂プレート
		2P15A×2 接地極接地端子付	1個用露出スイッチボックス(樹脂製)取付				
	端子盤	屋内埋込型 SUS製	端子盤リスト参照				
	電話用ファレット	モニタージャック6極2芯 コンベイト付	樹脂プレート				
				(配管・配線)			
	UHFアンテナ	AU-2 アンテナリスト共	取付詳細図参照		配管・配線	隠ぺい・打込	
	直列ユニット(中間用)	CS-7F-7WE	樹脂プレート		配管・配線	床廻り	
	直列ユニット(端末用)	CS-7F-RWE	樹脂プレート		配管・配線	露出	
	増幅器	SH・UF-1	系統図参照		配管・配線	天井内 ころがし	
	2分岐器	SH-C2	系統図参照		配管・配線	地中埋設	
	4分岐器	SH-D4	系統図参照		配管・配線	二重床内(0A707)	
	2分岐器	SH-D2	系統図参照		配線	架空	
					配管・配線	既設	
	バスケット	光ケーブル用 樹脂製			配管・配線	立上げ	二重丸：床貫通を表す
					配管・配線	立下げ	二重丸：床貫通を表す
	ハンドヘルド	ハンドヘルド仕様リスト参照					
	地中埋設棒	キャスト		(回路番号)			
	地中埋設棒	コンクリート製			回路番号	1φ100V	
	ケーブル・配管接続点	異種管接続			回路番号	1φ200V	
	埋設棒示板	黄銅製			回路番号	3φ200V	


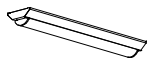
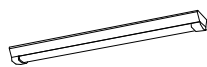


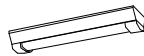
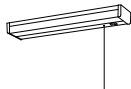


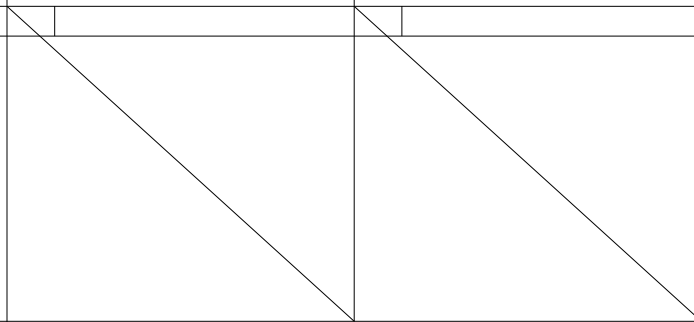

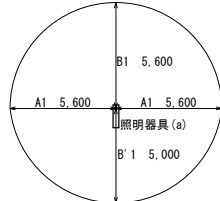
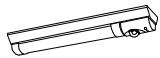
フ・ルホックス凡例

記号	仕様
	SS250 × 250 × 250
	SS300 × 300 × 300
	SS350 × 350 × 350
	SS400 × 400 × 400
	SS500 × 300 × 300
	SS300 × 300 × 150
	SS400 × 400 × 150
	SS500 × 500 × 150
	SS200 × 200 × 150WP-SUS
	SS250 × 250 × 200WP-SUS
	SS300 × 300 × 300WP-SUS
	SS350 × 350 × 350WP-SUS
	SS400 × 400 × 400WP-SUS
	FS300 × 400 × 400WP-SUS
	7.6mm x 7.6mm x 7.6mm

複合コンセント詳細図

工事区分		建築	機械	電気
1	水道メーター集中検針盤本体、取り付け		○	
2	水道メーター集中検針盤への配線配管一式			○
3	隔測水道メーター及び取付け		○	
4	隔測水道メーター付属接続箱取付け及び配線一式			○
5	換気扇取付(台所・便所・浴室)		○	
6	構造体の設備用貫通箱入れ及びスリーブ		○	○
7	同上用開口部の補強(構造体の補強を必要とするもの)	○		
8	同上用開口部の補強	○		
9	防水スリーブ及び防水処理		○	○
10	設備用シャフトの点検口 取付高FL+1200(点検口下端)	○		
11	既製品流し台(排水トラップ共)・コンロ台・水切りプレート	○		
12	レンジフードファン前面・側面化粧板	○		
13	レンジフード		○	
14	機器のコンクリート基礎 ※1階連結送水管送水口基礎除く	○		
15	ユニットバス換気扇用開口	○		
16	ユニットバス換気扇取付け		○	
17	ユニットバス(シャワーセット等含む) 本体、設置	○		
18	ユニットバス電源・スイッチ・配線工事			○
19	雨水排水設備一式	○		
20	手摺	○		
21	タオルリング	○		
22	洗面化粧台		○	
23	便器(ペーパーホルダー共)		○	
24	洗濯機パン		○	
25	床下点検口 洗面所 洗面機パン附近 450角	○		
26	人通り (ピット内地中梁)	○		
27	給湯器取付枠用固定金物 SD-2、3に取付(サッシ工事)	○		
28	換気用ガラリ	○		
29	受水槽本体・同上配管支持金物(受水槽屋外面)		○	
30	受水槽基礎・加圧給水ポンプ基礎	○		
31	加圧給水ポンプ		○	
32	同上1次側配線・配管			○
33	受水槽電極・配線配管			○
34	補給水用電磁弁		○	
35	同上配線・配管			○
36	消火用充水タンク・同上架台		○	
37	消火用充水タンク電極・配線配管			○
38				○
	エレベータ	一次側電源(アース共)		○
		遠隔監視用通信配管		○
		乗場インターホン	○	
		同上位置ボックス	○	
		同上配管・配線	○	
		煙感知器		○
		同上配線・配管		○
	制御盤	○		

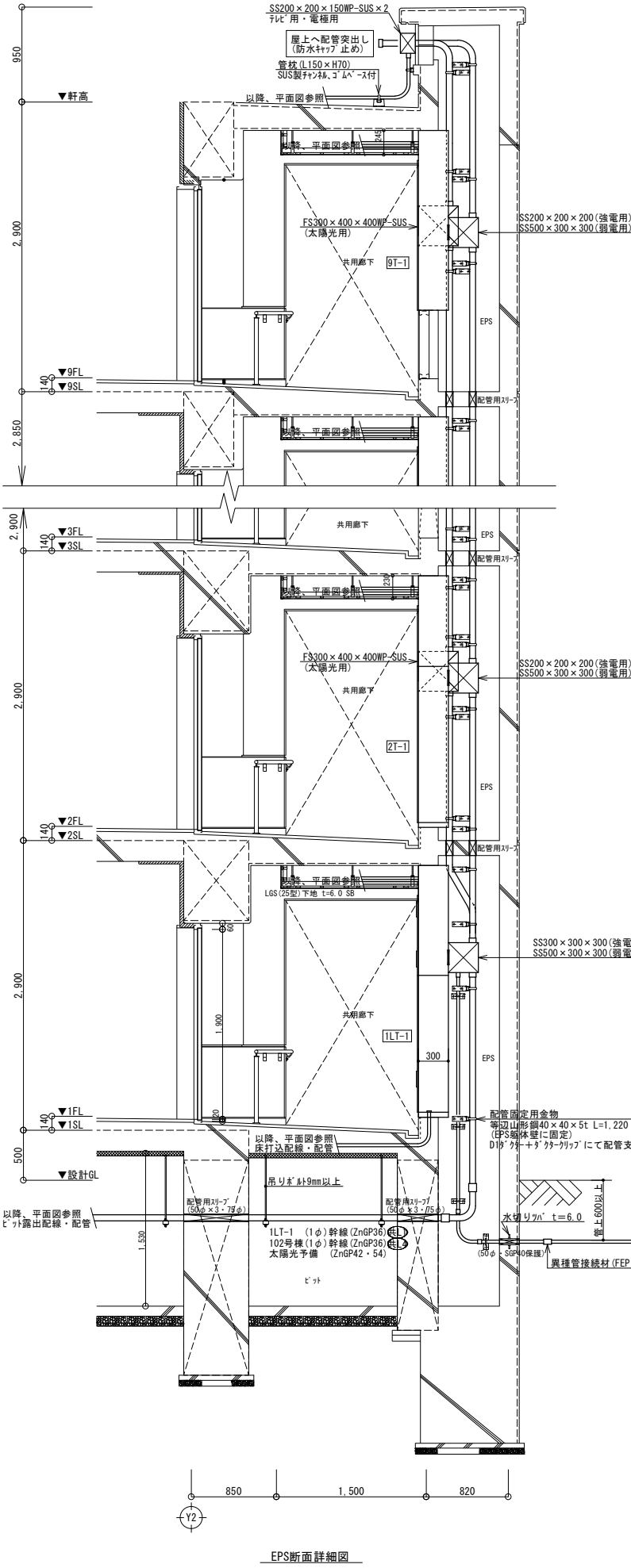
一級建築士事務所 知事登録第1-28-52号		武岡住宅101号棟新築電気設備工事	
 株式会社 ワーク設計	凡例表・工事区分表 ・複合コンセント詳細図	NO. SCALE	4
	一級建築士登録番号96597号 春田 信行	鹿児島市建設局建築部設備課	
			全 40

照明器具姿図			1) 姿図は参考とする													
A	LED直付ペ-スイト (LSS9-4-65)	昼白色	・集会室	B	LED直付ペ-スイト (LSS9-2-30)	昼白色	・集会室(玄関、給湯室、物入)									
																
D	LEDラケットライト (LBF3MP/RP-2-13)	昼白色	・側壁	E	LEDラケットライト (LRS1-17)	昼白色	・集会室(多目的ﾄｲﾚ)									
																
G	LEDラケットライト (FL20W-1灯器具相当)	光束950lm以上	・住戸(ｷｯﾁﾝ) ・集会室(給湯室)	H	LEDシーリングライト (FCL30形-1灯相当)	光束950lm以上	・住戸(洗面・脱衣室)									
																
<ul style="list-style-type: none"> ●拡散タイプ、コンセント・引き紐スイッチ付 ●カバー：プラスチック (白) ●電圧：100V 			<ul style="list-style-type: none"> ●LEDランプ交換可能型 ●防湿型・防雨型、拡散タイプ ●プラスチック (白) ●カバー：アクリル (白) ●電圧：100V 			<ul style="list-style-type: none"> ●LEDランプ交換可能型 ●カバー：プラスチック (白) ●天井直付型・壁直付型 ●電圧：100V 										
J	LEDラケットライト (IL60形器具相当)	光束400lm以上	・階段													
																
<ul style="list-style-type: none"> ●LEDランプ交換可能型 ●拡散タイプ、防雨型 ●アルミ (黒) ●カバー：アクリル (白) ●電圧：100V 			<div> <div>【非常灯照射範囲】</div> <div>1) 各階共用廊下共通とする</div> <div>  </div> </div>													
a	LED直付非常灯付ペ-スイト (FL20形-2灯相当)	光束1200lm以上	・共用廊下 ・郵便受室													
																
<ul style="list-style-type: none"> ●IP23 防湿・防雨型 ●常時：非常用ライトバー点灯 ●非常時：非常灯本体周辺LED点灯 ●常用ライトバー：ポリカーボネート (白) ●蓄電池：ニッケル水素電池 ●電圧：100～242V 																

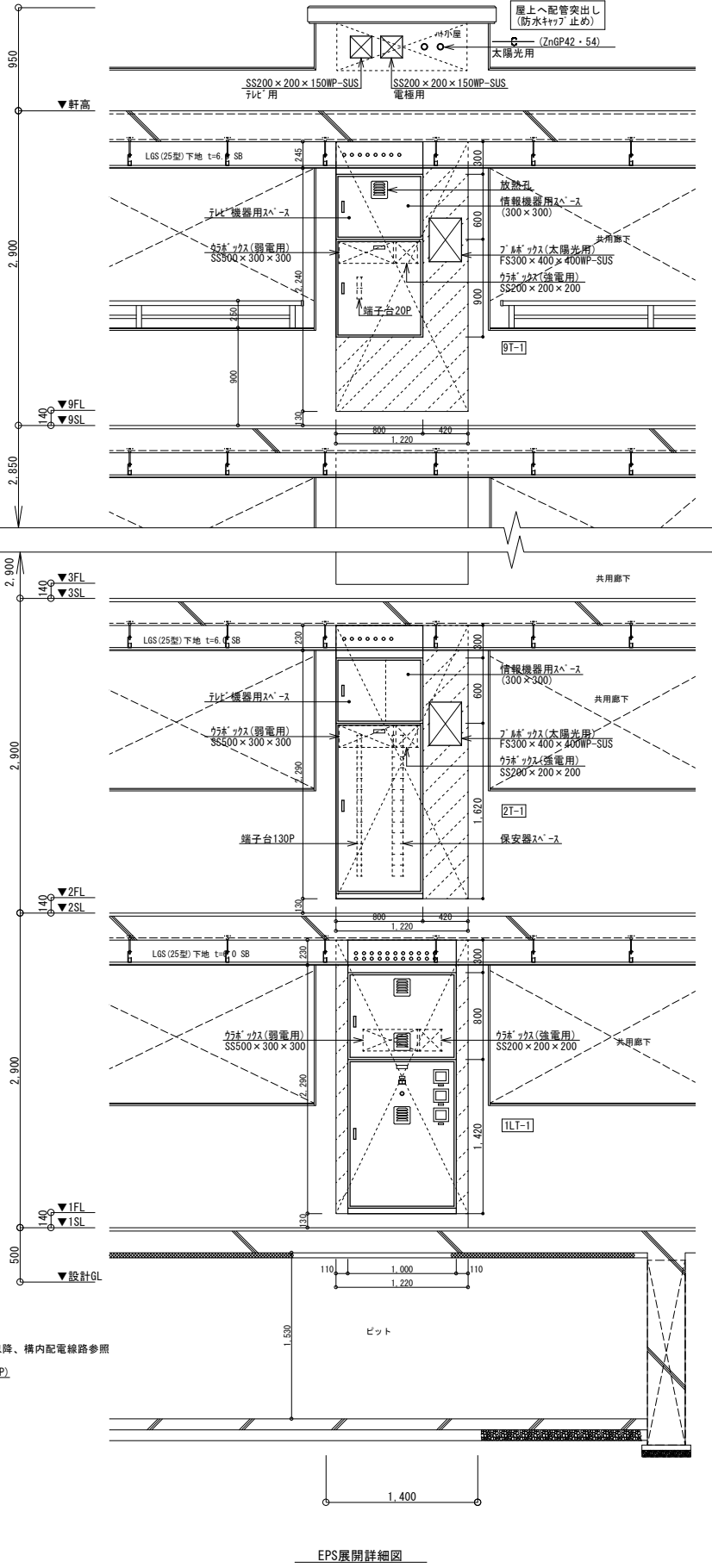
LED外灯A (LST3-60)	LED外灯B (水銀灯100形相当)	LED外灯C (FHP32形相当)
<ul style="list-style-type: none">●防雨型●前面パネル：アクリル (透明)●本体：アルミ (白)●電圧：100～242V	<ul style="list-style-type: none">●防雨型●前面パネル：アクリル (透明)●本体：アルミ (白)●電圧：100～242V	<ul style="list-style-type: none">●防雨型●前面パネル：アクリル (透明)●本体：アルミ (白)●電圧：100～242V
1) 鋼管柱：全長5.9m(地上4.8m) 耐風速60m/s仕様 2) 塗装：溶融亜鉛メッキ 3) 配管埋設深さは、管上GL-600以上とする 4) ホール内配線は、EM-EFF1.6-3Cとする	1) 鋼管柱：全長5.9m(地上4.8m) 耐風速60m/s仕様 2) 塗装：溶融亜鉛メッキ 3) 配管埋設深さは、管上GL-600以上とする 4) ホール内配線は、EM-EFF1.6-3Cとする	1) 鋼管柱：全長5.9m(地上4.8m) 耐風速60m/s仕様 2) 塗装：溶融亜鉛メッキ 3) 配管埋設深さは、管上GL-600以上とする 4) ホール内配線は、EM-EFF1.6-3Cとする

呼出機器姿図	1) 姿図は参考とする																
	<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V、200V 50/60Hz</td></tr><tr><td>入出力端子</td><td>連結端子 単芯専用φ 65～1.6mm</td></tr><tr><td>警報出力</td><td>無電圧e接点 (接点開時印加電圧DC12v)</td></tr><tr><td>配線長</td><td>信号入力部 200m</td></tr><tr><td>一括移報出力</td><td>無電圧c接点 接点容量AC250V 0.5A(抵抗負荷)</td></tr><tr><td>入力信号/ブザー鳴動連動 (SWでの選択)</td><td></td></tr><tr><td>ブザー音量</td><td>70dB (前方1m)</td></tr><tr><td>その他</td><td>自己保持設定機能 (1回路毎の設定可) 100ms以上の信号入力で動作 ラフフィッシュ機能 ブザー鳴動 入/切 切替機能 屋内専用 2線用端子、リセットボタン 取付</td></tr></table>	電源電圧	AC100V、200V 50/60Hz	入出力端子	連結端子 単芯専用φ 65～1.6mm	警報出力	無電圧e接点 (接点開時印加電圧DC12v)	配線長	信号入力部 200m	一括移報出力	無電圧c接点 接点容量AC250V 0.5A(抵抗負荷)	入力信号/ブザー鳴動連動 (SWでの選択)		ブザー音量	70dB (前方1m)	その他	自己保持設定機能 (1回路毎の設定可) 100ms以上の信号入力で動作 ラフフィッシュ機能 ブザー鳴動 入/切 切替機能 屋内専用 2線用端子、リセットボタン 取付
電源電圧	AC100V、200V 50/60Hz																
入出力端子	連結端子 単芯専用φ 65～1.6mm																
警報出力	無電圧e接点 (接点開時印加電圧DC12v)																
配線長	信号入力部 200m																
一括移報出力	無電圧c接点 接点容量AC250V 0.5A(抵抗負荷)																
入力信号/ブザー鳴動連動 (SWでの選択)																	
ブザー音量	70dB (前方1m)																
その他	自己保持設定機能 (1回路毎の設定可) 100ms以上の信号入力で動作 ラフフィッシュ機能 ブザー鳴動 入/切 切替機能 屋内専用 2線用端子、リセットボタン 取付																
	<table><tr><td>形状</td><td>壁埋込形 (1個用、スイッチ付、リセット付)</td></tr><tr><td>プレート</td><td>樹脂プレート</td></tr><tr><td>仕様</td><td>パイロットランプ・リード線付</td></tr><tr><td>備考</td><td>ON保持型 (プッシュ・紐プル ON/OFF)</td></tr></table>	形状	壁埋込形 (1個用、スイッチ付、リセット付)	プレート	樹脂プレート	仕様	パイロットランプ・リード線付	備考	ON保持型 (プッシュ・紐プル ON/OFF)								
形状	壁埋込形 (1個用、スイッチ付、リセット付)																
プレート	樹脂プレート																
仕様	パイロットランプ・リード線付																
備考	ON保持型 (プッシュ・紐プル ON/OFF)																

住戸用自動火災報知設備機器姿図	1) 姿図は参考とする												
	<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr><tr><td>警報機能</td><td>非常・火災・ガス (CO対応・換気)</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交互通話 送話表示付</td></tr><tr><td>形状</td><td>壁取付型 (レール付JIS2個用、スイッチ付)</td></tr><tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr><tr><td>備考</td><td>終了ボタンによる通話・各種操作の終了、 移報接点入力付、受話器増設可</td></tr></table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	警報機能	非常・火災・ガス (CO対応・換気)	通話方式	拡声自動交互通話 送話表示付	形状	壁取付型 (レール付JIS2個用、スイッチ付)	材質	自己消火性樹脂	備考	終了ボタンによる通話・各種操作の終了、 移報接点入力付、受話器増設可
電源電圧	AC100V 50/60Hz												
警報機能	非常・火災・ガス (CO対応・換気)												
通話方式	拡声自動交互通話 送話表示付												
形状	壁取付型 (レール付JIS2個用、スイッチ付)												
材質	自己消火性樹脂												
備考	終了ボタンによる通話・各種操作の終了、 移報接点入力付、受話器増設可												
	<table><tr><td>形状</td><td>露出形 (中形四角、スイッチ付、リセット付)</td></tr><tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr><tr><td>警報表示</td><td>呼出ボタン部点滅</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交互通話 送話表示付</td></tr><tr><td>備考</td><td>中継器型式合符品、戸外表示器型式確認品 中継器内蔵一体形</td></tr></table>	形状	露出形 (中形四角、スイッチ付、リセット付)	材質	樹脂	警報表示	呼出ボタン部点滅	通話方式	拡声自動交互通話 送話表示付	備考	中継器型式合符品、戸外表示器型式確認品 中継器内蔵一体形		
形状	露出形 (中形四角、スイッチ付、リセット付)												
材質	樹脂												
警報表示	呼出ボタン部点滅												
通話方式	拡声自動交互通話 送話表示付												
備考	中継器型式合符品、戸外表示器型式確認品 中継器内蔵一体形												



EPS断面詳細図

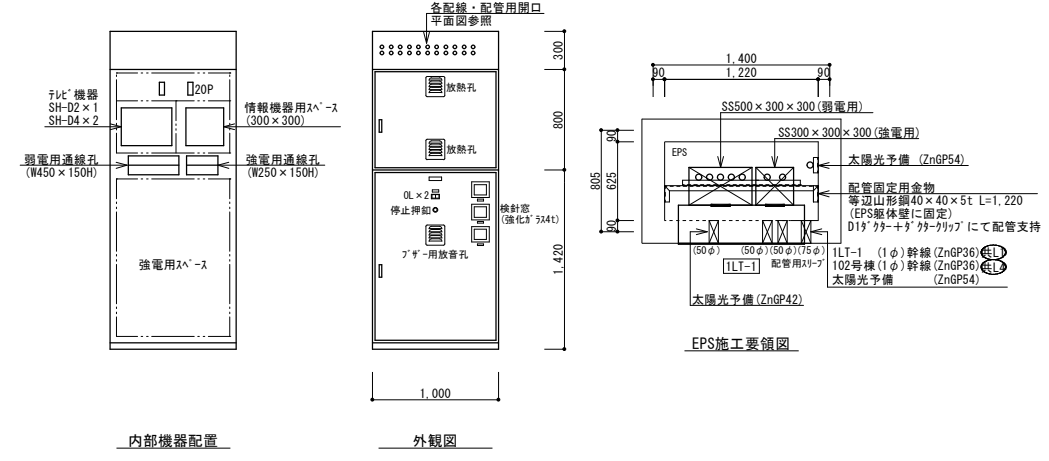


EPS展開詳細図

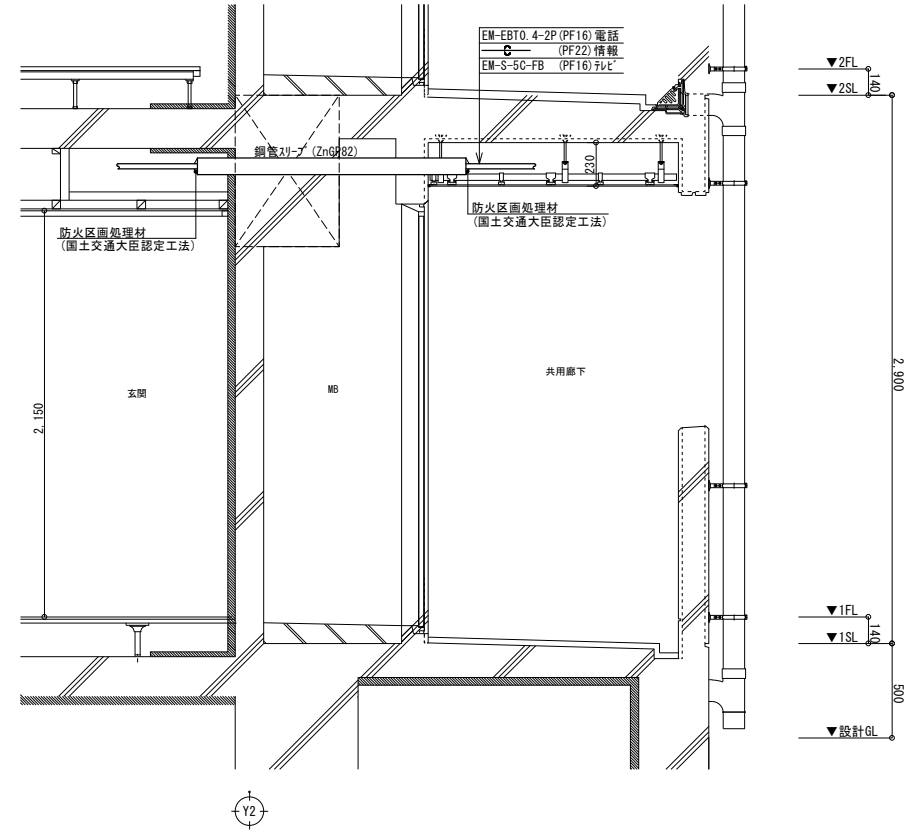
EPS内盤取付詳細図(参考) S=1/60

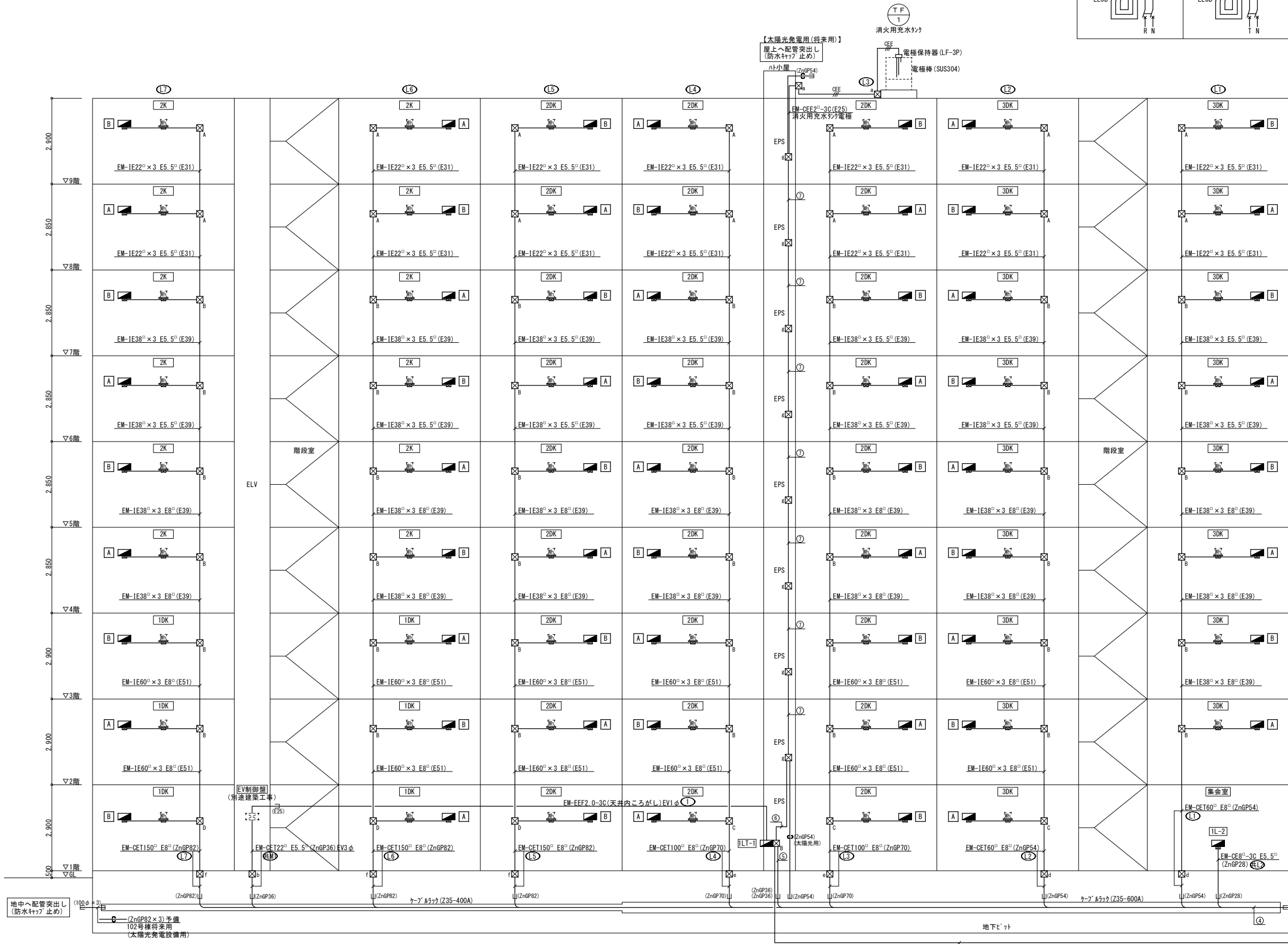
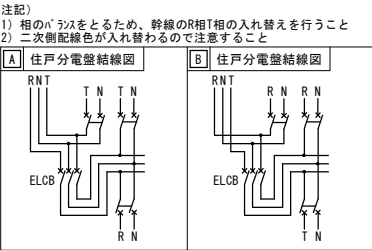
- 1) 基礎・壁寸法は参考とし現地打合せの上、決定すること
- 2) 盤用躯体開口：別途建築工事
- 3) : ハッチング範囲t=6.0 SB EP-G(別途建築工事)
- 4) 配線・配管の種別は、平面図・系統図を参照すること

電灯・端子盤(1LT-1) 姿図・EPS施工要領図(参考) S=1/60



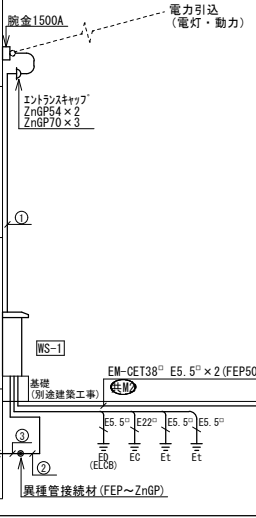
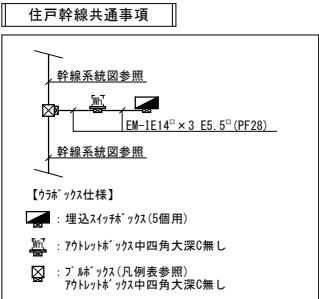
防火区画貫通処理施工要領図(参考) S=1/40





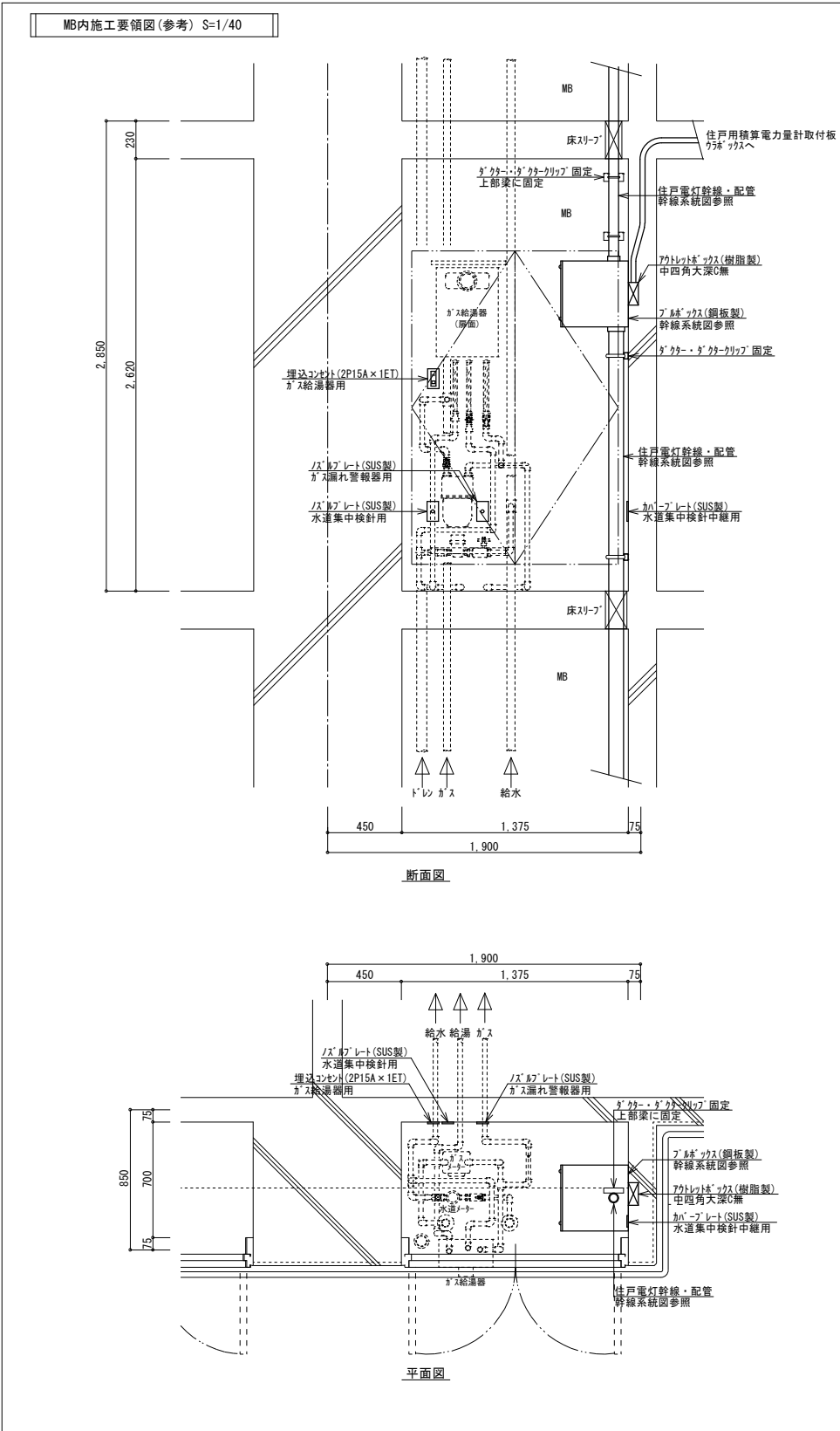
配線リスト				
	配線	保護管	用途	種別
①	EM-IE100 ² ×3	(ZnGP54)	電灯引込 (L1、共用系統)	1φ3W
	EM-IE150 ² ×3	(ZnGP70)	電灯引込 (L2、L3系統)	1φ3W
	EM-IE150 ² ×3	(ZnGP70)	電灯引込 (L4、L5系統)	1φ3W
	EM-IE150 ² ×3	(ZnGP70)	電灯引込 (L6、L7系統)	1φ3W
	EM-IE60 ² ×3	(ZnGP54)	動力引込 (加圧給水ポンプ、EV系統)	3φ3W
②	EM-CET60 ² E8 ²	(FEP65)	電灯幹線 (L1)	1φ3W
	EM-CET60 ² E8 ²	(FEP65)	電灯幹線 (L2)	1φ3W
	EM-CET100 ² E8 ²	(FEP65)	電灯幹線 (L3)	1φ3W
	EM-CET100 ² E8 ²	(FEP65)	電灯幹線 (L4)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²	(FEP80)	電灯幹線 (L5)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²	(FEP80)	電灯幹線 (L6)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²	(FEP80)	電灯幹線 (L7)	1φ3W
	EM-CET14 ² E5.5 ² ×2	(FEP50)	電灯幹線 (L8)	1φ3W
	EM-CE8 ² -3C E5.5 ²	(FEP40)	電灯幹線 (L9)	1φ3W
	EM-CET22 ² E5.5 ²	(FEP40)	動力幹線 (L10)	3φ3W
	—C—	(FEP65)	予備	—
	—C—	(FEP50)	予備 (101号棟太陽光発電設備用)	—
	—C—	(FEP65)	予備 (102号棟太陽光発電設備用)	—
③	EM-CET60 ² E8 ²	(ZnGP54)	電灯幹線 (L1)	1φ3W
	EM-CET60 ² E8 ²	(ZnGP54)	電灯幹線 (L2)	1φ3W
	EM-CET100 ² E8 ²	(ZnGP70)	電灯幹線 (L3)	1φ3W
	EM-CET100 ² E8 ²	(ZnGP70)	電灯幹線 (L4)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²	(ZnGP82)	電灯幹線 (L5)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²	(ZnGP82)	電灯幹線 (L6)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²	(ZnGP82)	電灯幹線 (L7)	1φ3W
	EM-CET14 ² E5.5 ² ×2	(ZnGP54)	電灯幹線 (L8)	1φ3W
	EM-CE8 ² -3C E5.5 ²	(ZnGP54)	電灯幹線 (L9)	1φ3W
	EM-CET22 ² E5.5 ²	(ZnGP36)	動力幹線 (L10)	3φ3W
④	EM-CET14 ² E5.5 ² ×2	(ZnGP36)	電灯幹線 (L1)	1φ3W
	—C—	(ZnGP36)	予備	—
	—C—	(ZnGP54)	予備 (101号棟太陽光発電設備用)	—
	—C—	(ZnGP70)	予備 (102号棟太陽光発電設備用)	—
⑤	EM-CET60 ² E8 ²	(Z35-600A)	電灯幹線 (L1)	1φ3W
	EM-CET60 ² E8 ²		電灯幹線 (L2)	1φ3W
	EM-CET100 ² E8 ²		電灯幹線 (L3)	1φ3W
	EM-CET100 ² E8 ²		電灯幹線 (L4)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²		電灯幹線 (L5)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²		電灯幹線 (L6)	1φ3W
	EM-CET150 ² E8 ²		電灯幹線 (L7)	1φ3W
	EM-CET14 ² E5.5 ² ×2		電灯幹線 (L8)	1φ3W
	EM-CE8 ² -3C E5.5 ²		電灯幹線 (L9)	1φ3W
	EM-CET22 ² E5.5 ²		動力幹線 (L10)	3φ3W
⑥	EM-CEE2 ² -3C	(E25)	消火用充水ポンプ電極	電極
	EM-CEE2 ² -3C	(E25)	消火用充水ポンプ電極	電極
	—C—	(E51)	予備 (太陽光発電設備用)	—

注記		
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による		
記号	配線	保護管
—CEE—	EM-CEE2 ² -3C	(ZnGP22)
—C—	空配管 (導入線1.2×1)	(傍記とする)



幹線設備系統図

EM-CEE2²-4C (FEP40~ZnGP36) 加圧給水ポンプ一括警報
EM-CE3.5²-2C (E25) 室内照明
(外灯、表示灯、回路配管共用)



電圧降下計算表【1φ】

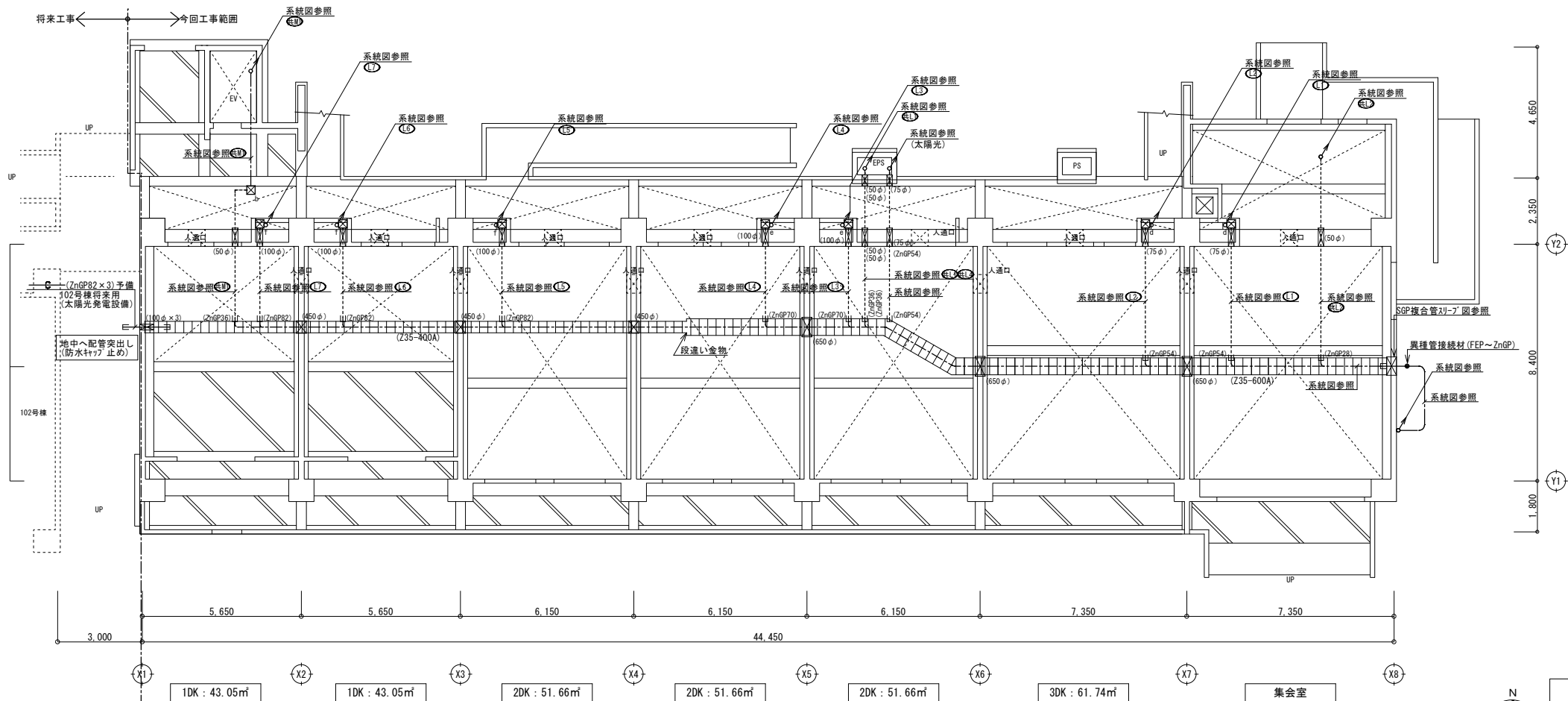
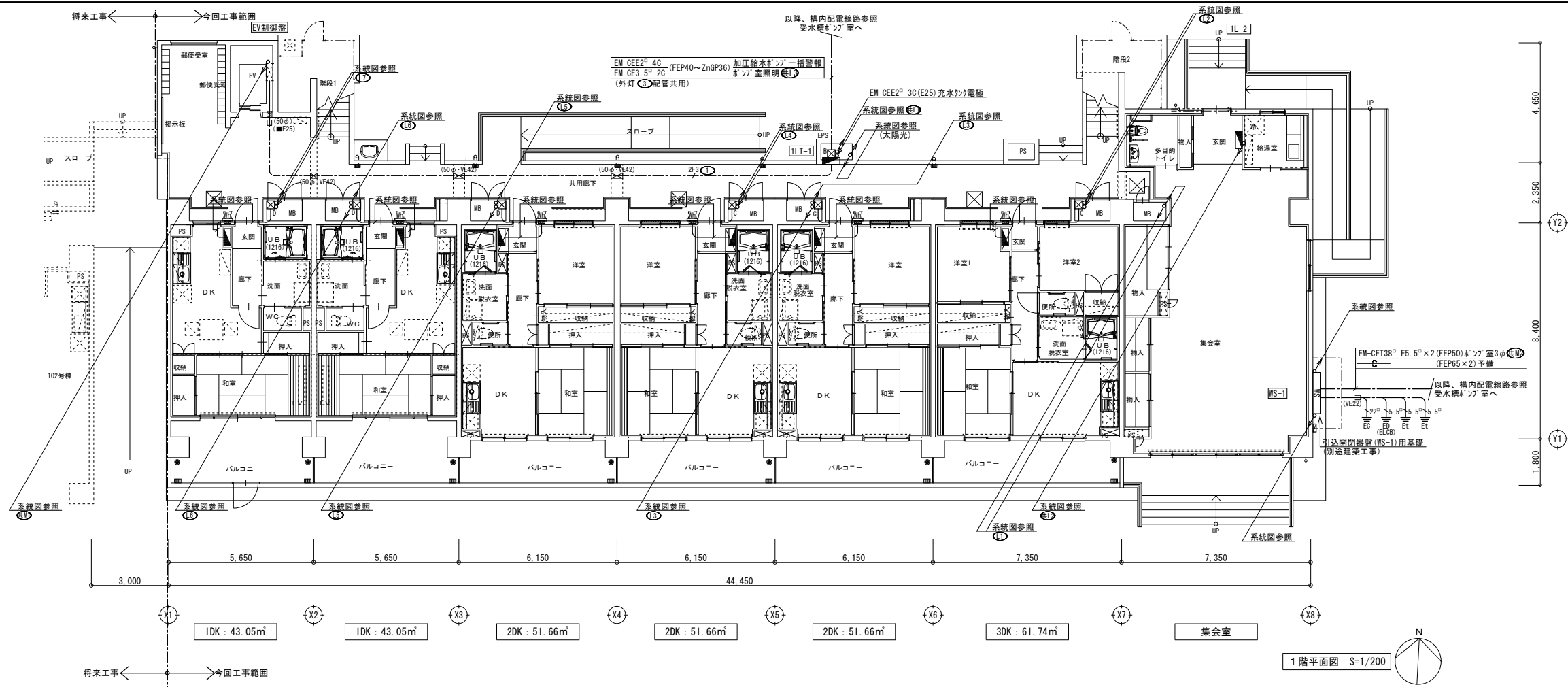
電圧降下計算表【1φ】																							
需要率：内線規程に依る														幹線電圧降下 累計（V）									
区 画	幹線番号	電気方式	負荷容量 （kVA）	戸数 （戸）	需要率 （%）	推定 容量 （kVA）	負荷 電流 （A）	線路 こう長 （m）	幹線 サイズ （mm2）	幹線 種別	許容 電流 （A）	電圧 降下 （V）	主開閉器 MCCB	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	共用L1	共用L2	共用L3
引込～WS-1	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	8	78	24.96	124.8																
	共L1	1φ3W 100V/200V	6.05	—	100	6.05	30.25																
	共L2	1φ3W 100V/200V	4.0	—	100	4.00	20.0																
	共L3	1φ2W 100V	0.1	—	100	0.10	1.0																
	合 計	1φ3W 100V/200V					176.05	7.0	100 [□]	EM-IE	208	0.219	200AT	0.219							0.219	0.219	0.219
引込～WS-1	L2+L3	1φ3W 100V/200V	4.0	18	56	40.32	201.6	7.0	150 [□]	EM-IE	276	0.167	225AT		0.167	0.167							
引込～WS-1	L4+L5	1φ3W 100V/200V	4.0	18	56	40.32	201.6	7.0	150 [□]	EM-IE	276	0.167	225AT				0.167	0.167					
引込～WS-1	L6+L7	1φ3W 100V/200V	4.0	18	56	40.32	201.6	7.0	150 [□]	EM-IE	276	0.167	225AT						0.167	0.167			
WS-1～2階PS内P.B	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	8	78	24.96	124.8	20.7	60 [□]	EM-CET	150	0.766	125AT	0.766									
WS-1～1階PS内P.B	L2	1φ3W 100V/200V	4.0	9	73	26.28	131.4	17.5	60 [□]	EM-CET	150	0.682	150AT		0.682								
WS-1～1階PS内P.B	L3	1φ3W 100V/200V	4.0	9	73	26.28	131.4	28.1	100 [□]	EM-CET	215	0.657	150AT			0.657							
WS-1～1階PS内P.B	L4	1φ3W 100V/200V	4.0	9	73	26.28	131.4	31.1	100 [□]	EM-CET	215	0.727	150AT				0.727						
WS-1～1階PS内P.B	L5	1φ3W 100V/200V	4.0	9	73	26.28	131.4	40.5	150 [□]	EM-CET	275	0.632	150AT					0.632					
WS-1～1階PS内P.B	L6	1φ3W 100V/200V	4.0	9	73	26.28	131.4	46.2	150 [□]	EM-CET	275	0.720	150AT						0.720				
WS-1～1階PS内P.B	L7	1φ3W 100V/200V	4.0	9	73	26.28	131.4	49.2	150 [□]	EM-CET	275	0.767	150AT							0.767			
2階～3階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	7	83	23.24	116.2	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.158	125AT		0.158								
3階～4階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	6	91	21.84	109.2	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.148			0.148								
4階～5階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	5	100	20.00	100.0	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.136			0.136								
5階～6階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	4	100	16.00	80.0	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.109			0.109								
6階～7階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	3	100	12.00	60.0	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.082			0.082								
7階～8階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	2	100	8.00	40.0	2.9	22 [□]	EM-IE	80	0.094	150AT		0.094								
8階～9階	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	1	100	4.00	20.0	2.9	22 [□]	EM-IE	80	0.047			0.047								
9階～住戸壁	L1	1φ3W 100V/200V	4.0	1	100	4.00	20.0	7.5	14 [□]	EM-IE	61	0.191			0.191								
1階～2階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	8	78	24.96	124.8	2.9	60 [□]	EM-IE	152	0.107			0.107	0.107	0.107	0.107	0.107	0.107			
2階～3階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	7	83	23.24	116.2	2.9	60 [□]	EM-IE	152	0.100			0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100			
3階～4階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	6	91	21.84	109.2	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.148	150AT		0.148	0.148	0.148	0.148	0.148	0.148	0.148		
4階～5階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	5	100	20.00	100.0	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.136			0.136	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136		
5階～6階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	4	100	16.00	80.0	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.109			0.109	0.109	0.109	0.109	0.109	0.109	0.109		
6階～7階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	3	100	12.00	60.0	2.9	38 [□]	EM-IE	113	0.082			0.082	0.082	0.082	0.082	0.082	0.082	0.082		
7階～8階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	2	100	8.00	40.0	2.9	22 [□]	EM-IE	80	0.094			0.094	0.094	0.094	0.094	0.094	0.094	0.094		
8階～9階	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	1	100	4.00	20.0	2.9	22 [□]	EM-IE	80	0.047	150AT		0.047	0.047	0.047	0.047	0.047	0.047	0.047		
9階～住戸壁	L2～L7	1φ3W 100V/200V	4.0	1	100	4.00	20.0	7.5	14 [□]	EM-IE	61	0.191			0.191	0.191	0.191	0.191	0.191	0.191			
WS-1～1LT-1	共L1	1φ3W 100V/200V	6.05	—	100	6.05	30.25																
	共L3	1φ2W 100V	0.1	—	100	0.10	1.0																
	合 計	1φ3W 100V/200V					31.25	29.7	14 [□]	EM-CET	63	1.180	40AT								1.180		1.180
WS-1～1L-2	共L2	1φ3W 100V/200V	4.0	—	100	4.00	20.0	13.7	8 [□]	EM-CE	43	0.610	40AT									0.610	
1LT-1～1S-1	共L3	1φ2W 100V	0.1	—	100	0.10	0.5	17.9	3.5 [□]	EM-CE	31	0.091	20AT										0.091
合計														1.950	1.863	1.838	1.908	1.813	1.901	1.948	1.399	0.829	1.490
許容電圧降下（%）														2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
判定														OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK

電圧降下計算表【3φ】

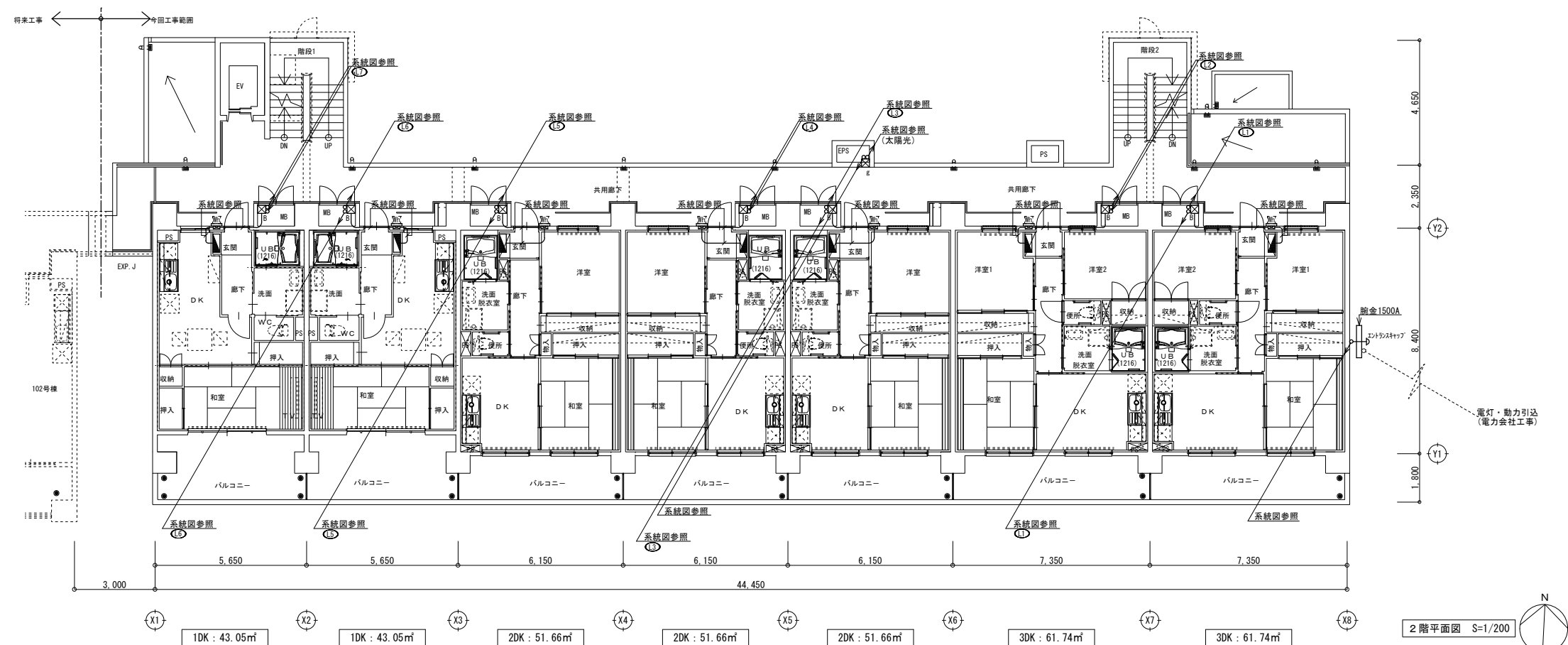
電圧降下計算表【3φ】																			需要率 動力負荷：1.0									
区 間		幹線番号	幹線保護 用遮断器 定格電流	負荷名称	こう長 (m)	電気方式	負荷容量 (kW)	需要率	需要率換算 負荷容量 (kW)	1線当りの 設計 負荷電流 (A)	ケーブル 種類	サイズ (mm ²)	ケーブル 許容電流 (A)	区間 電圧降下 (V)	電圧 降下率 (%)	許容電圧 降下率 (%)	電圧降下 判定	ケーブル開閉器 定格電流 ケーブル許容電流 判定										
A	引込～WS-1	共M1		EV制御盤		3φ3W 200V	6.10	1.0	6.10	22.1																		
		共M2		IS-1 (ポンプ制御盤)		3φ3W 200V	15.0	1.0	15.0	68.0																		
B	WS-1～EV制御盤		125AT	合 計	7.0	3φ3W 200V				90.1	EM-IE	60 [□]	152	0.324	0.162	2%	OK	OK										
				EV制御盤	58.5	3φ3W 200V	6.10	1.0	6.10	22.1	EM-CET	22 [□]	82	1.810	0.905	2%	OK											
				合 計	65.5	3φ3W 200V									1.067													
C	WS-1～1S-1(※「室」)																	OK										
			共M2	1S-1	55.0	3φ3W 200V	15.0	1.0	15.0	68.0	EM-CET	38 [□]	110	3.031	1.516	2%	OK											
				合 計	62.0	3φ3W 200V									1.678													

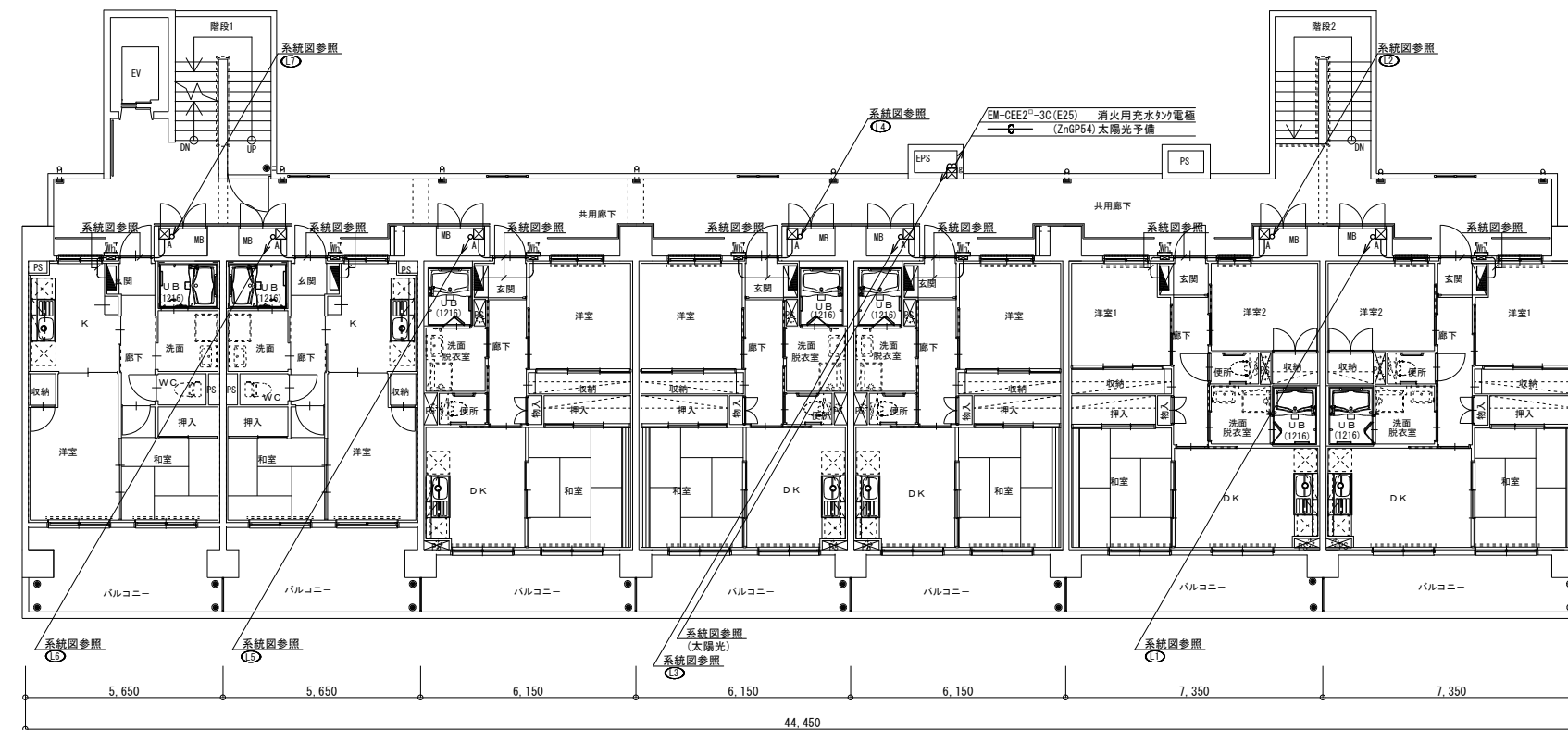
許容電圧降下率(%) (低圧受電)

こう長	幹線部分	分岐部分	合 計
60mまで	2	2	4
60mを超え120m以下	2	2	4
120mを超え200m以下	3	2	5
200m超過	4	2	6



注記		
1) 図中特記無き配管・配線は下記による		
記号	配線	保護管
2.0	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
5.5	EM-1E5.5	(VE16)
22	EM-1E22	(VE22)
22	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
22	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
22	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
22	EM-OEE2-3C	(ZnGP22)
22	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)
2) ふかし壁・Co壁の立下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること		
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(※は図示のとおり)		
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)		
5) : 梁・小梁を指す		
6) : 区画処理を指す		
7) : 管枕(SUS製)W150 H70 ｺﾞﾑﾊﾞｰｽ付		

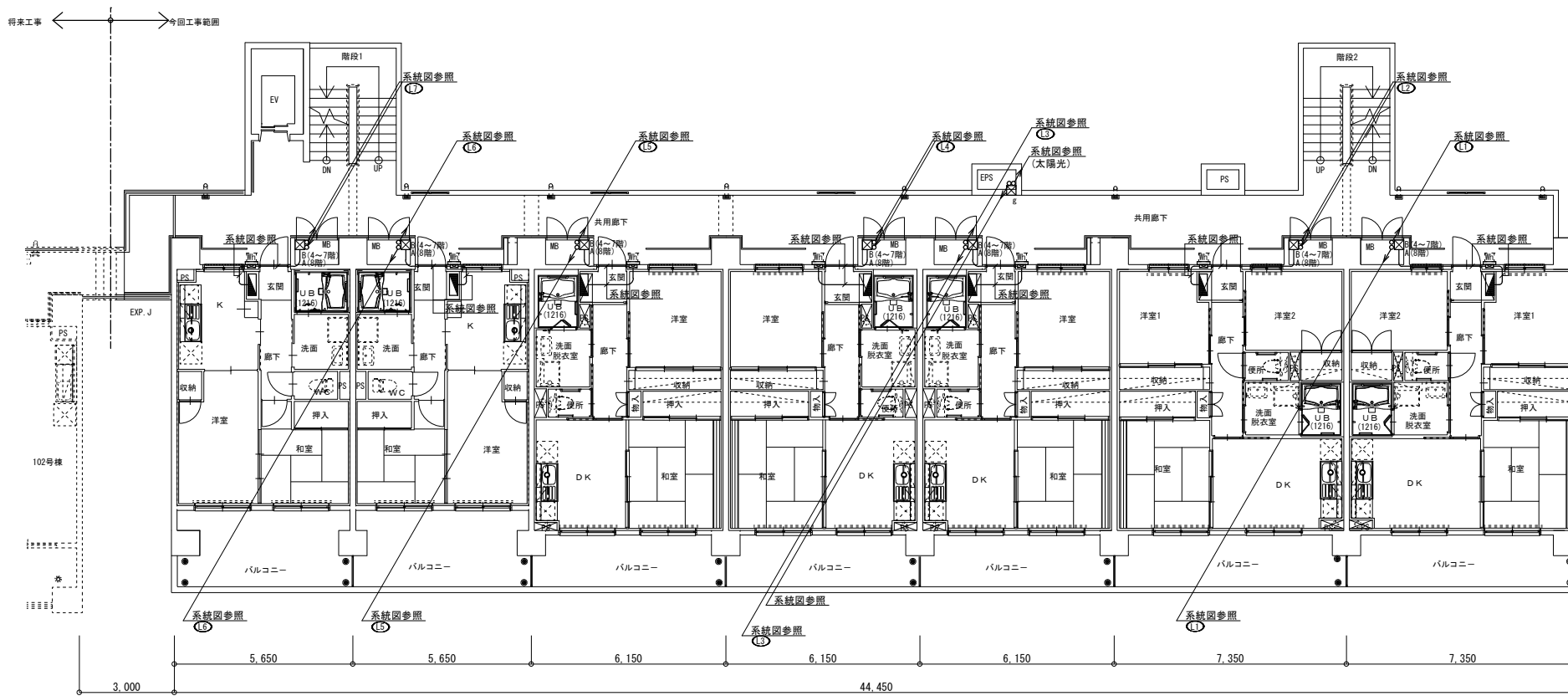




9階平面図 S=1/200

2K : 43.05㎡ 2K : 43.05㎡ 2DK : 51.66㎡ 2DK : 51.66㎡ 2DK : 51.66㎡ 3DK : 61.74㎡ 3DK : 61.74㎡

4.650
2.350
8.400
1.800

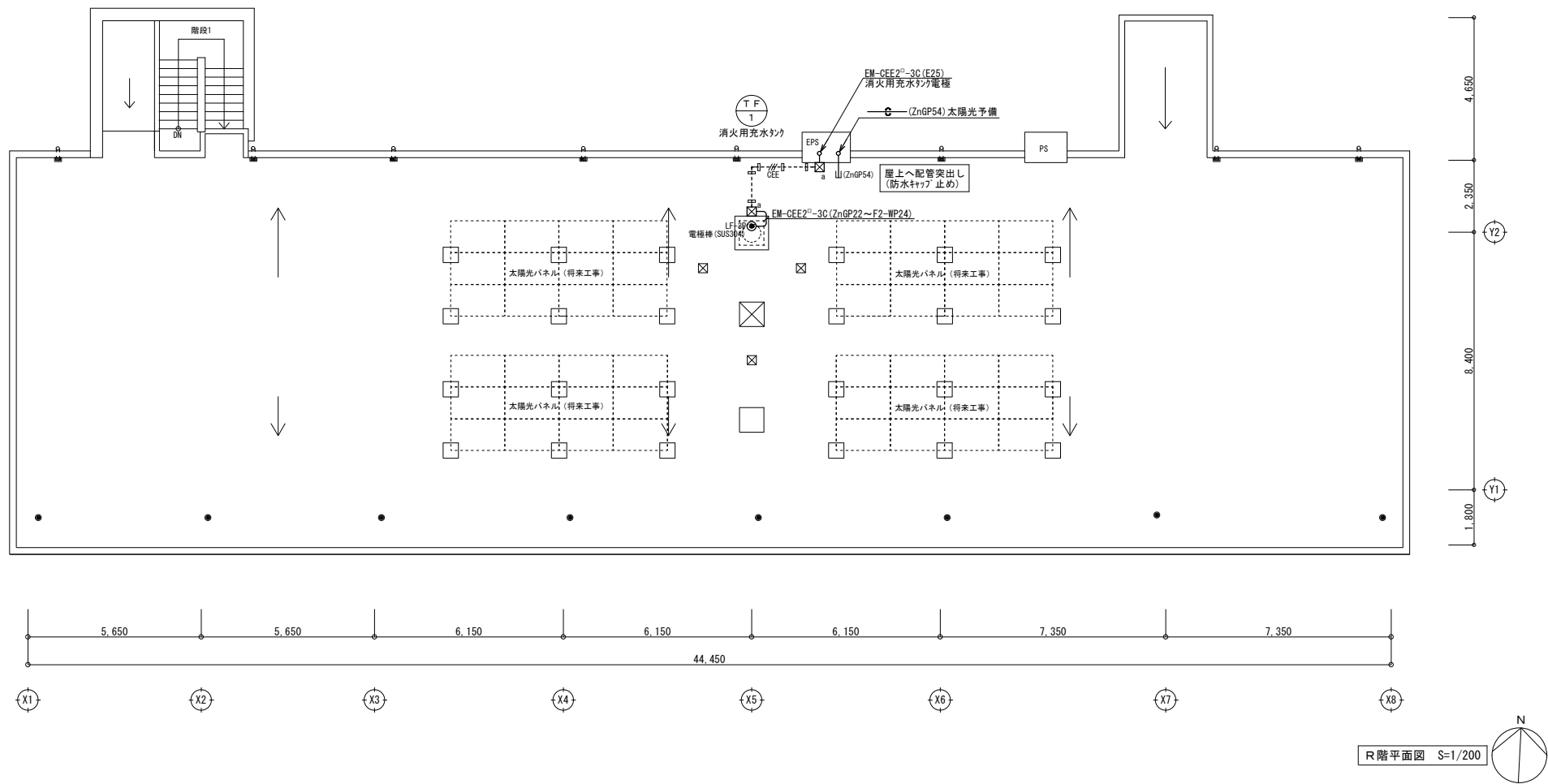


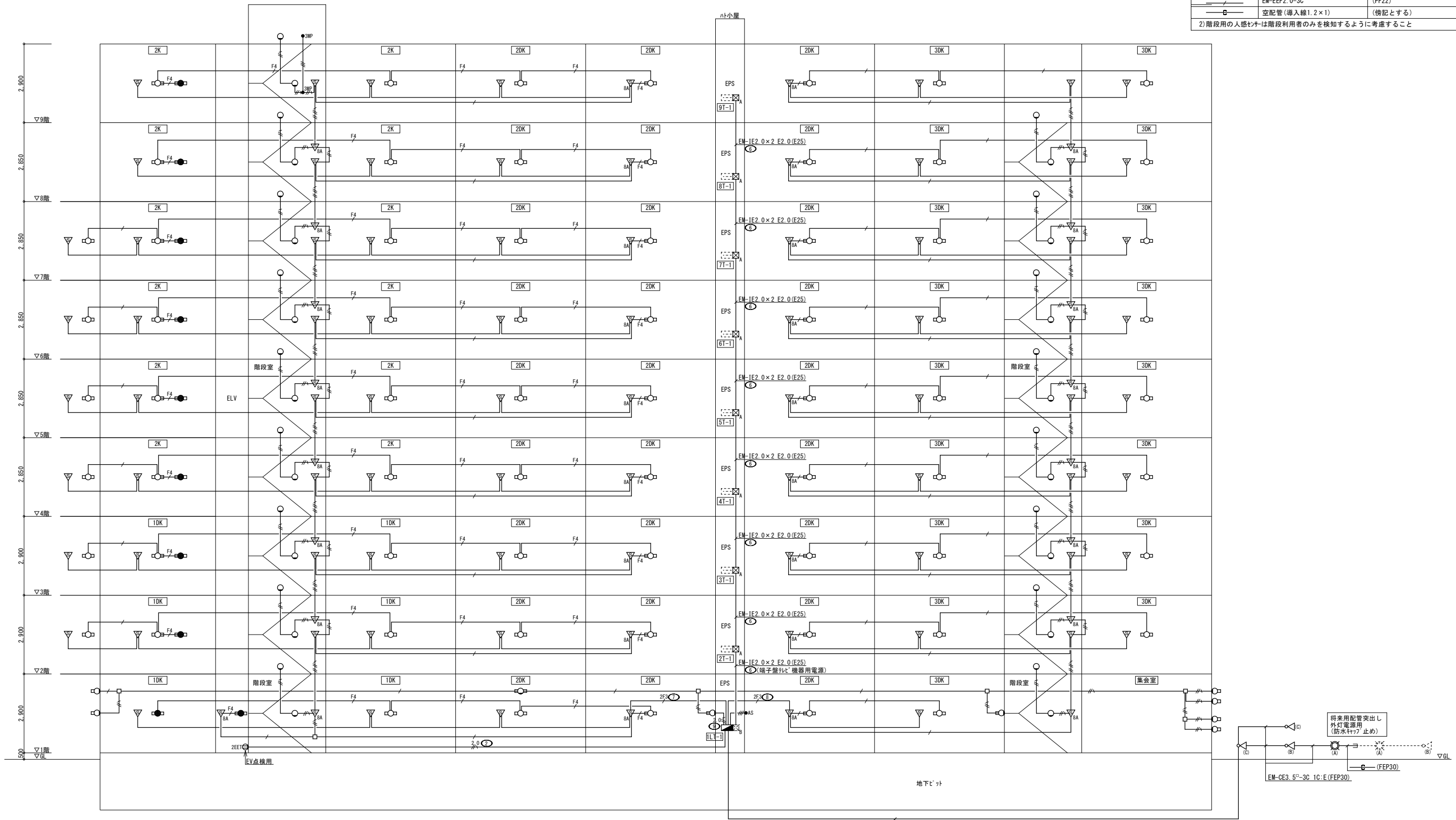
4～8階平面図 S=1/200

2K : 43.05㎡ 2K : 43.05㎡ 2DK : 51.66㎡ 2DK : 51.66㎡ 2DK : 51.66㎡ 3DK : 61.74㎡ 3DK : 61.74㎡

4.650
2.350
8.400
1.800



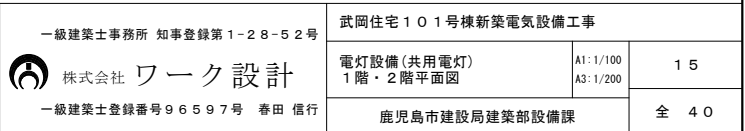


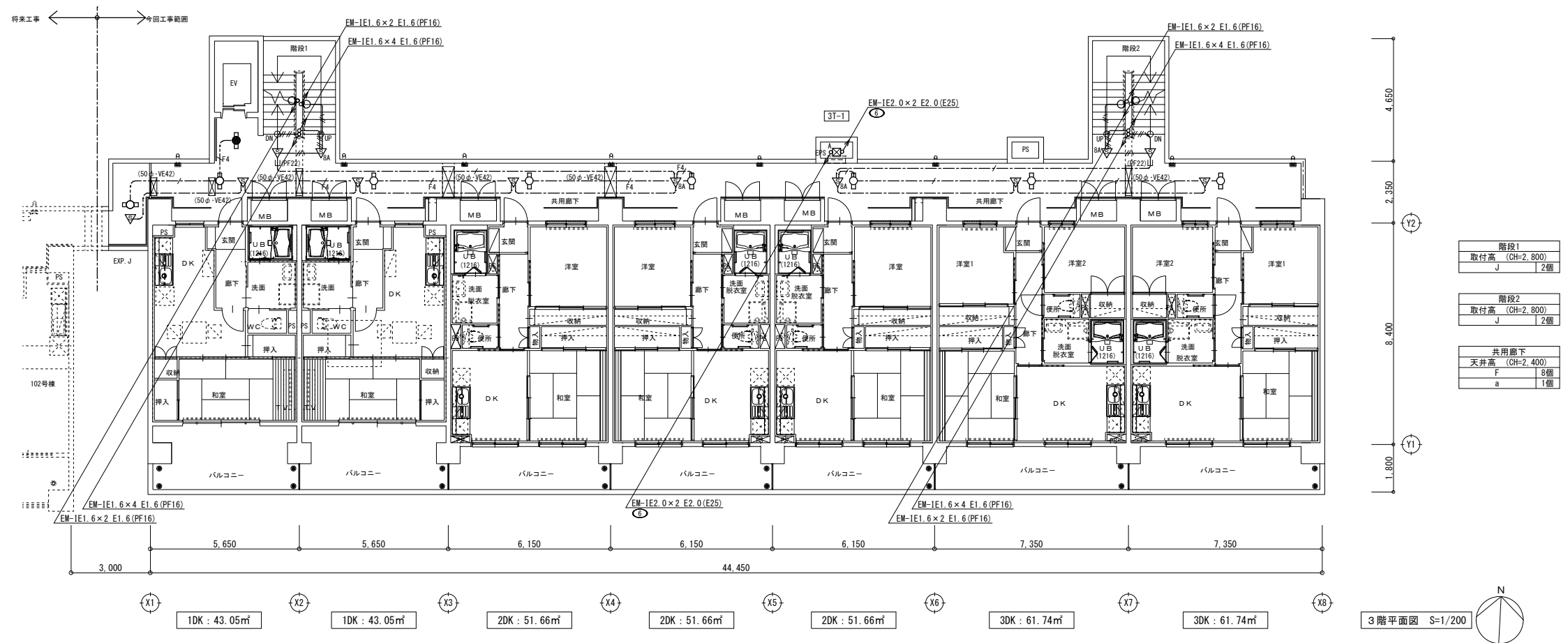


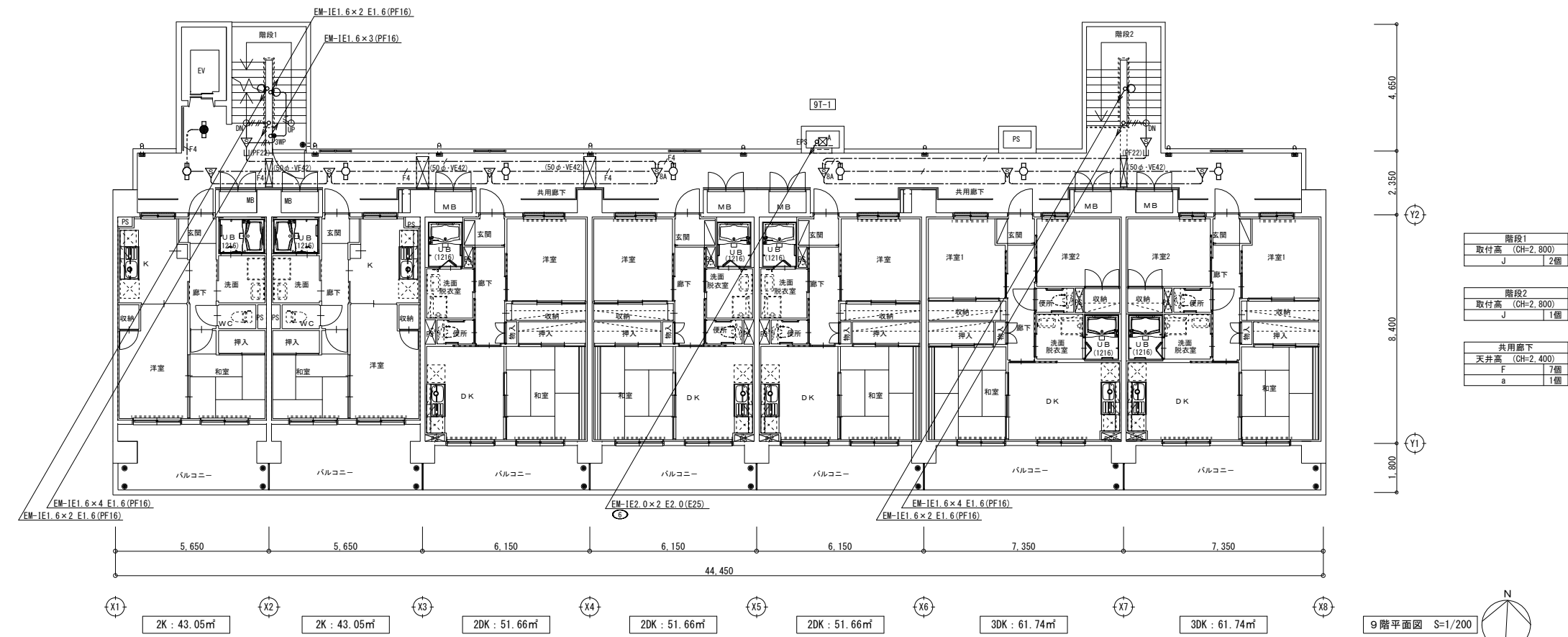
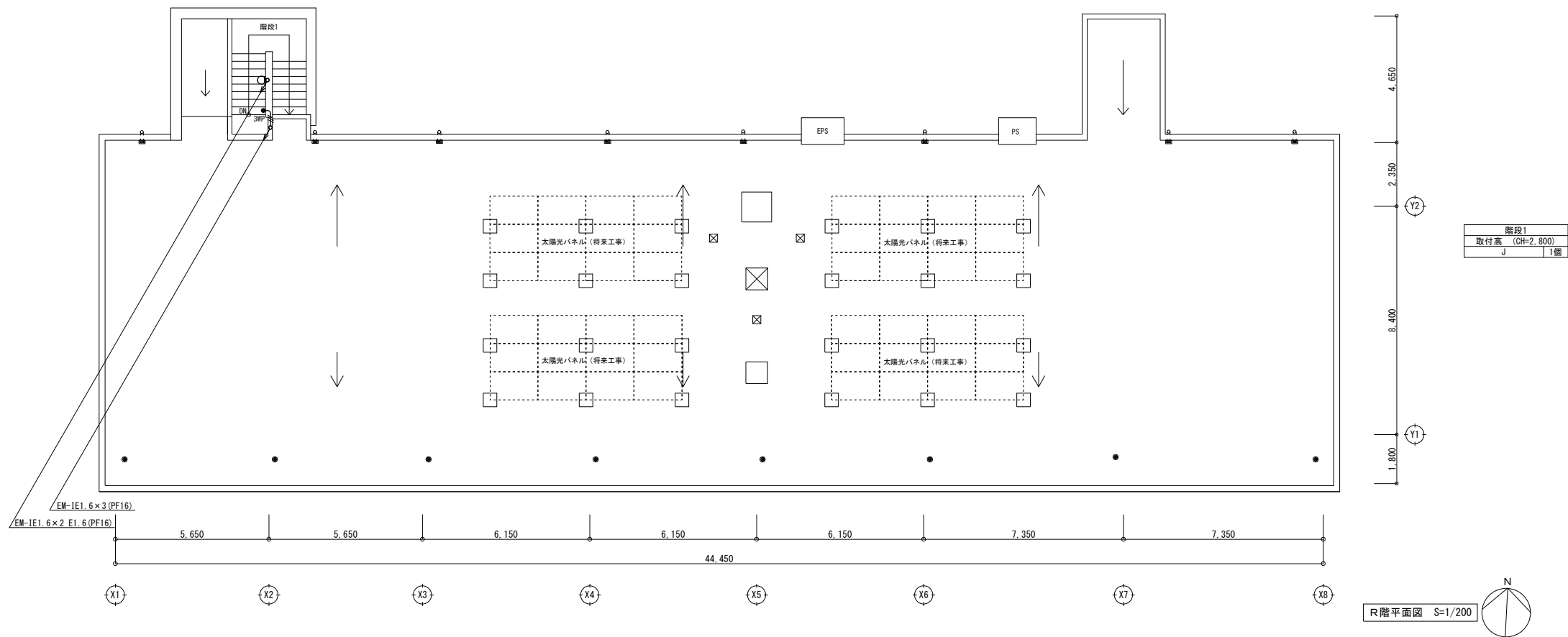
注記		
1) 図中特記無き配管・配線は下記による		
記号	配線	保護管
——	EM-IE1.6×2	(PF16)
——	EM-IE1.6×3	(PF16)
——	EM-IE1.6×4	(PF16)
——	EM-IE1.6×5	(PF16)
——	EM-IE1.6×2 E1.6	(PF16)
——	EM-IE1.6×4 E1.6	(PF16)
——	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
——	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
——	EM-EEF1.6-2C×2	(PF22)
——	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
——	空配管(導入線1.2×1)	(検配とする)
2) 階段用の人感センサーは階段利用者のみを検知するように考慮すること		

共用電灯設備系統図

EM-CE3.5²-3C 1C:E (FEP40~ZnGP36) 外灯
(表示灯 ①・警報・IS-1 ②回路配管共用)







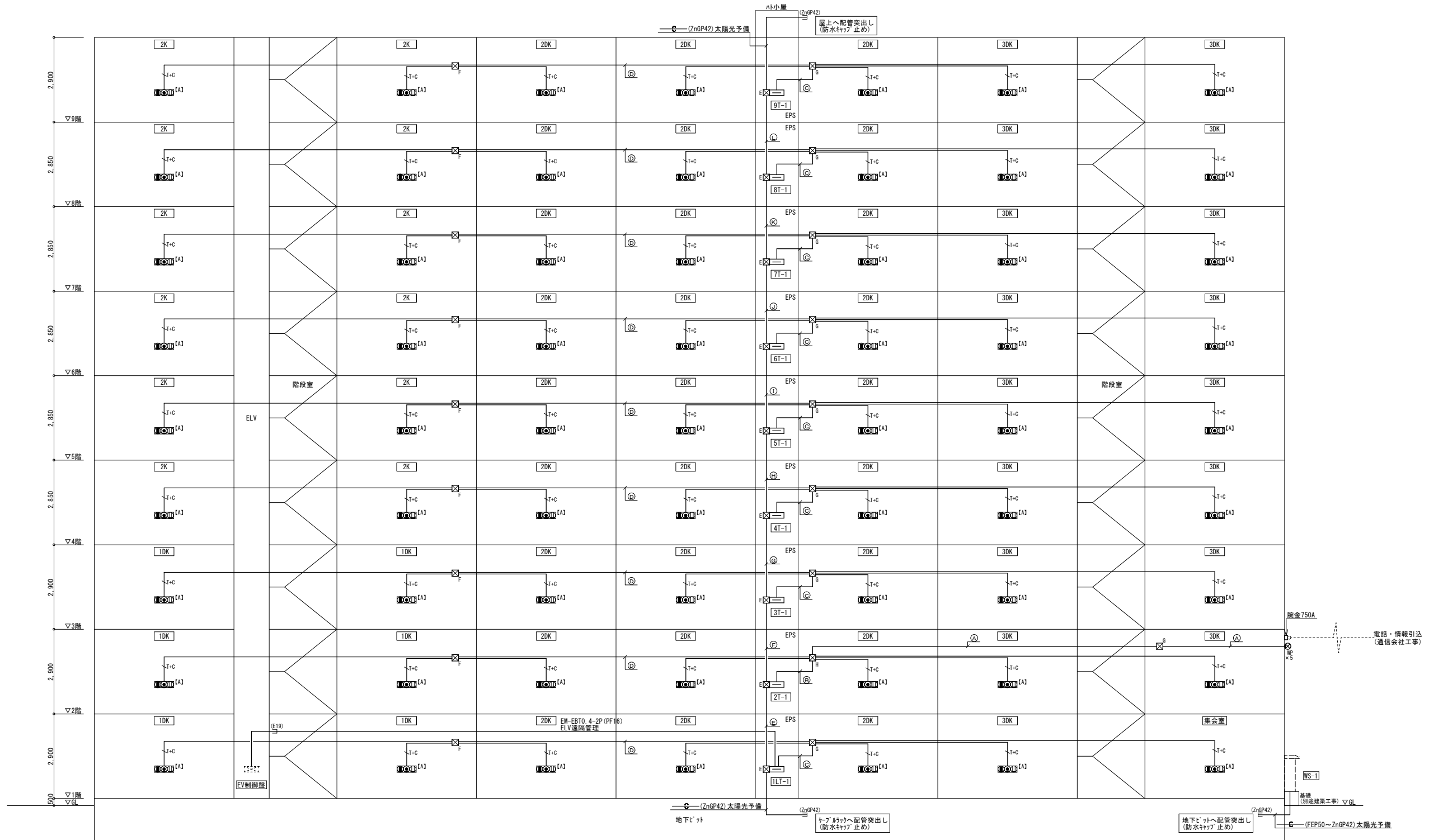
配線リスト

	配 線	保護管	径 間	種 別		配 線	保護管	径 間	種 別		配 線	保護管	径 間	種 別
㊦	— — —	(PF28×2)	電話引込口	～ 端子盤 (2T-1)	㊦	EM-TKEEO. 5-20P	(E25)	端子盤 (2T-1) ～ 電灯・端子盤 (1LT-1)	電話	㊦	EM-TKEEO. 5-30P×2	(E39)	端子盤 (5T-1) ～ 端子盤 (6T-1)	電話・ELV
	— — —	(PF28×2)	情報引込口	～ 端子盤 (2T-1)		—	(E51)	端子盤 (2T-1) ～ 電灯・端子盤 (1LT-1)	情報		—	(E51×2)	端子盤 (5T-1) ～ 端子盤 (6T-1)	情報
	— — —	(PF28)	予備	—		—	(E51)	端子盤 (2T-1) ～ 電灯・端子盤 (1LT-1)	太陽光		—	(E51)	端子盤 (5T-1) ～ 端子盤 (6T-1)	太陽光
㊦	— — —	(PF28×2)	電話引込口	～ 端子盤 (2T-1)	㊦	EM-TKEEO. 5-100P	(E51)	予備	—	㊦	EM-TKEEO. 5-50P	(E39)	予備	—
	— — —	(PF28×2)	情報引込口	～ 端子盤 (2T-1)		—	(E51)	端子盤 (2T-1) ～ 端子盤 (3T-1)	電話・ELV		—	(E39)	端子盤 (6T-1) ～ 端子盤 (7T-1)	電話・ELV
	EM-EBTO. 4-2P×7	(PF28)	端子盤 (2T-1) ～ 住戸内電話用「うーじ」ケーブル	電話		—	(E51×2)	端子盤 (2T-1) ～ 端子盤 (3T-1)	情報		—	(E51)	端子盤 (6T-1) ～ 端子盤 (7T-1)	情報
㊦	— — —	(PF28×2)	端子盤 (2T-1) ～ 住戸内「ｽﾌｧｯﾌﾟ」	情報	㊦	—	(E51)	端子盤 (2T-1) ～ 端子盤 (3T-1)	太陽光	㊦	—	(E51)	端子盤 (6T-1) ～ 端子盤 (7T-1)	太陽光
	— — —	(PF28×3)	予備	—		—	(E51)	予備	—		—	(E51)	予備	—
	EM-EBTO. 4-2P×7	(PF28)	各階端子盤	～ 住戸内電話用「うーじ」ケーブル	㊦	EM-TKEEO. 5-100P	(E51)	端子盤 (3T-1) ～ 端子盤 (4T-1)	電話・ELV	㊦	EM-TKEEO. 5-30P	(E31)	端子盤 (7T-1) ～ 端子盤 (8T-1)	電話・ELV
㊦	— — —	(PF28×2)	各階端子盤	～ 住戸内「ｽﾌｧｯﾌﾟ」		—	(E51×2)	端子盤 (3T-1) ～ 端子盤 (4T-1)	情報		—	(E51)	端子盤 (7T-1) ～ 端子盤 (8T-1)	情報
	— — —	(PF28×2)	予備	—		—	(E51)	端子盤 (3T-1) ～ 端子盤 (4T-1)	太陽光		—	(E51)	端子盤 (7T-1) ～ 端子盤 (8T-1)	太陽光
㊦	— — —	(PF22)	各階端子盤	～ 住戸内電話用「うーじ」ケーブル	㊦	—	(E51)	予備	—	㊦	—	(E51)	予備	—
	— — —	(PF22×2)	各階端子盤	～ 住戸内「ｽﾌｧｯﾌﾟ」		EM-TKEEO. 5-30P+50P	(E51)	端子盤 (4T-1) ～ 端子盤 (5T-1)	電話・ELV		EM-TKEEO. 5-20P	(E25)	端子盤 (8T-1) ～ 端子盤 (9T-1)	電話・ELV
	— — —	(PF28)	予備	—		—	(E51×2)	端子盤 (4T-1) ～ 端子盤 (5T-1)	情報		—	(E51)	端子盤 (8T-1) ～ 端子盤 (9T-1)	情報
㊦	— — —	(PF28)	予備	—	㊦	—	(E51)	端子盤 (4T-1) ～ 端子盤 (5T-1)	太陽光	㊦	—	(E51)	端子盤 (8T-1) ～ 端子盤 (9T-1)	太陽光
	— — —	(PF28)	予備	—		—	(E51)	予備	—		—	(E51)	予備	—
	— — —	(PF28)	予備	—		—	(E51)	予備	—		—	(E51)	予備	—

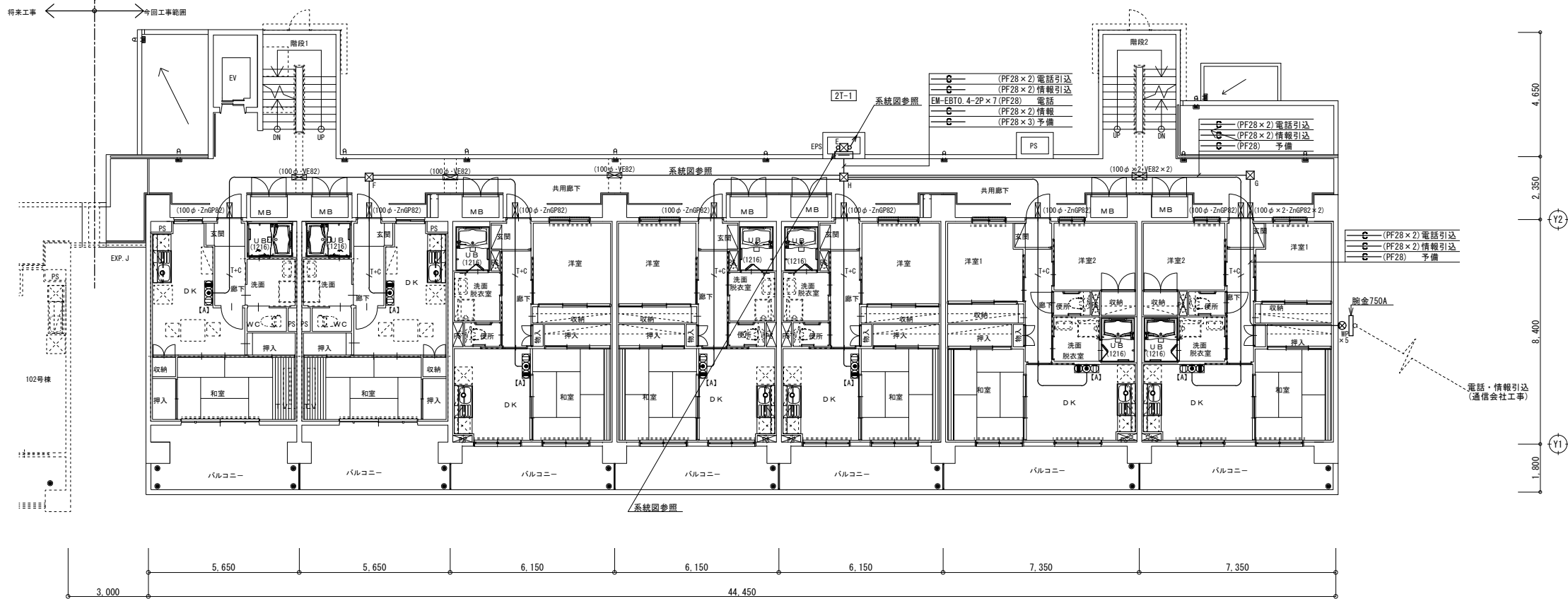
注記

1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による

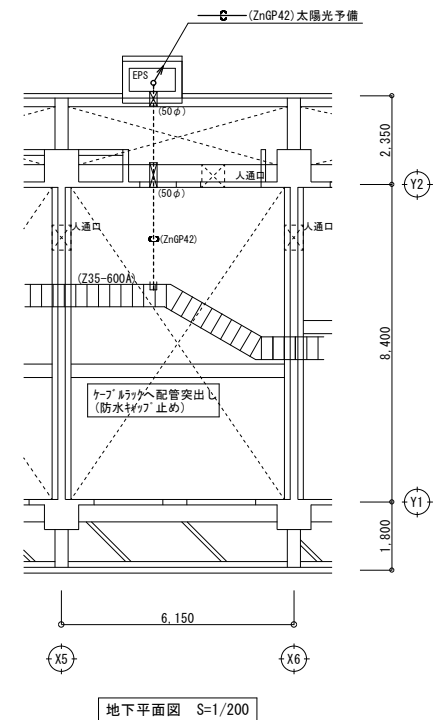
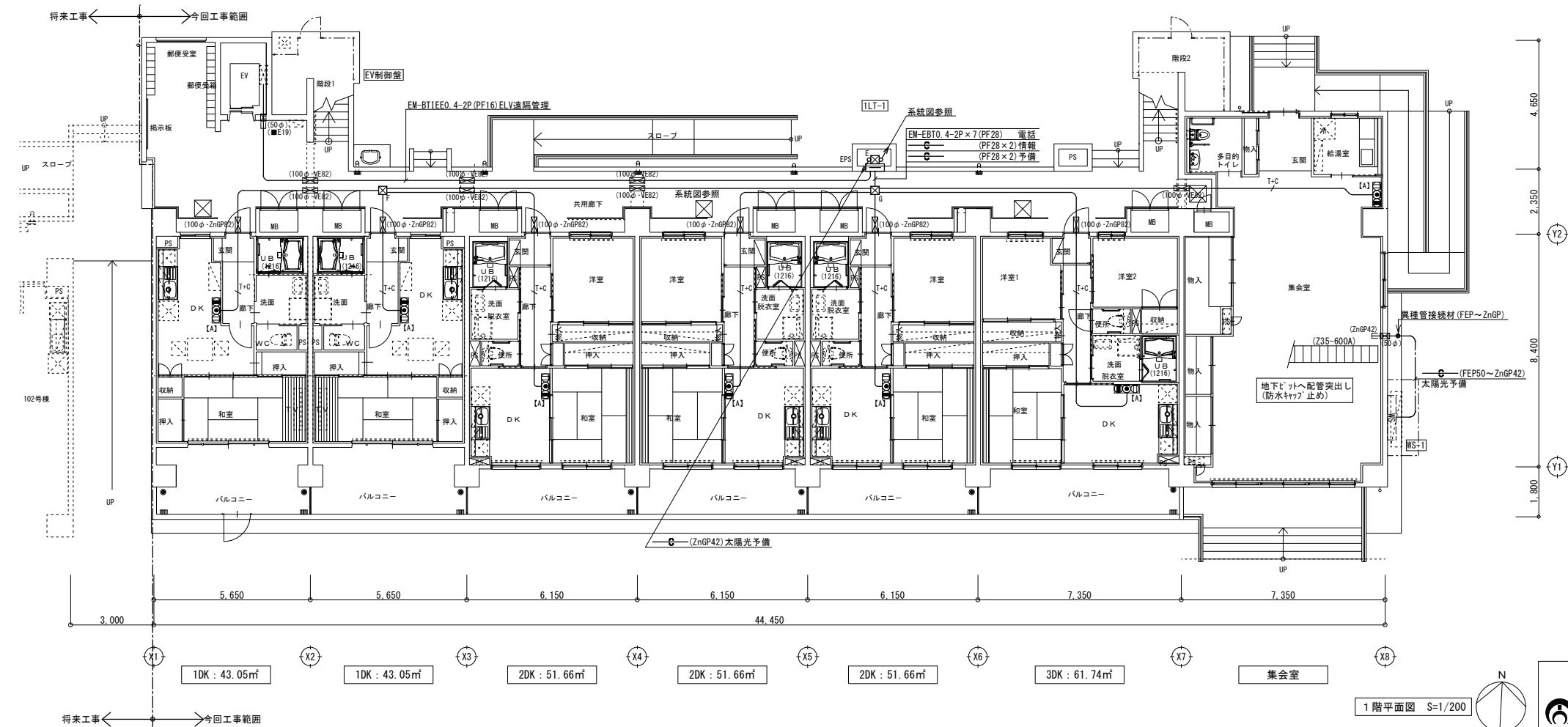
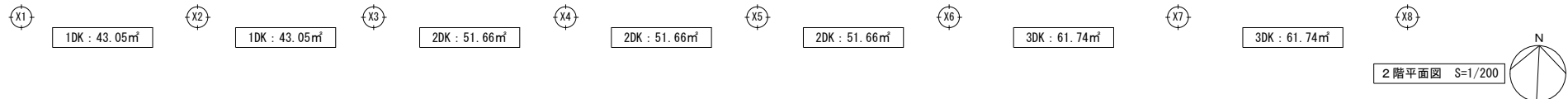
記 号	配 線	保護管
$\frac{T+C}{\quad}$	EW-EBT0. 4-2P	(PF16)
$\frac{\quad}{C}$	空配管(導入線1.2×1)	(PF22)
$\frac{\quad}{C}$	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)

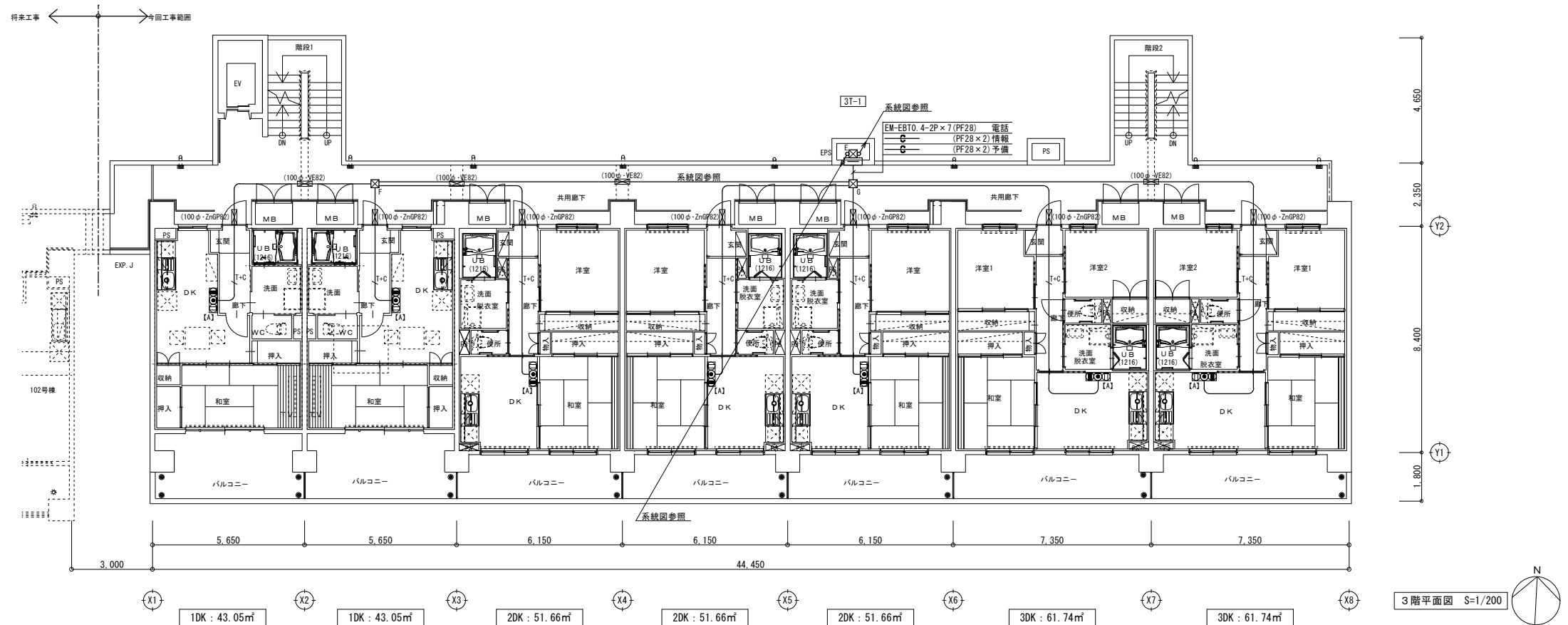
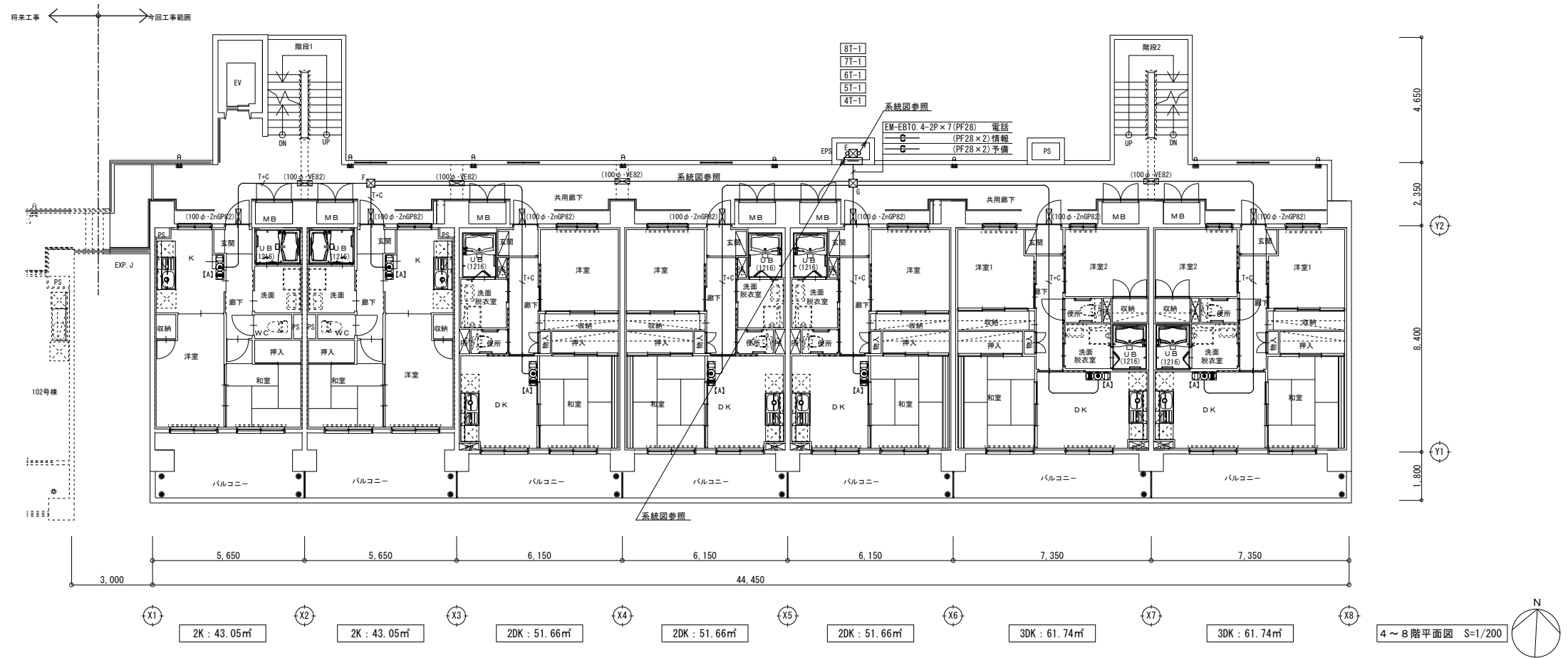


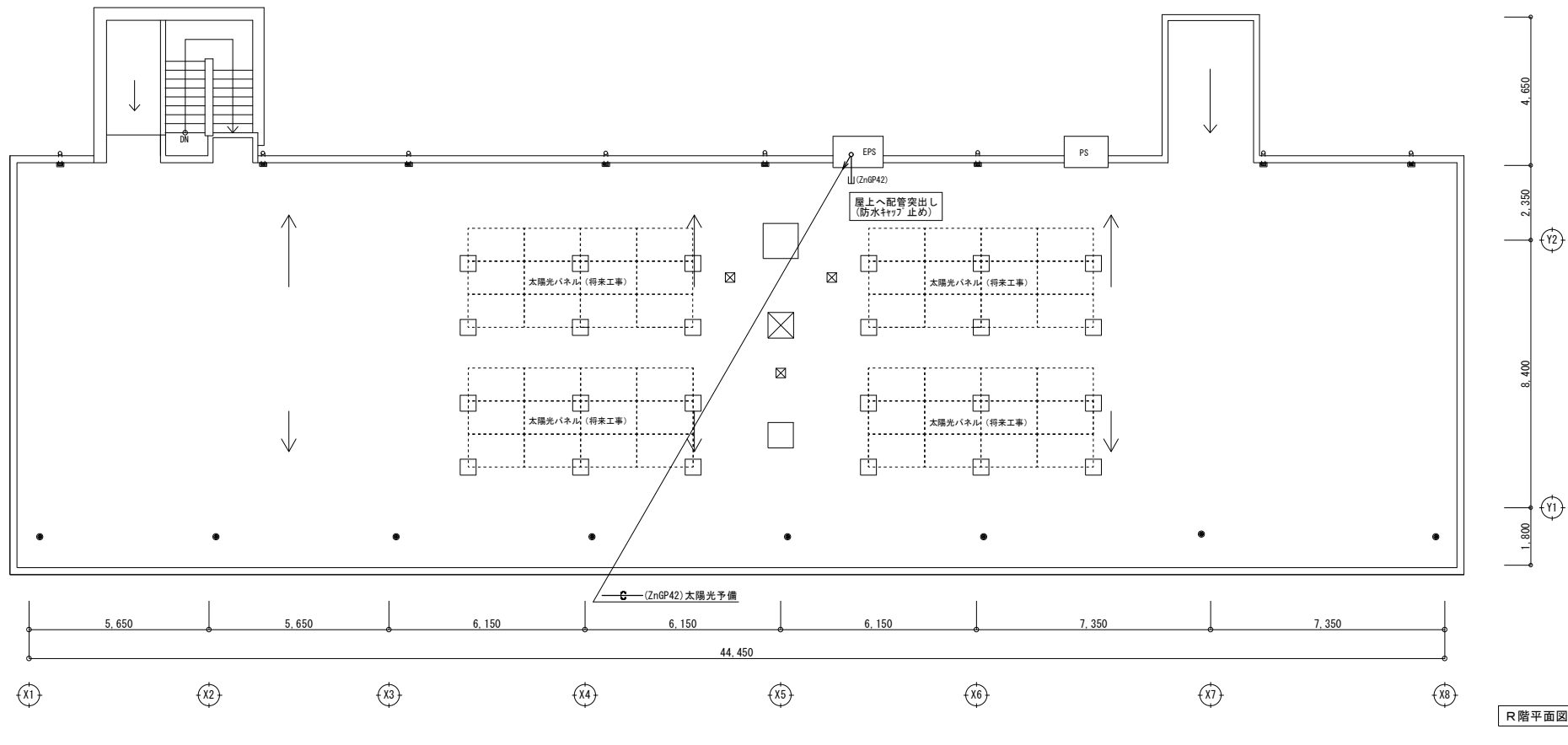
構内交換・構内情報通信網設備系統図



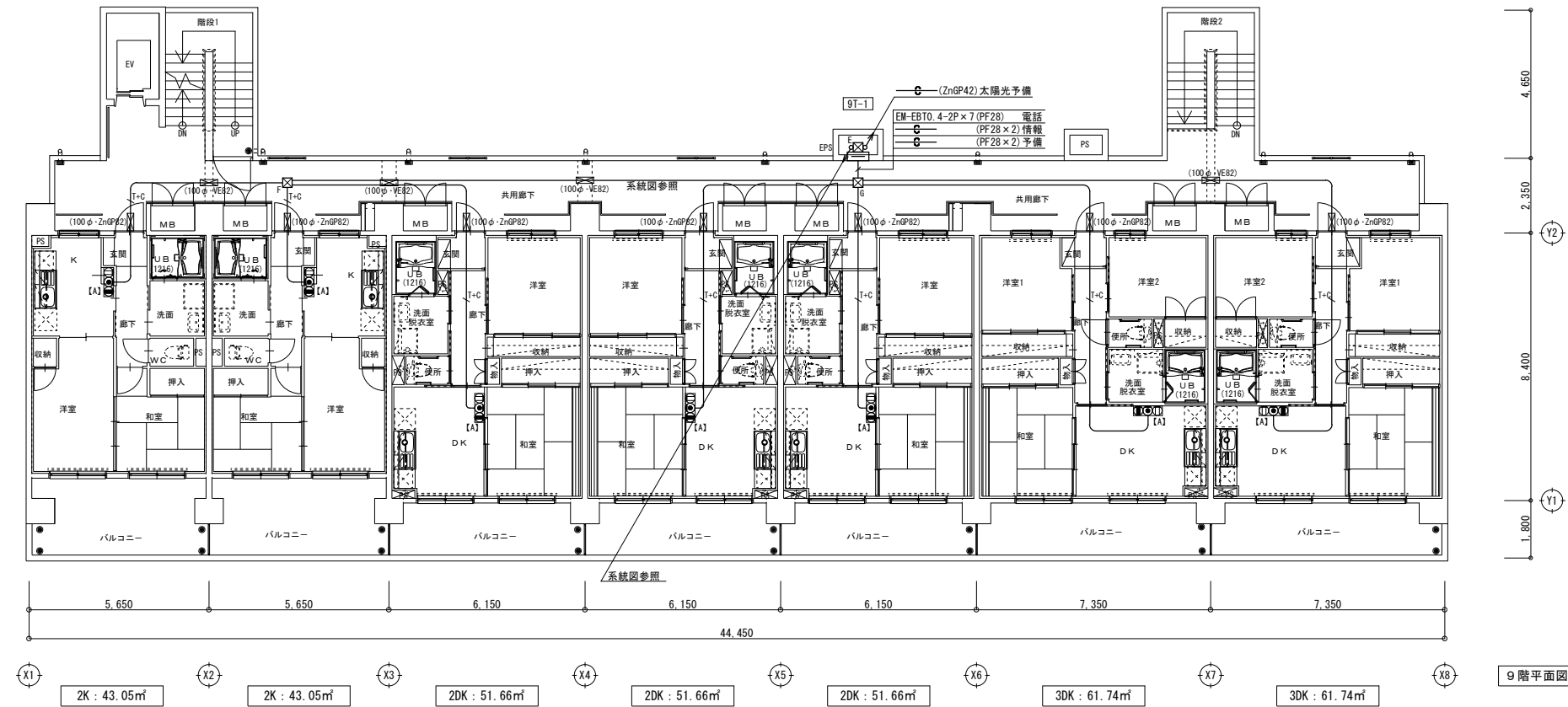
注記		
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による		
記号	配線	保護管
—	EM-AE1. 2-3C	(PF16)
—	EM-AE1. 2-3C×2	(PF16)
—	EM-AE1. 2-3C×3	(PF16)
—	EM-AE1. 2-3C×4	(PF22)
—	EM-AE1. 2-3C×5	(PF22)
—	EM-AE1. 2-3C×6	(PF28)
—	EM-AE1. 2-3C×7	(PF28)
—	EM-AE1. 2-3C×8	(PF28)
—	EM-AE1. 2-4C	(PF16)
—	EM-S-5C-FB	(PF16)
—	EM-S-7C-FB	(PF22)
—	EM-EBT0. 4-2P	(PF16)
—	空配管(導入線1.2×1)	(PF22)
—	EM-EEF2. 0-3C	(PF22)
—	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)
2) ふかし壁・Co壁の立下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること		
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(サイズは図示のとおり)		
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)		
5) □ : 梁・小梁X-UPを表す		
() : X-UPサイズを表す		
6) □ : 管枕(SUS製円形)W150 H70 コムベ-ス付		







R階平面図 S=1/200



9階平面図 S=1/200

2K : 43.05㎡ 2K : 43.05㎡ 2DK : 51.66㎡ 2DK : 51.66㎡ 2DK : 51.66㎡ 3DK : 61.74㎡ 3DK : 61.74㎡

注記

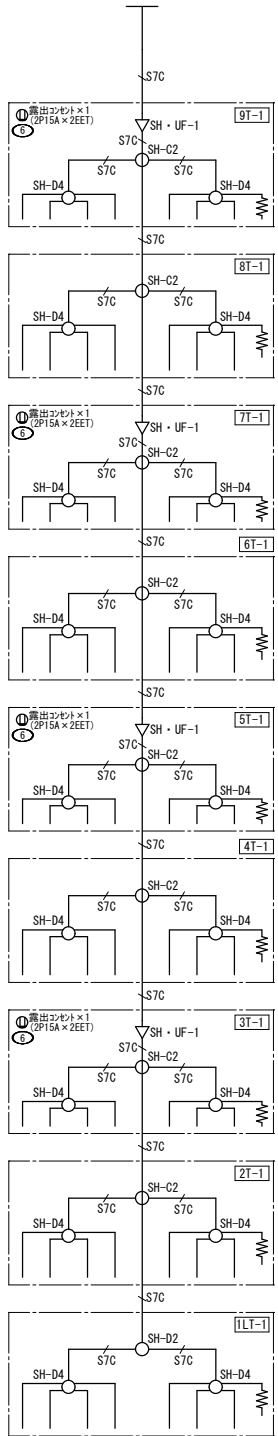
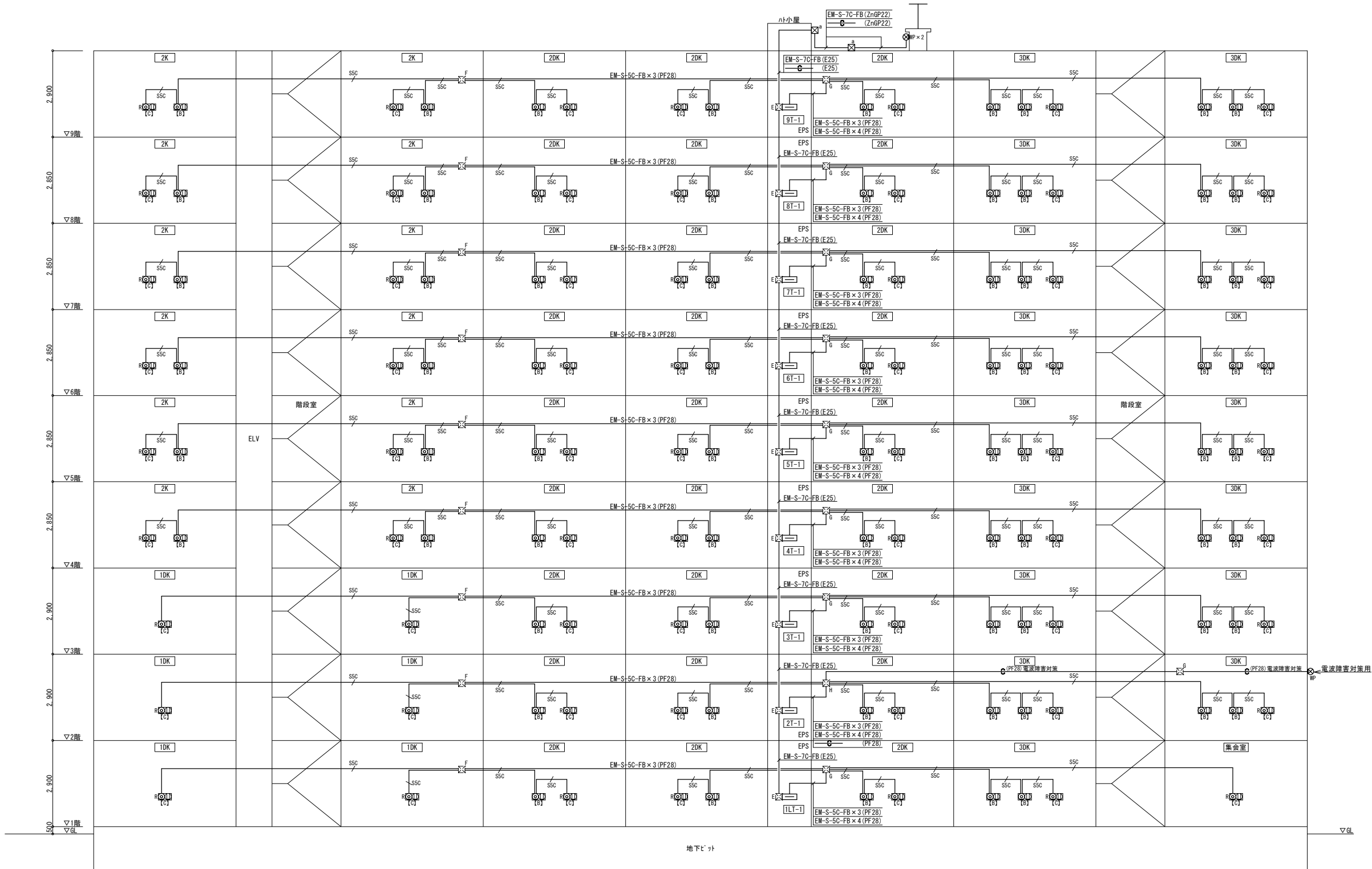
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による

記 号	配 線	保護管
SSC	EM-S-5C-FB	(PF16)
S7C	EM-S-7C-FB	(PF22)
○	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)

2) ふかし壁・Co壁の立下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(サイズは図示のとおり)
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)

【アンテナ仕様】

UHFアンテナ(AU-2 全帯域用)
アンテナスト 40A 1.5m(溶融亜鉛メッキ製)
マスト・ス 400^{mm} t6(溶融亜鉛メッキ製)
(アンテナ・ス 1対共)



テレビ共用設備系統図

注記

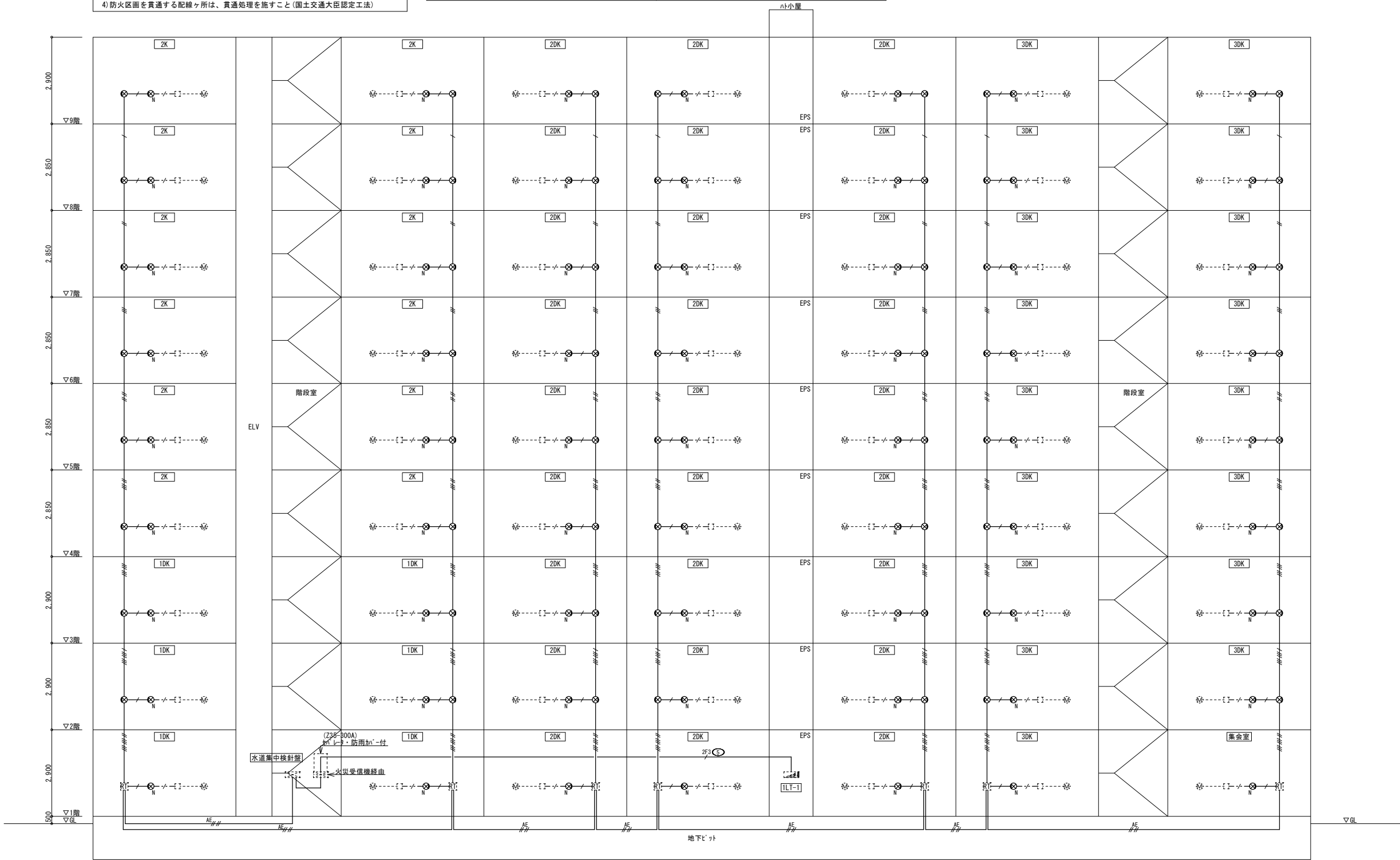
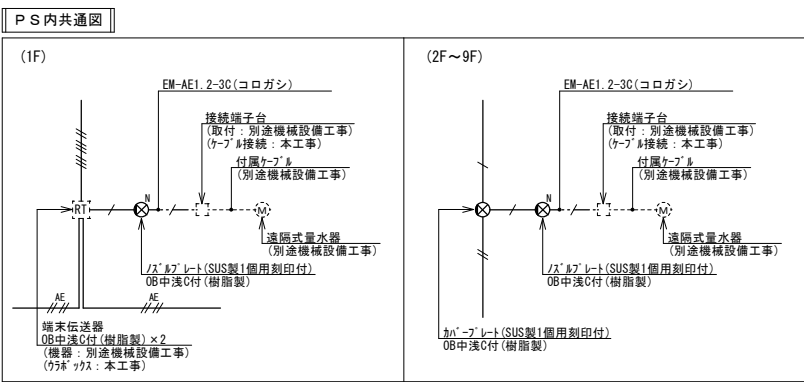
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による

記号	配線	保護管
	EM-AE1. 2-3C	(PF16)
	EM-AE1. 2-3C×2	(PF16)
	EM-AE1. 2-3C×3	(PF16)
	EM-AE1. 2-3C×4	(PF22)
	EM-AE1. 2-3C×5	(PF22)
	EM-AE1. 2-3C×6	(PF28)
	EM-AE1. 2-3C×7	(PF28)
	EM-AE1. 2-3C×8	(PF28)
	EM-AE1. 2-4C	(PF16)
	EM-EFF2. 0-3C	(PF22)
	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)

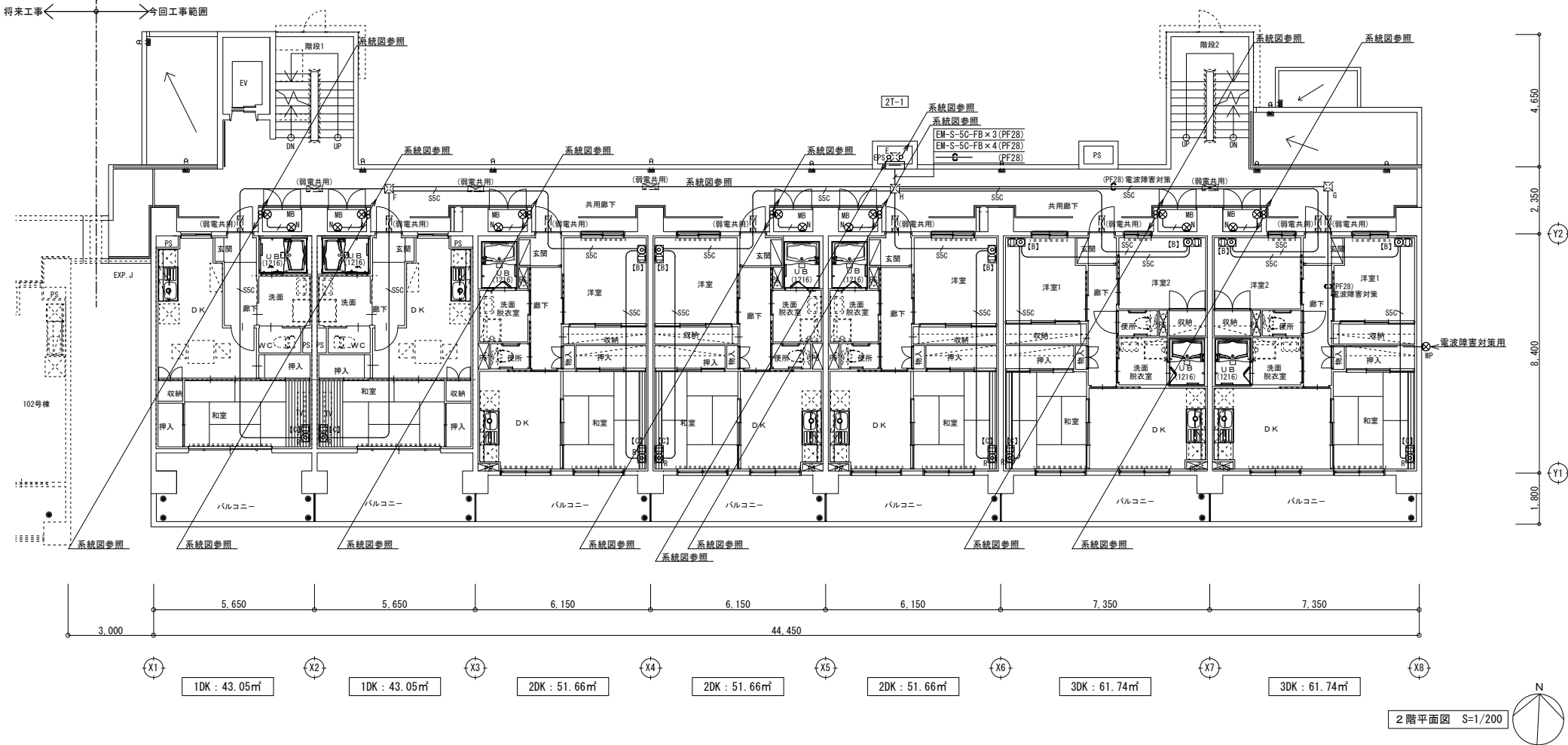
2) ふかし壁・Co壁の立下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること

3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(サイズは図示のとおり)

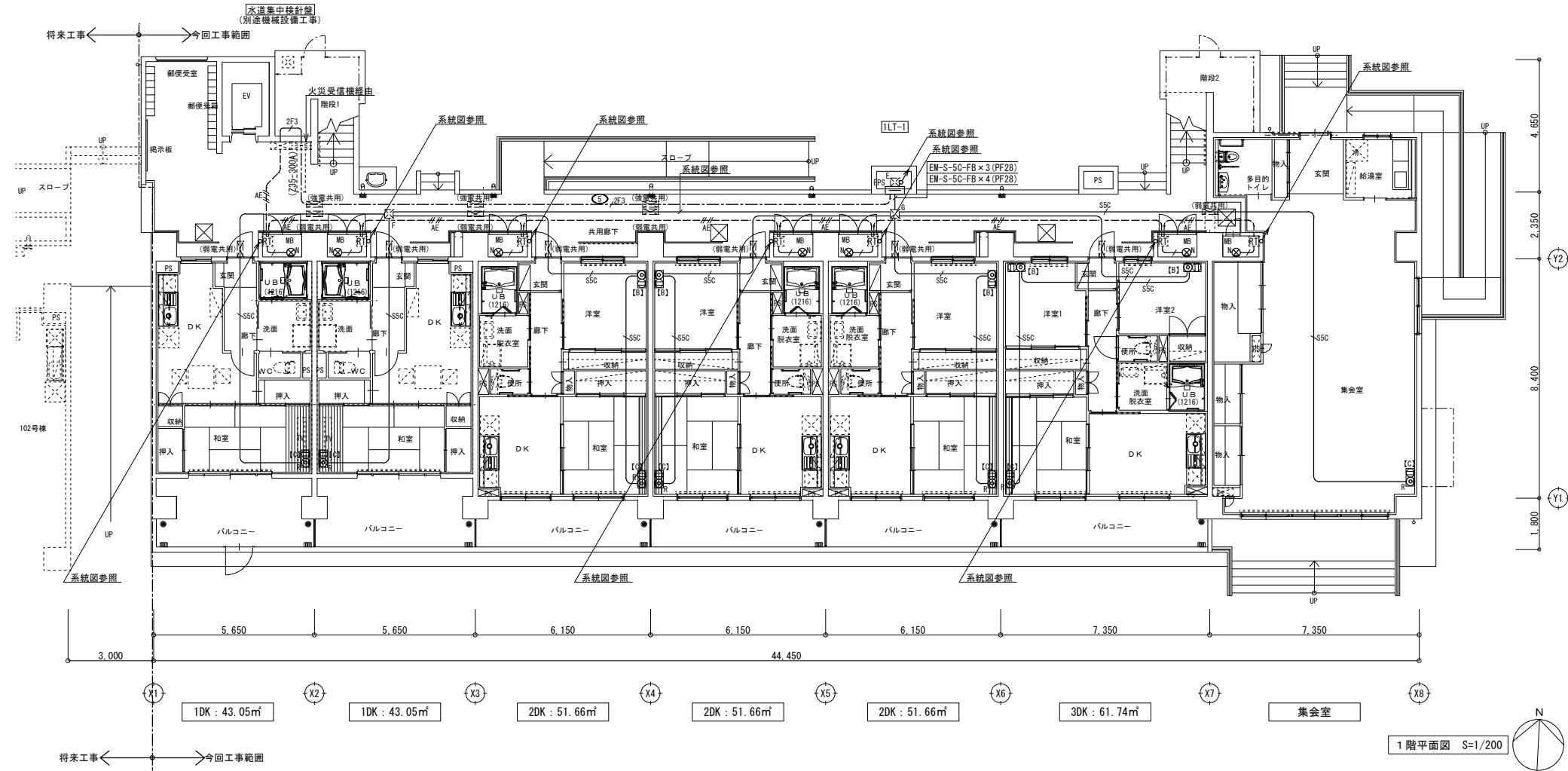
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)

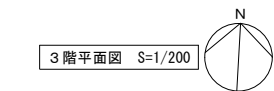
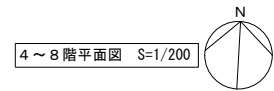


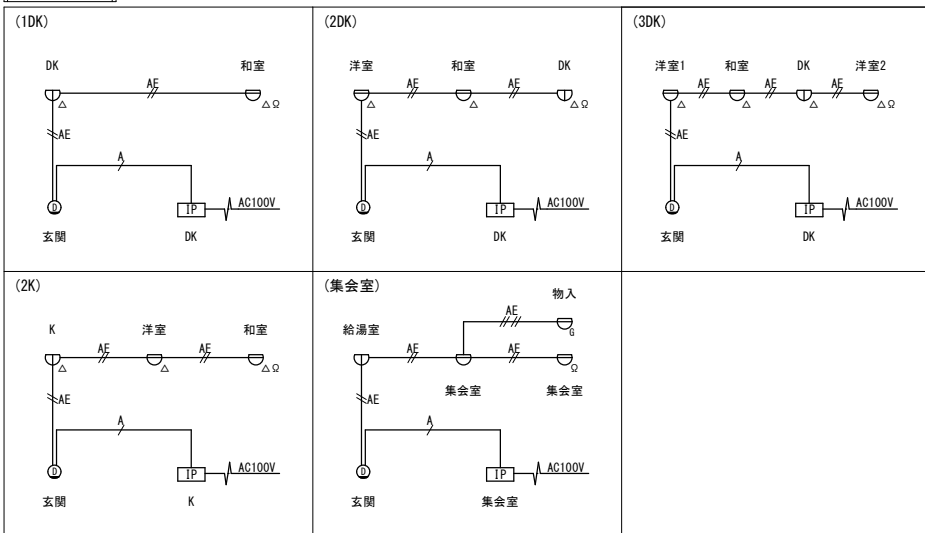
水道集中検針設備系統図



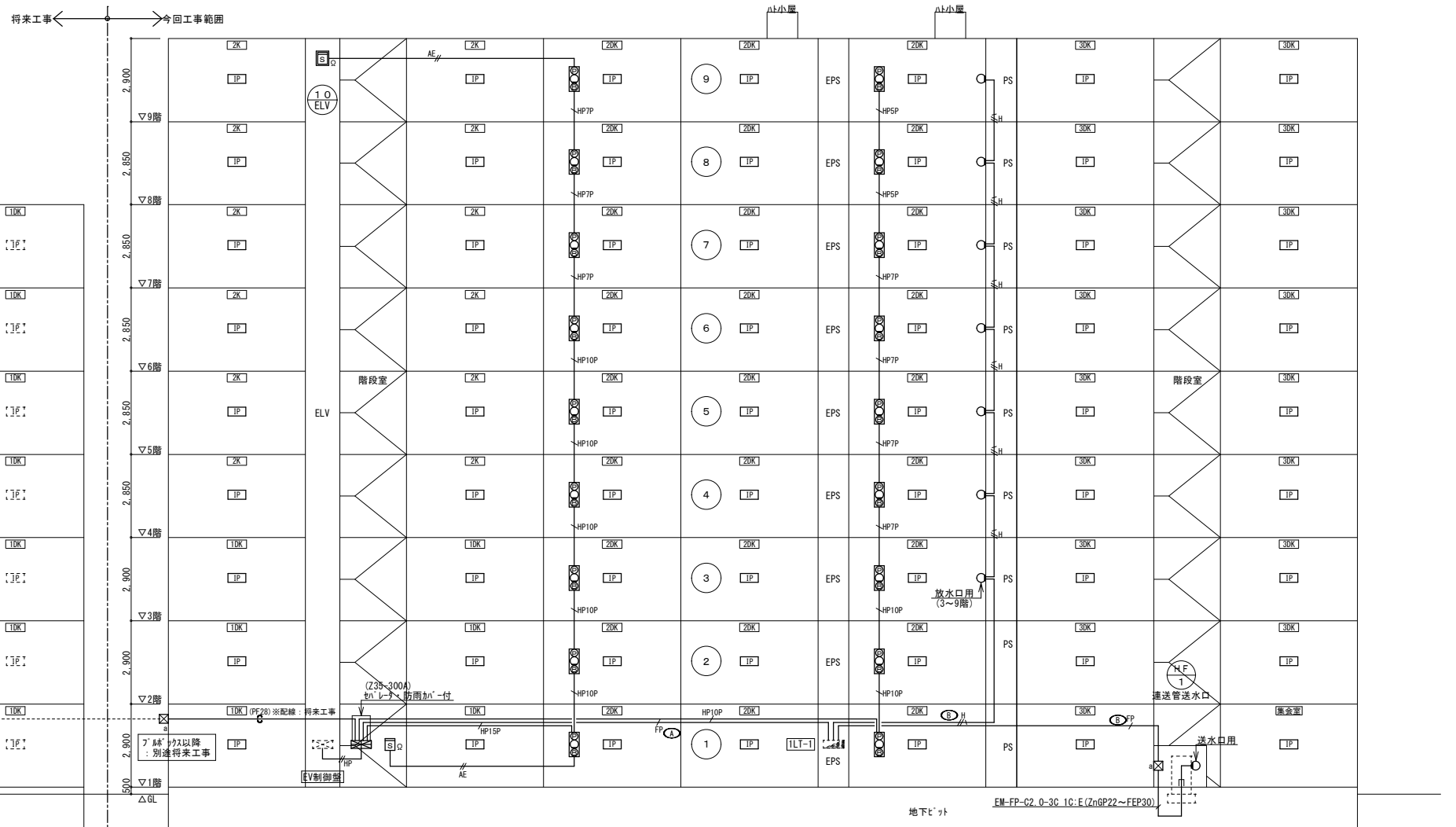
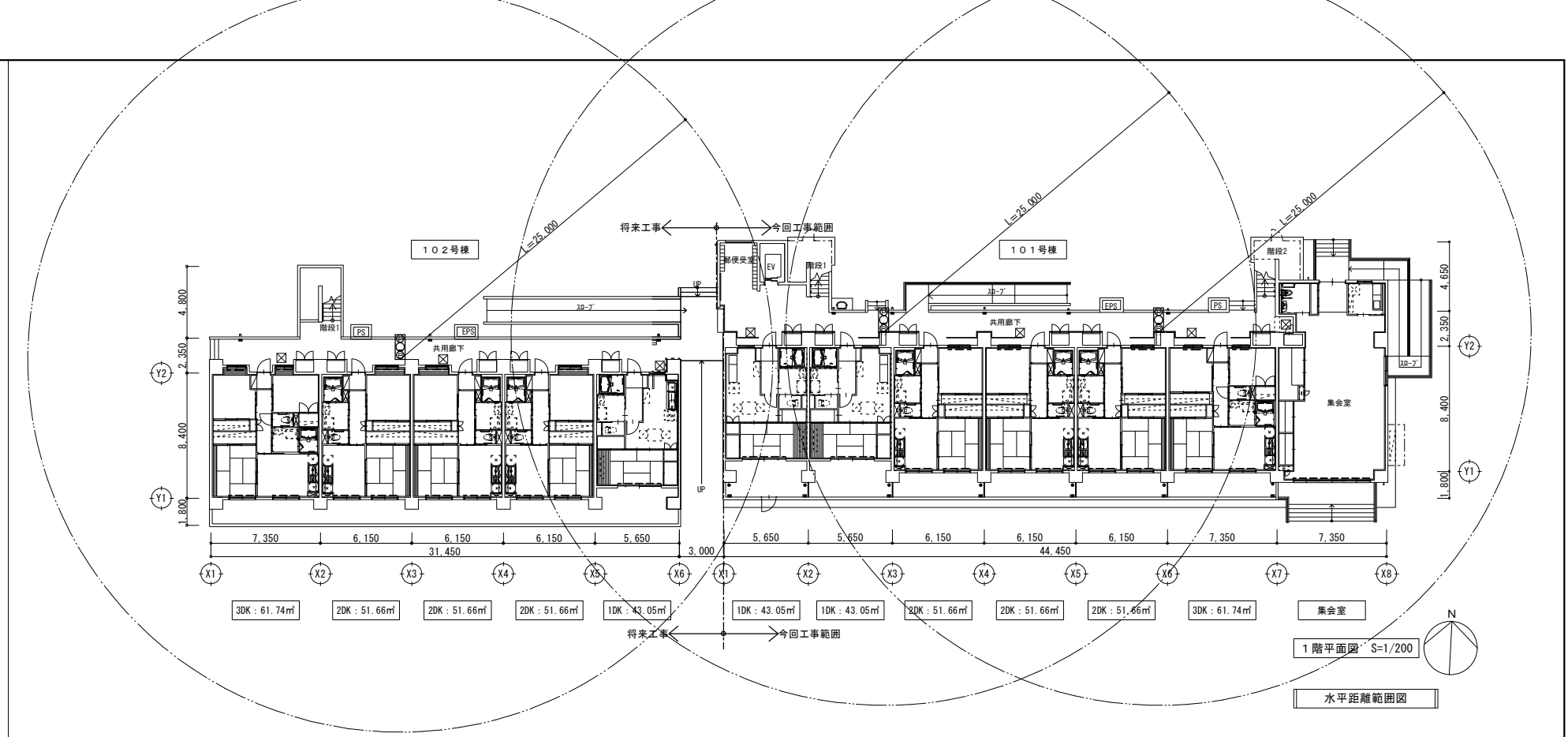
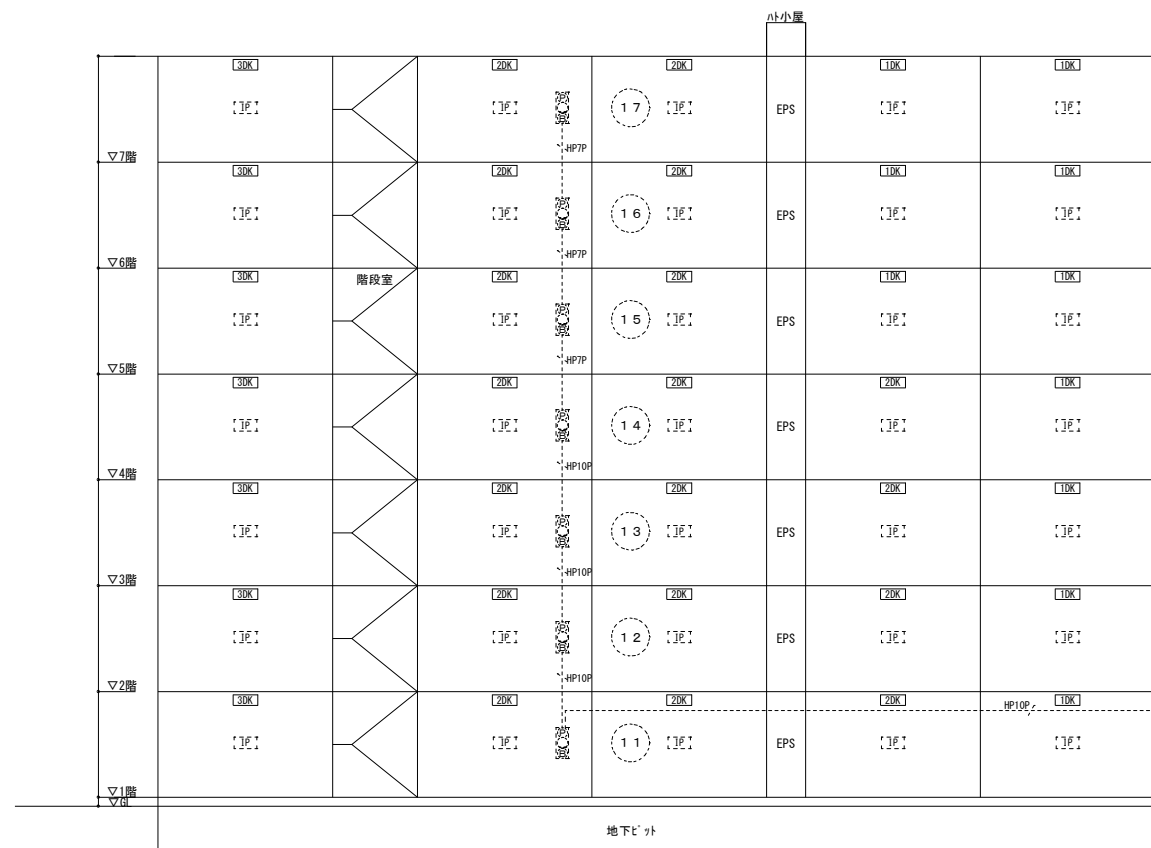
注記		
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による		
記号	配線	保護管
—	EM-AE1.2-3C	(PF16)
—	EM-AE1.2-3C×2	(PF16)
—	EM-AE1.2-3C×3	(PF16)
—	EM-AE1.2-3C×4	(PF22)
—	EM-AE1.2-3C×5	(PF22)
—	EM-AE1.2-3C×6	(PF28)
—	EM-AE1.2-3C×7	(PF28)
—	EM-AE1.2-3C×8	(PF28)
—	EM-AE1.2-4C	(PF16)
—	EM-S-5C-FB	(PF16)
—	EM-S-7C-FB	(PF22)
—	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
—	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
—	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)
2) ふかし壁・Co壁の立下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること		
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(サイズは図示のとおり)		
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)		
5) : 梁・小梁スリプを表す		
6) : 管枕(SUS製φ24φ)W150 H70 コムベ-ス付		





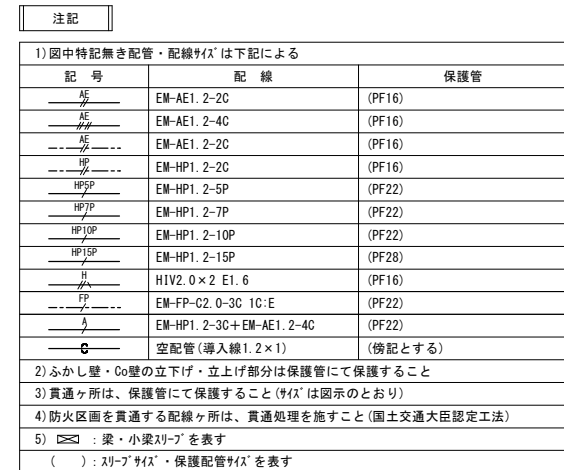
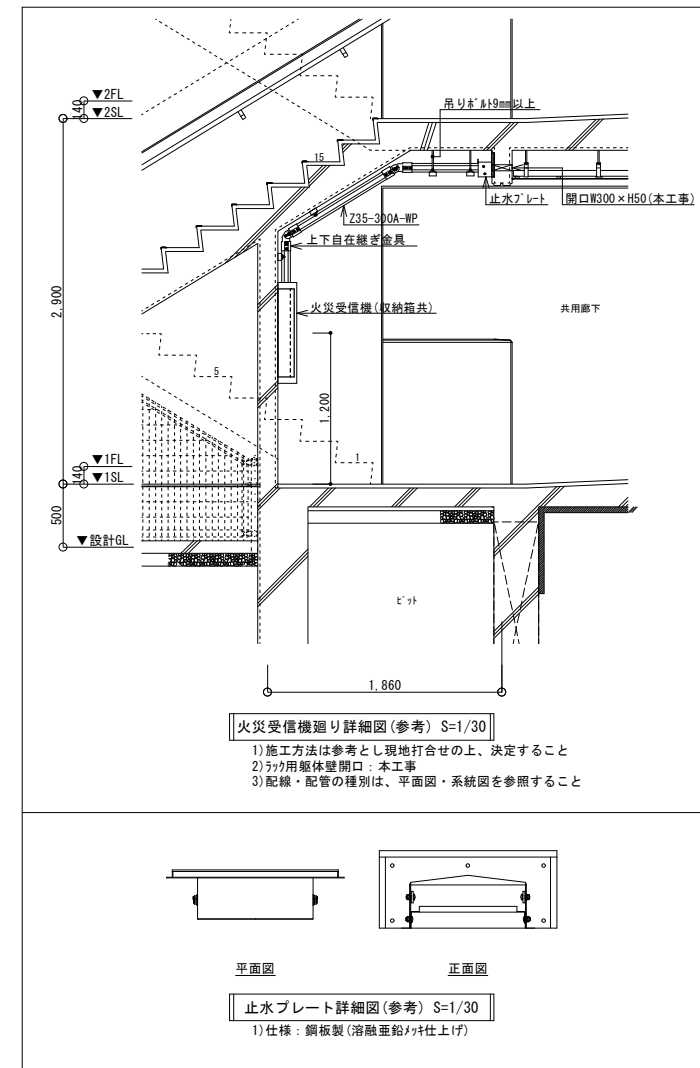


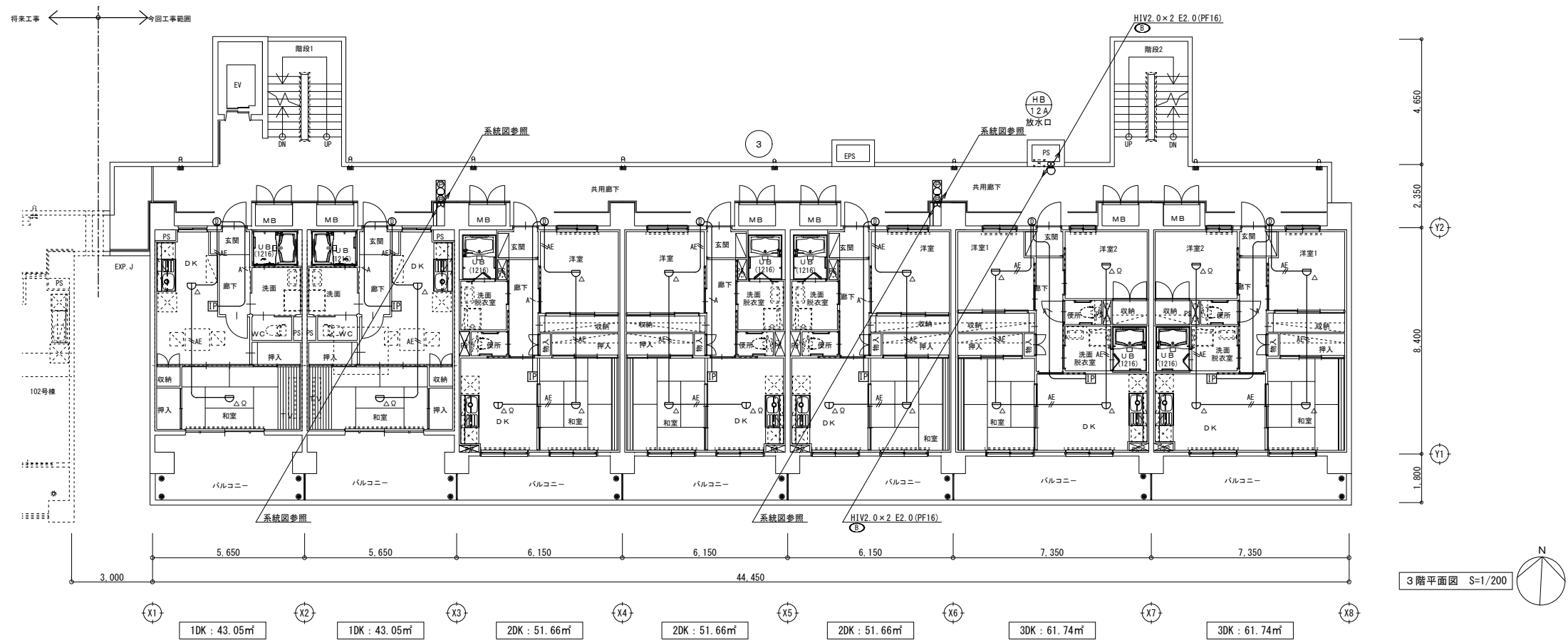
記 号	配 線	保護管
$\frac{AE}{P}$	EM-AE1. 2-2C	(PF16)
$\frac{AE}{PP}$	EM-AE1. 2-4C	(PF16)
$\frac{AE}{P}$	EM-AE1. 2-2C	(PF16)
$\frac{HP}{P}$	EM-HP1. 2-2C	(PF16)
$\frac{HP}{PP}$	EM-HP1. 2-5P	(PF22)
$\frac{HP}{PP}$	EM-HP1. 2-7P	(PF22)
$\frac{HP10P}{P}$	EM-HP1. 2-10P	(PF22)
$\frac{HP15P}{P}$	EM-HP1. 2-15P	(PF28)
$\frac{H}{P}$	HIV2. 0×2 E1. 6	(PF16)
$\frac{FP}{P}$	EM-FP-C2. 0-3C 1C:E	(PF22)
$\frac{A}{P}$	EM-HP1. 2-3C+EM-AE1. 2-4C	(PF22)
C	空配管 (導入線1. 2×1)	(傍記とする)

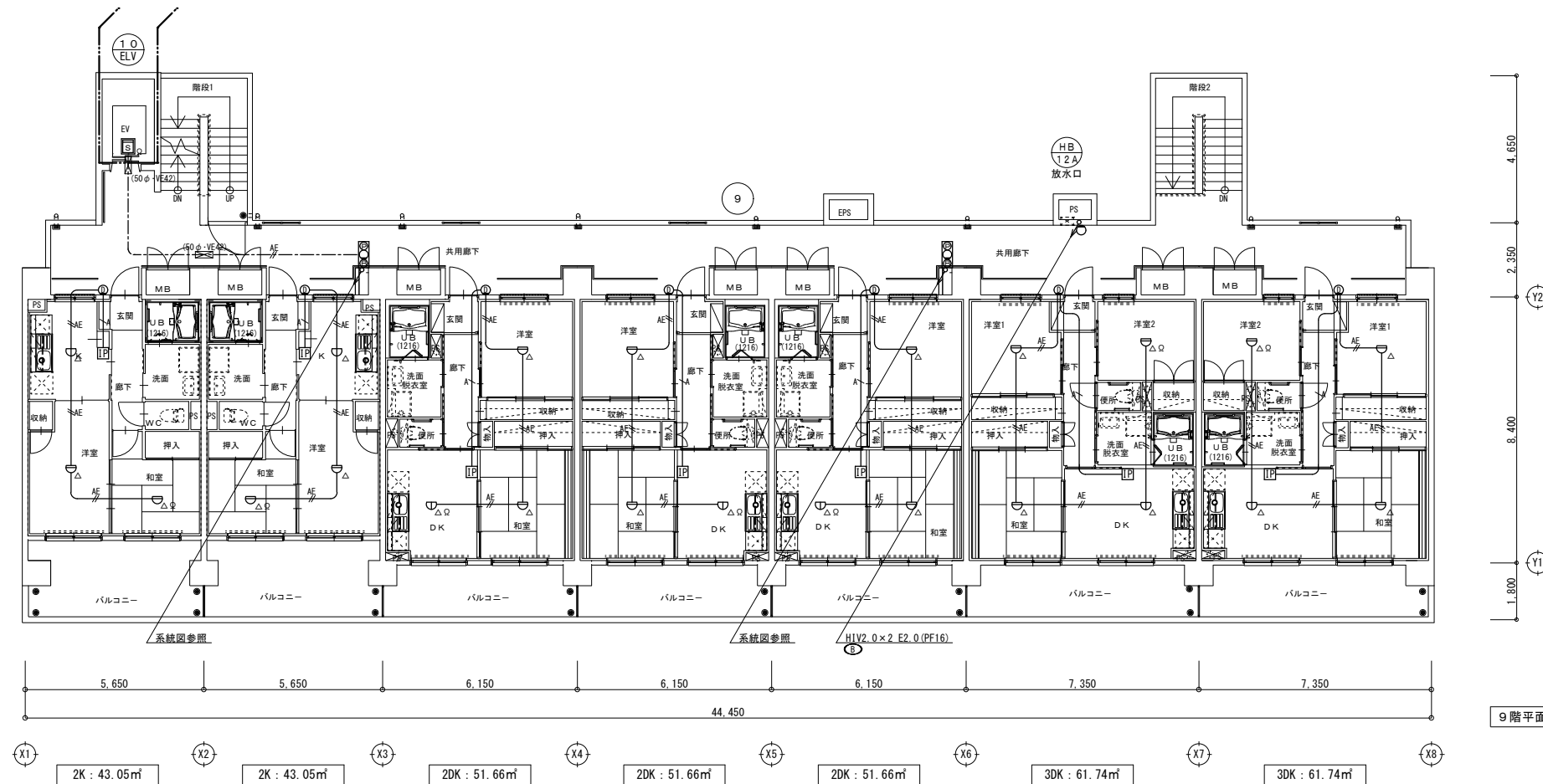


住戸用自動火災報知設備
・ 共同住宅用非常警報設備
系統図・水平距離範囲図

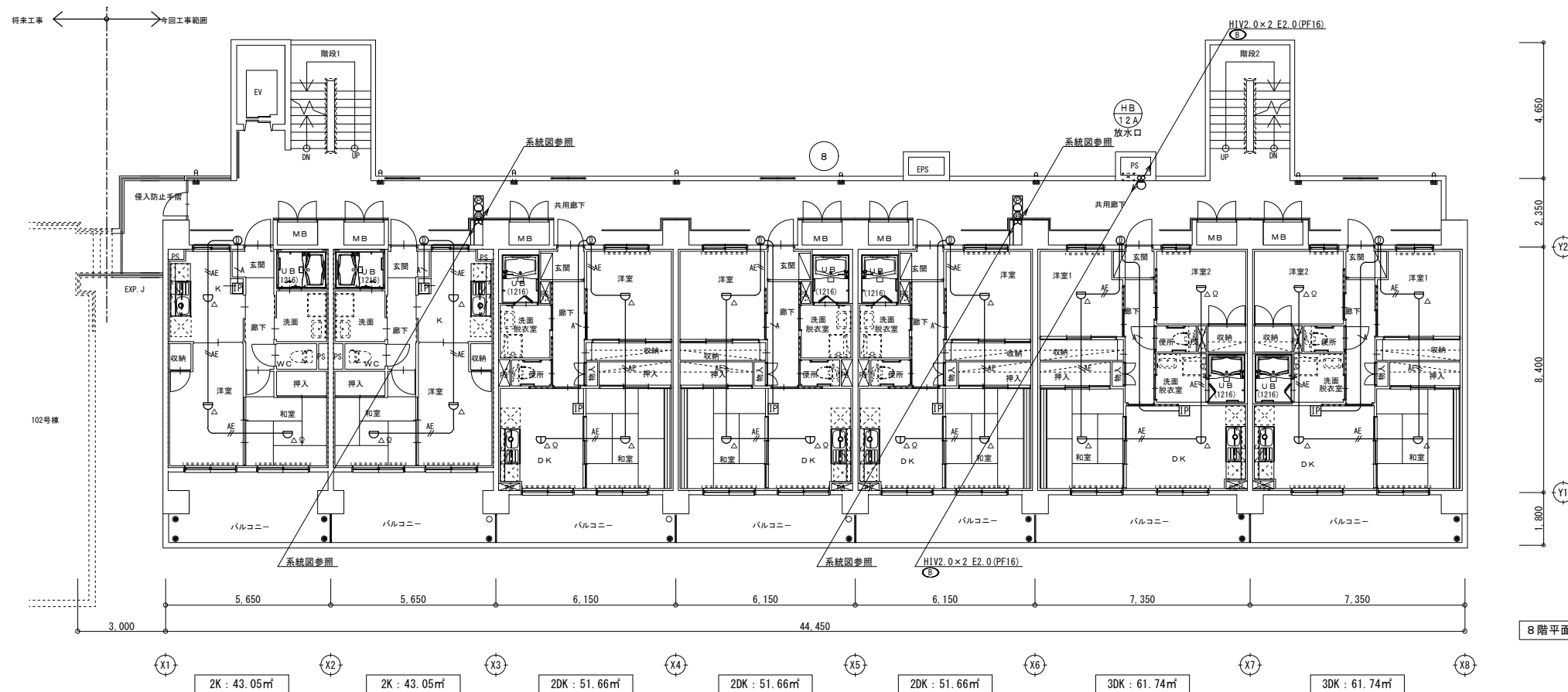









9階平面図 S=1/200



8階平面図 S=1/200



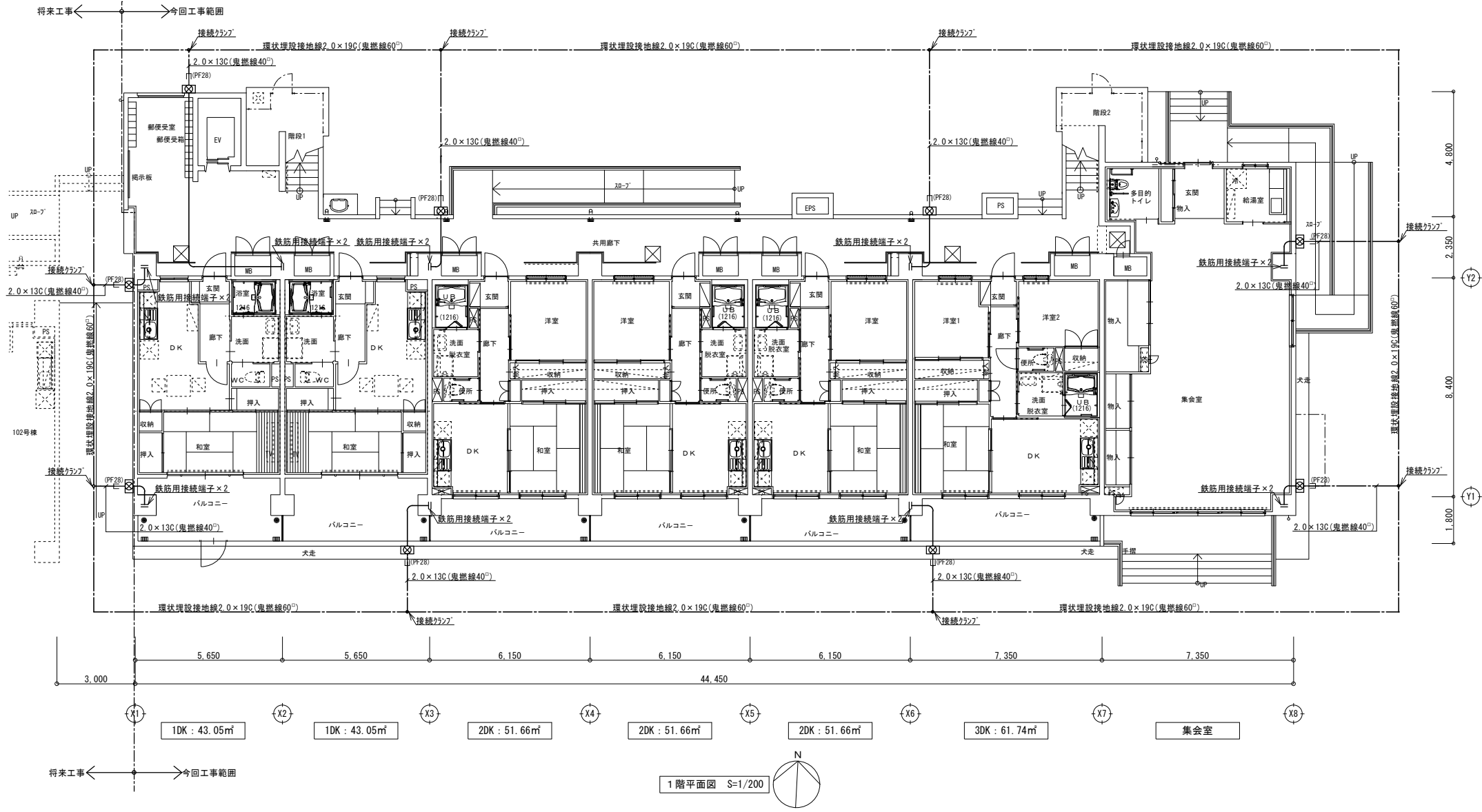
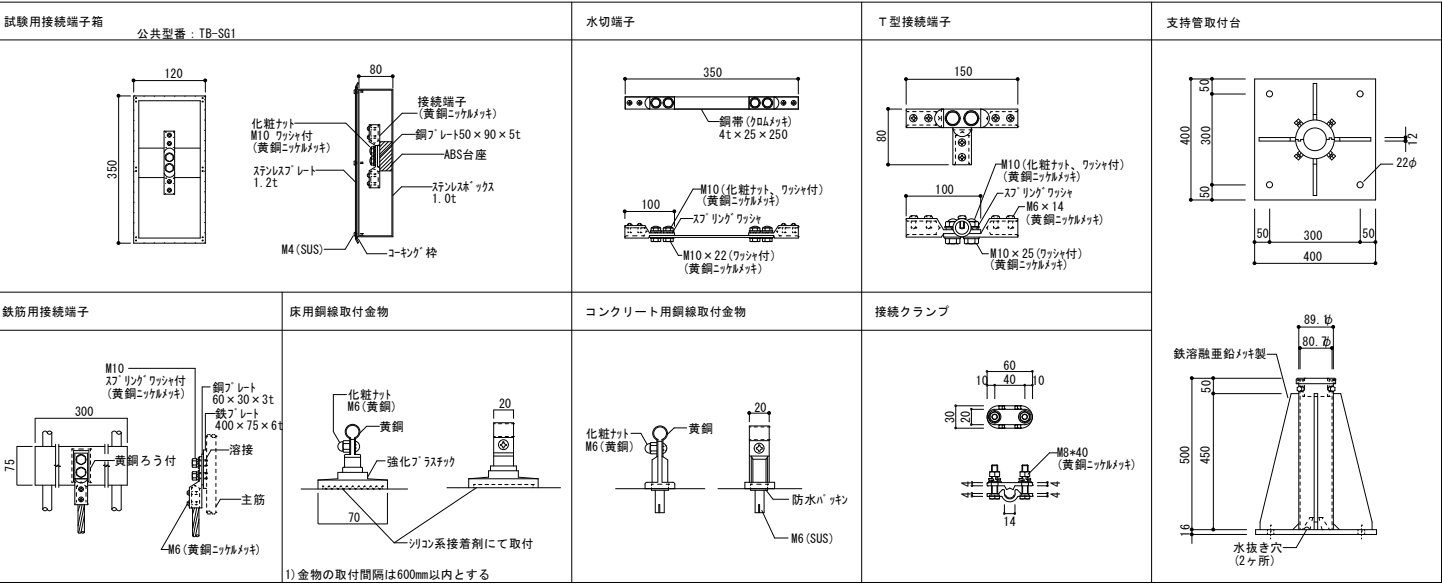
一級建築士事務所 知事登録第1-28-52号		武岡住宅101号棟新築電気設備工事	
 株式会社 ワーク設計	一級建築士登録番号96597号 春田 信行	住戸用自動火災報知設備 ・共同住宅用非常警報設備 8階・9階平面図	A1: 1/100 A3: 1/200
		鹿児島市建設局建築設備課	30 全 40

凡例表

記 号	名 称	仕 様	備 考
(機器)			
	避雷突針	LR1	
	支持管	S-7(溶融亜鉛メッキ) (89.1φ+60.5φ)	支持管取付台共
	銅線取付金物	コンクリート用	姿図参照
	引下げ導線	2.0×13G(鬼燈線40°)	
	接続クランプ	黄銅製	姿図参照
	水切端子	黄銅製	姿図参照
	T型接続端子	黄銅製	姿図参照
	鉄筋用接続端子	黄銅製	姿図参照
	試験用接続端子箱	TB-SG1	姿図参照

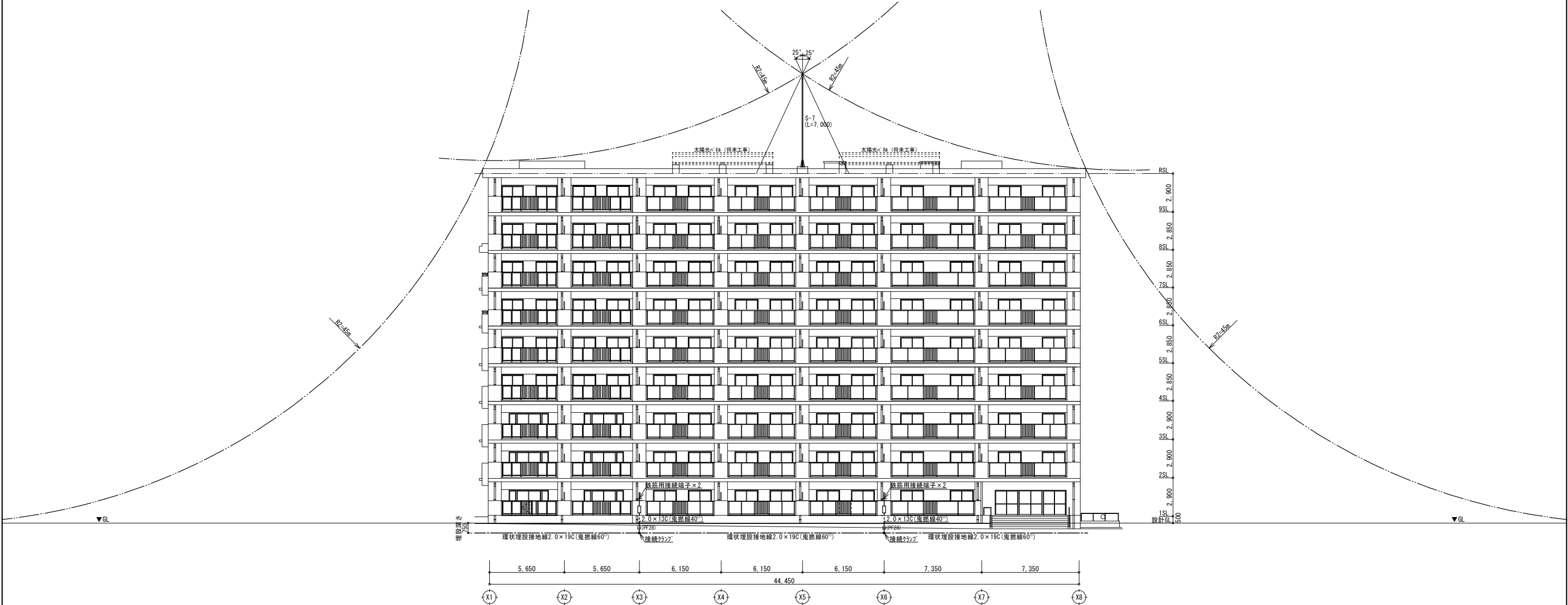
特記事項
1) JIS規格はJIS A 4201：2003としJIS規格に基づき施工を行うこと
2) 保護レベル：『Ⅲ』（住宅）
3) 接地極：B型接地極 環状接地極
4) 建築物の引下げ導線は、建築構造体利用とし、電氣的に確実に接続すること
5) 避雷針に伴う、耐風圧強度計算書を提出すること

避雷設備姿図



避雷突針	LR1
支持管	S-7 (溶融垂鉛メッキ) (89.1φ + 60.5φ)
支持管取付台	500×500 (鉄垂鉛メッキ製)
アンカーボルト	M16×600 (鉄垂鉛メッキ製)
棟上導体	(銅線2.0×13)
支線	3方支線22 [#] (鉄垂鉛メッキ製) 取付金具 (本工事) ケンパツナット×3

1) 耐風圧強度計算書を提出すること



南側立面図 S=1/300

特記事項
1) JIS規格はJIS A 4201 : 2003としJIS規格に基づき施工を行うこと
2) 保護レベル: 『Ⅲ』 (住宅)
3) 接地極: B型接地極 環状接地極
4) 建築物の引下導線は、建築構造体利用とし、電気的に確実に接続すること

保護レベルに応じた受雷部の配置

保護レベル	回転球体法	保護角法
	回転球体 R (m)	hに応じた保護角α (°)
Ⅲ	45	45m
		25

1) R : 回転球体法の球体半径を表す
2) h : 地表面から受雷部の上端までの高さを表す

保護レベルに応じた引下導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔 (m)
Ⅲ	20

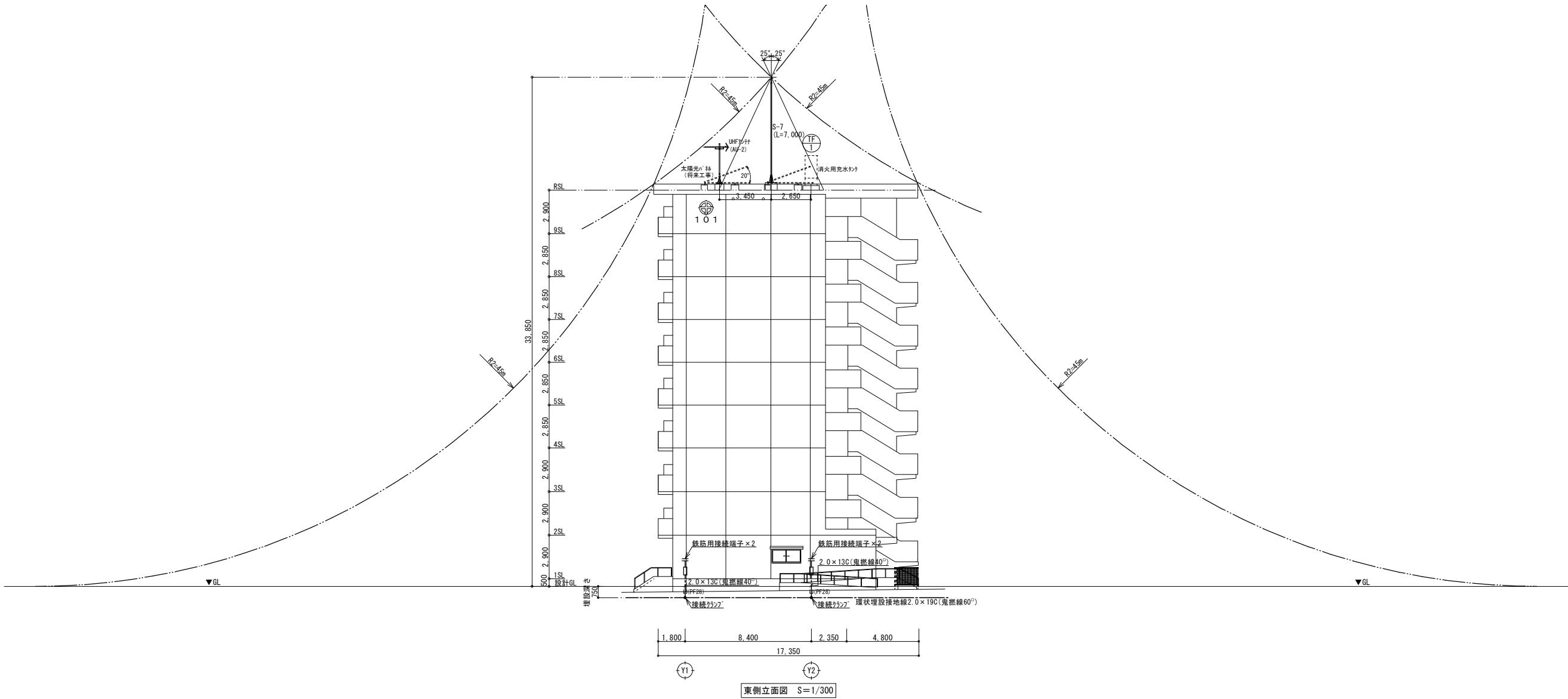
受雷部における金属材料

材料	受電部材料の 最小断面積 (mm ²)	受雷部材料の最小厚さ		
		金属板を利用する場合の 最小厚さ		金属管を利用 する場合の 最小厚さ t' (mm)
		t (mm)	t' (mm)	
鉄	50	4	0.5	2.5
銅	35	5		
アルミニウム	70	7	1	

1) t : 金属板が、雷電流によって穴があいてはならない構造のもの
かつ、高温になつてはならないものの最小厚さを表す
2) t' : 金属板又は金属管が、雷電流によって穴があいても差し支えない構造のもの
かつ、下部に着火する可燃性がない場合の最小厚さを表す
3) 避雷導線より水平距離1.5m以内の金属体は全てEM-IE14[#]以上を用いて避雷導線と接続すること

避雷突針	LR1
支持管	S-7 (溶融垂鉛メッキ) (89.1φ+60.5φ)
支持管取付台	500×500 (鉄垂鉛メッキ製)
アンカーボルト	M16×600 (鉄垂鉛メッキ製)
棟上導体	(銅線2.0×13)
支線	3方支線22 [#] (鉄垂鉛メッキ製) 取付金具 (本工事) 樹脂パッキン×3

1) 耐風圧強度計算書を提出すること



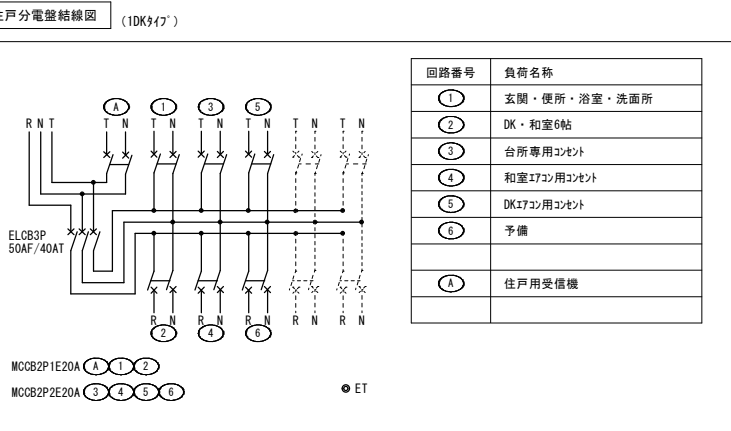
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	※
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	集会室	※

住戸キープラン 1) ※：平面詳細図の反転を表す
2) ■：当該部屋を表す

記号	ボックス仕様	
1	アクリルボックス（樹脂製） 四角中浅	塗代カバー付
2	アクリルボックス（樹脂製） 四角大深	塗代カバー付
3	スリットボックス（樹脂製） 5個用	塗代カバー無
4	スリットボックス（樹脂製） 2個用（セパレータ付）	塗代カバー付
5	スリットボックス（樹脂製） 3個用（セパレータ付）	塗代カバー付
6	スリットボックス（樹脂製） 4個用（セパレータ付）	塗代カバー付
7	アクリルボックス（金属製） 四角中浅	塗代カバー付
8	アクリルボックス（金属製） 四角大深	塗代カバー付

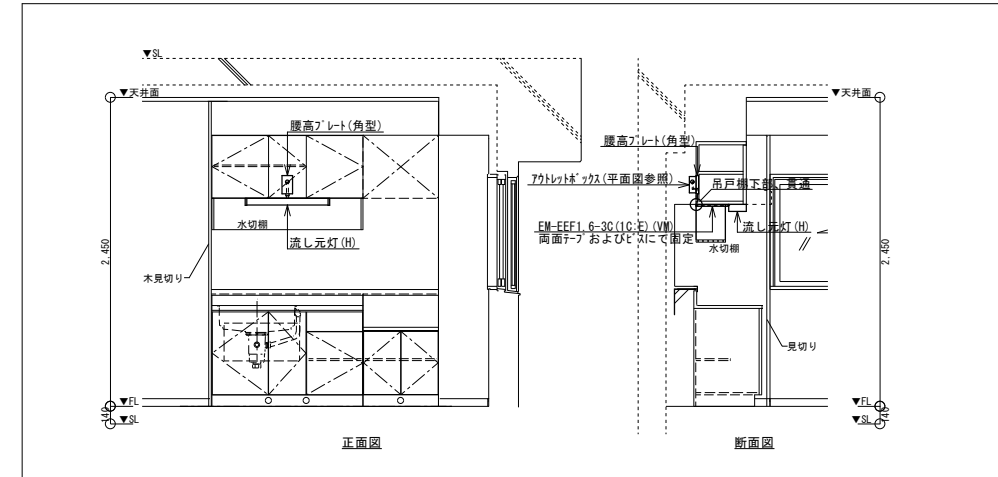
器具取付高さ	
スイッチ	H=1,300
コンセント（一般）	H=300
コンセント（和室）	H=150
コンセント（エアコン）	CH
コンセント（洗濯機）	H=1,300
コンセント（冷蔵庫）	H=1,800
コンセント（台所専用）	H=1,300
電話	H=300
テレビ（一般）	H=300
テレビ（和室）	H=150
テレビ押印	H=1,300

注記		
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による		
記 号	配 線	保護管
— # —	EM-1E1.6×2	(PF16)
— ## —	EM-1E1.6×3	(PF16)
— ### —	EM-1E1.6×4	(PF16)
— #### —	EM-1E1.6×5	(PF16)
— #/ —	EM-1E1.6×2 E1.6	(PF16)
— 2.0 #/ —	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
— H —	HIV2.0×2 E1.6	(PF16)
— — — — —	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
— — — — —	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
— F4 — — — —	EM-EEF1.6-2C×2	(PF22)
— 2F3 — — — —	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
— — — — —	EM-EEF1.6-3C	(VM)
— C — — — —	空配管（導入線1.2×1）	（傍記とする）
2) ふかし壁・Co壁の下下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること		
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること（付イ）は図示のとおり		
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと（国土交通大臣認定工法）		



注記	
1) 仕様：屋内壁掛型 樹脂製 カバー付（住宅用分電盤）	
2) 漏電遮断器の感度電流は30mA、動作時間は0.1sec以下としOC機能付きとする。	
また、中性線欠相保護機能付きとする。	
3) 分岐回路は全て200V切替え可能型とする。	

流し元灯取付詳細図 S=1/60 1) 各戸共通とする

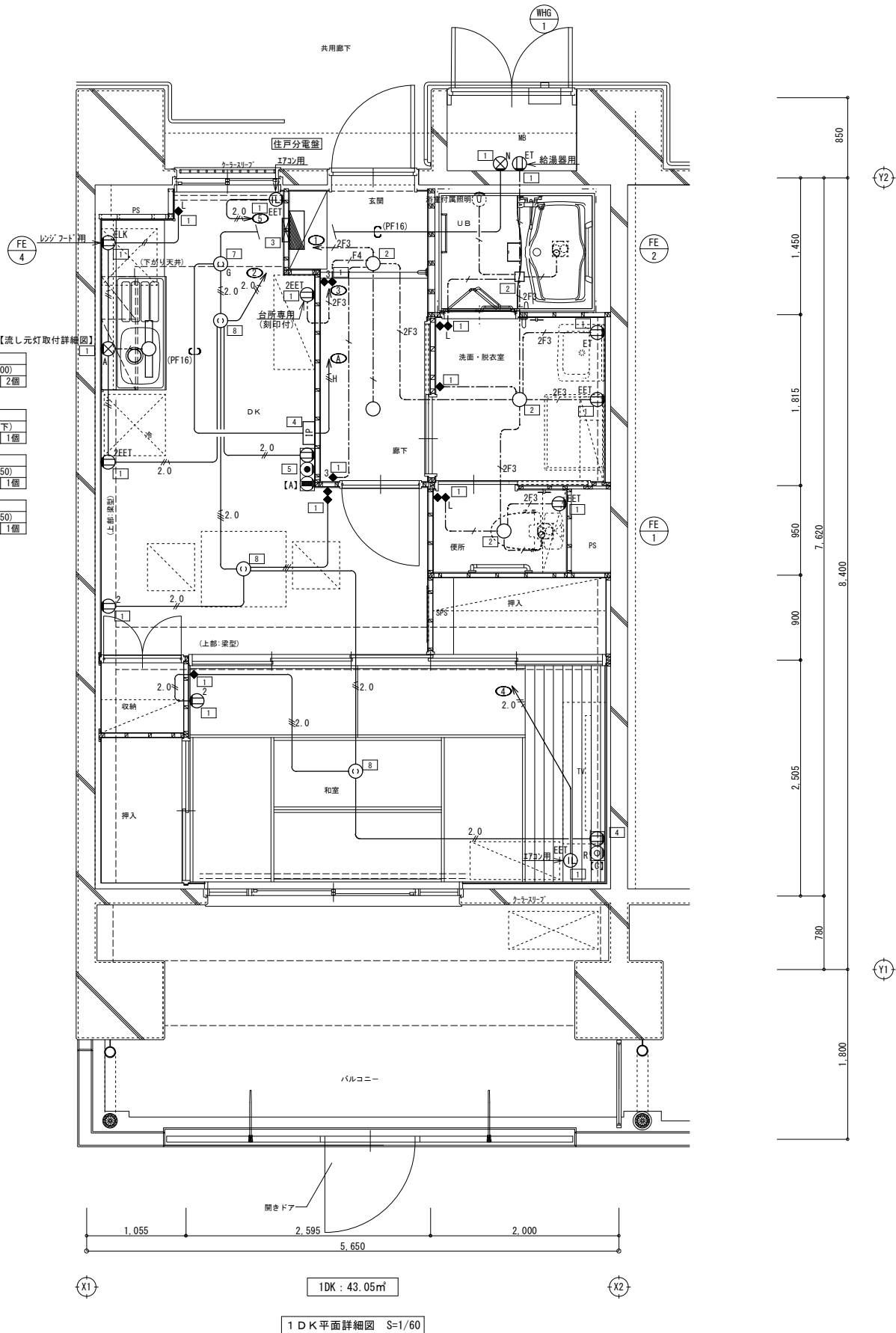


玄関・廊下	
取付高 (CH=2,300)	
I	2個

DK	
天井高 (吊戸棚下)	
G	1個

洗面	
取付高 (CH=2,450)	
H	1個

便所	
取付高 (CH=2,450)	
I	1個

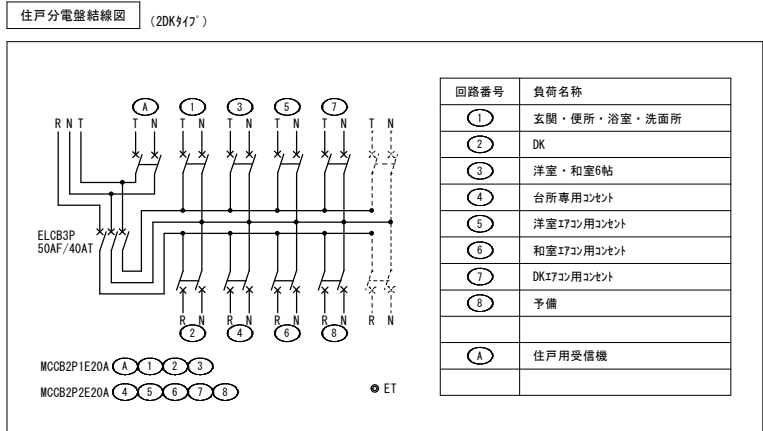


2K	2K	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	9F
2K	2K	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	8F
2K	2K	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	7F
2K	2K	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	6F
2K	2K	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	5F
2K	2K	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	4F
1DK	1DK	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	3F
1DK	1DK	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	2F
1DK	1DK	※	2DK	2DK	※	2DK	3DK	※	3DK	※	1F

住戸キープラン 1) ※：平面詳細図の反転を表す
2) ■：当該部屋を表す

記号	配線	保護管
—#—	EM-1E1.6×2	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×3	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×4	(PF16)
—##—	EM-1E1.6×5	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×2 E1.6	(PF16)
—#—	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
—#—	HIV2.0×2 E1.6	(PF16)
—#—	EM-EF1.6-2C	(PF16)
—#—	EM-EF1.6-3C	(PF22)
—#—	EM-EF1.6-2C×2	(PF22)
—#—	EM-EF2.0-3C	(PF22)
—#—	EM-EF1.6-3C	(VM)
—C—	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)

2) ふかし壁・Co壁の下下り・立上げ部分は保護管にて保護すること
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(付イ)は図示のとおり
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)



1) 仕様：屋内壁掛型 樹脂製 かん付(住宅用分電盤)
2) 漏電遮断器の感度電流は30mA、動作時間は0.1sec以下としOC機能付きとする。 また、中性線欠相保護機能付きとする。
3) 分岐回路は全て200V切替え可能型とする。

記号	ボックス仕様
1	アットレック'ックス(樹脂製) 四角中浅 塗代かん付
2	アットレック'ックス(樹脂製) 四角大深 塗代かん付
3	スイッチ'ックス(樹脂製) 5個用 塗代かん無
4	スイッチ'ックス(樹脂製) 2個用(かんレ付) 塗代かん付
5	スイッチ'ックス(樹脂製) 3個用(かんレ付) 塗代かん付
6	スイッチ'ックス(樹脂製) 4個用(かんレ付) 塗代かん付
7	アットレック'ックス(金属製) 四角中浅 塗代かん付
8	アットレック'ックス(金属製) 四角大深 塗代かん付

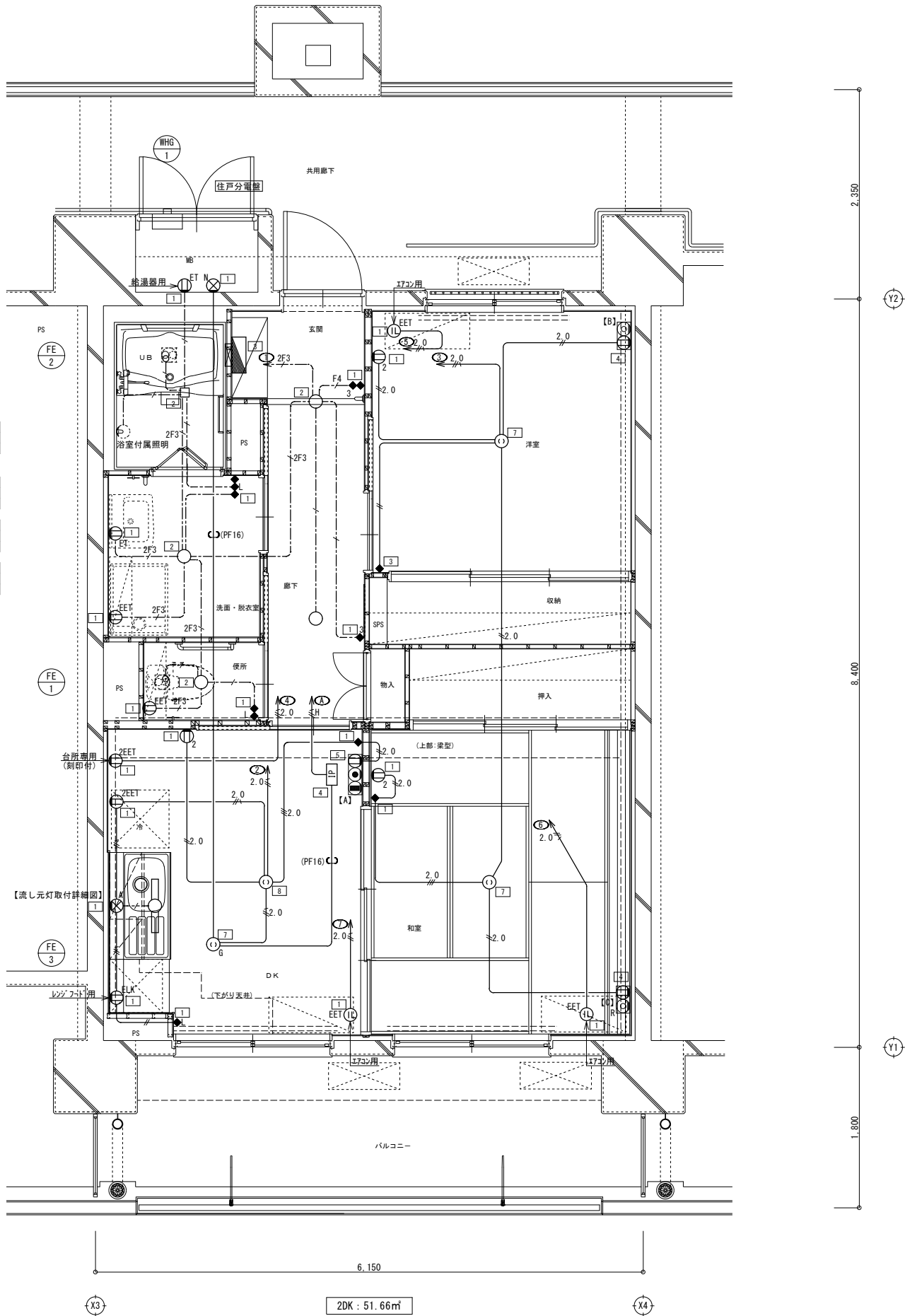
種別	高さ
スイッチ	H=1,300
コンセント(一般)	H=300
コンセント(和室)	H=150
コンセント(エアコン)	CH
コンセント(洗濯機)	H=1,300
コンセント(冷蔵庫)	H=1,800
コンセント(台所専用)	H=1,300
電話	H=300
テレビ(一般)	H=300
テレビ(和室)	H=150
テレビ押釦	H=1,300

玄関・廊下
取付高 (CH=2,300)
1 2個

DK
天井高 (吊戸棚下)
G 1個

洗面
取付高 (CH=2,450)
H 1個

便所
取付高 (CH=2,450)
I 1個

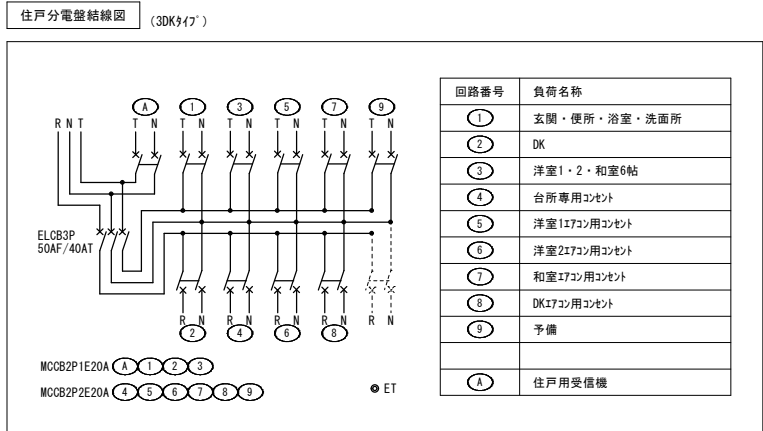


2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	9F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	8F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	7F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	6F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	5F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	4F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	3F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	2F
						集会室	1F

住戸キープラン 1) ※：平面詳細図の反転を表す
2) ■：当該部屋を表す

記 号	配 線	保護管
—#—	EM-1E1.6×2	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×3	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×4	(PF16)
—##—	EM-1E1.6×5	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×2 E1.6	(PF16)
—#—	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
—#—	HIV2.0×2 E1.6	(PF16)
—#—	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
—#—	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
—#—	EM-EEF1.6-2C×2	(PF22)
—#—	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
—#—	EM-EEF1.6-3C	(VM)
—C—	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)

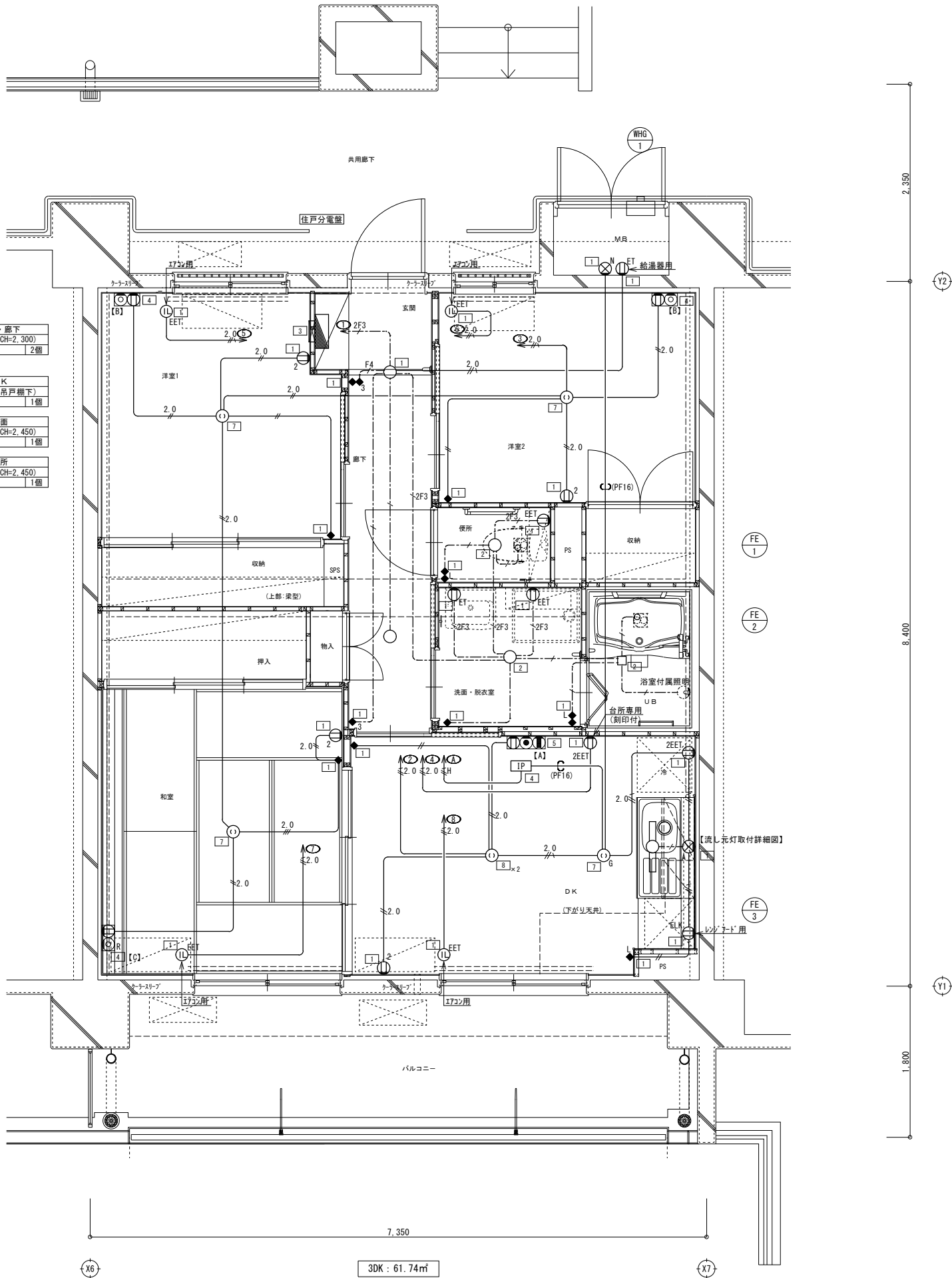
2) ふかし壁・Co壁の下下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(※は図示のとおり)
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)



注 記
1) 仕様：屋内壁掛型 樹脂製 かん付(住宅用分電盤)
2) 漏電遮断器の感度電流は30mA、動作時間は0.1sec以下としOC機能付きとする。 また、中性線欠相保護機能付きとする。
3) 分岐回路は全て200V切替え可能型とする。

ボ ッ ク ス 仕 様		
①	70トレッドボックス（樹脂製）	四角中浅 差代かん付
②	70トレッドボックス（樹脂製）	四角大深 差代かん付
③	スイッチボックス（樹脂製）	5個用 差代かん無
④	スイッチボックス（樹脂製）	2個用（セパレート付） 差代かん付
⑤	スイッチボックス（樹脂製）	3個用（セパレート付） 差代かん付
⑥	スイッチボックス（樹脂製）	4個用（セパレート付） 差代かん付
⑦	70トレッドボックス（金属製）	四角中浅 差代かん付
⑧	70トレッドボックス（金属製）	四角大深 差代かん付

器具取付高さ	
種別	高さ
スイッチ	H=1,300
コンセント（一般）	H=300
コンセント（和室）	H=150
コンセント（エアコン）	CH
コンセント（洗濯機）	H=1,300
コンセント（冷蔵庫）	H=1,800
コンセント（台所専用）	H=1,300
電話	H=300
テレビ（一般）	H=300
テレビ（和室）	H=150
テレビ押釦	H=1,300



3DK: 61.74㎡

3DK平面詳細図 S=1/60

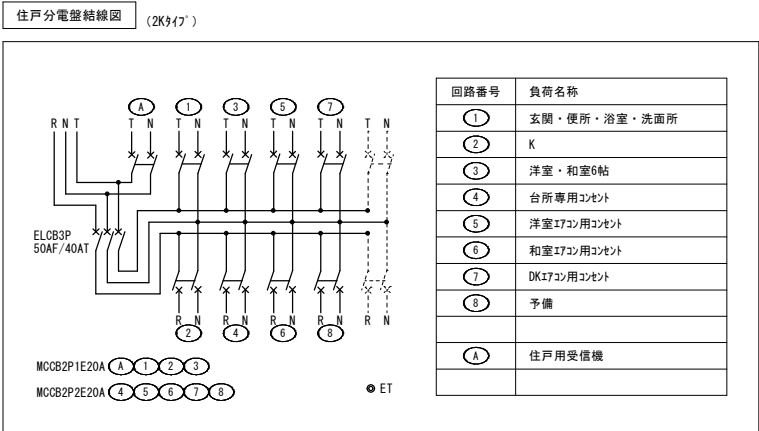
一級建築士事務所 知事登録第1-28-52号		武岡住宅101号棟新築電気設備工事	
	株式会社 ワーク設計	3DK平面詳細図	A1: 1/30 A3: 1/60
		鹿児島市建設局建築部設備課	全 40

2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	9F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	8F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	7F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	6F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	5F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	4F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	3F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	2F
							1F

住戸キープラン

1) ※：平面詳細図の反転を表す
2) ■：当該部屋を表す

注記		
1) 図中特記無き配管・配線は下記による		
記号	配線	保護管
—●—	EM-1E1.6×2	(PF16)
—●—	EM-1E1.6×3	(PF16)
—●—	EM-1E1.6×4	(PF16)
—●—	EM-1E1.6×5	(PF16)
—●—	EM-1E1.6×2 E1.6	(PF16)
—●—	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
—●—	HIV2.0×2 E1.6	(PF16)
—●—	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
—●—	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
—●—	EM-EEF1.6-2C×2	(PF22)
—●—	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
—●—	EM-EEF1.6-3C	(VM)
—●—	空配管(導入線1.2×1)	(傍記とする)
2) ふかし壁・Co壁の立下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること		
3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること(付注は図示のとおり)		
4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと(国土交通大臣認定工法)		



注記	
1) 仕様：屋内壁掛型 樹脂製 加付(住宅用分電盤)	
2) 漏電遮断器の感度電流は30mA、動作時間は0.1sec以下としOC機能付きとする。	
また、中性線欠相保護機能付きとする。	
3) 分岐回路は全て200V切替え可能型とする。	

記号	ボックス仕様
1	70トレットボックス(樹脂製) 四角中浅 塗代加付
2	70トレットボックス(樹脂製) 四角大深 塗代加付
3	スイッチボックス(樹脂製) 5個用 塗代加付無
4	スイッチボックス(樹脂製) 2個用(レバー付) 塗代加付
5	スイッチボックス(樹脂製) 3個用(レバー付) 塗代加付
6	スイッチボックス(樹脂製) 4個用(レバー付) 塗代加付
7	70トレットボックス(金属製) 四角中浅 塗代加付
8	70トレットボックス(金属製) 四角大深 塗代加付

器具取付高さ	
種別	高さ
スイッチ	H=1,300
コンセント(一般)	H=300
コンセント(和室)	H=150
コンセント(エアコン)	CH
コンセント(洗濯機)	H=1,300
コンセント(冷蔵庫)	H=1,800
コンセント(台所専用)	H=1,300
電話	H=300
テレビ(一般)	H=300
テレビ(和室)	H=150
テレビ押釦	H=1,300

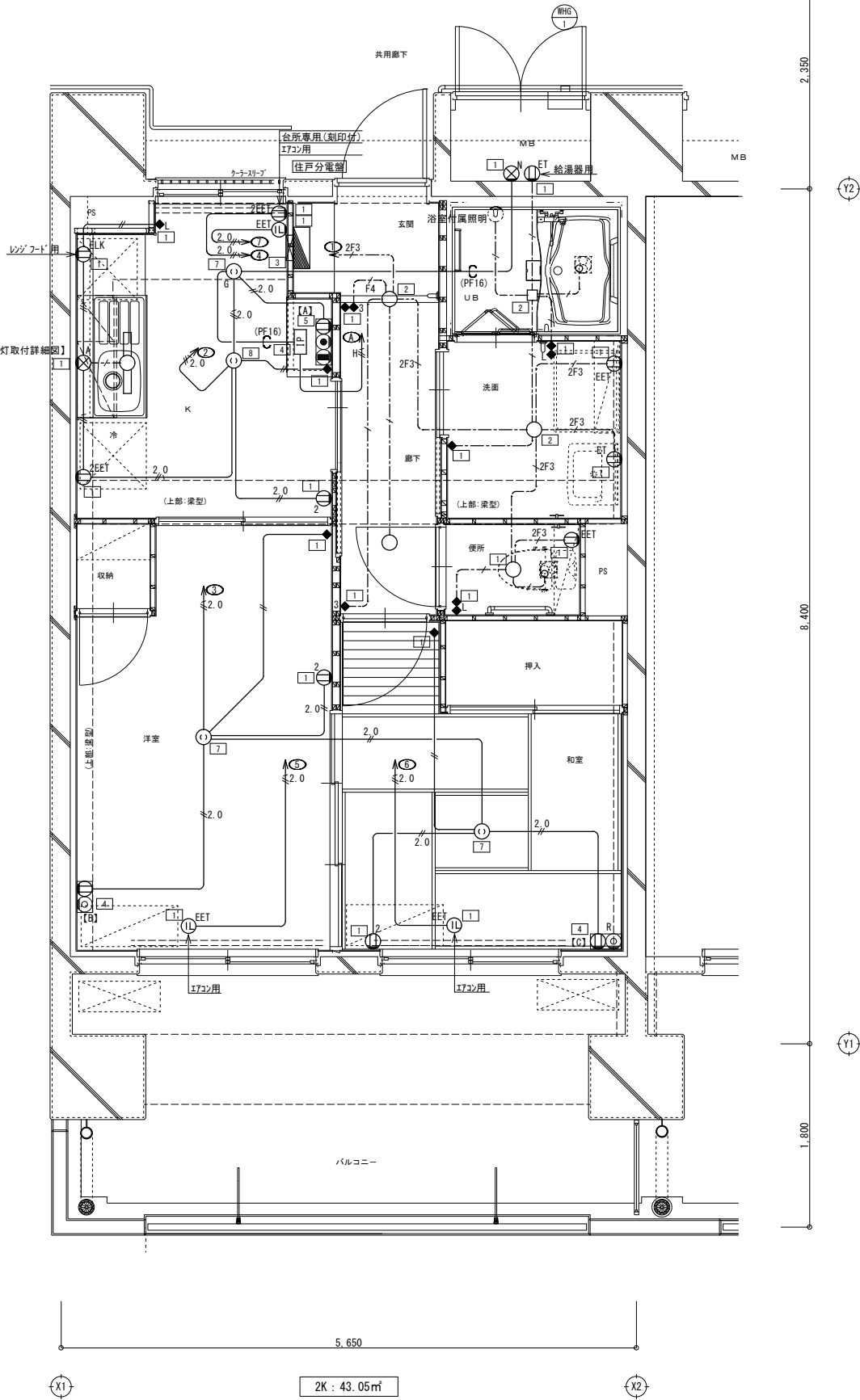
玄関・廊下	
取付高 (CH=2,300)	
I	2個

K	
天井高 (吊戸棚下)	
G	1個

洗面	
取付高 (CH=2,450)	
H	1個

便所	
取付高 (CH=2,450)	
I	1個

【流し元灯取付詳細図】



2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	9F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	8F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	7F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	6F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	5F
2K	2K	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	4F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	3F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	3DK	2F
1DK	1DK	2DK	2DK	2DK	3DK	集会室	1F

住戸キープラン

1) ※：平面詳細図の反転を表す
ハコニ側より

2) ■：当該部屋を表す

注記

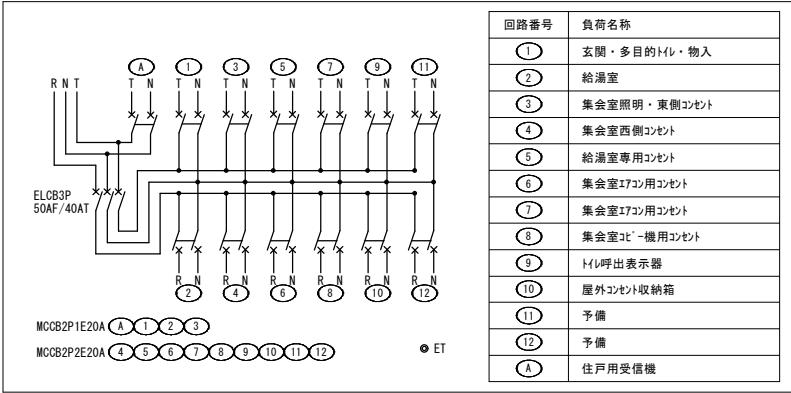
1) 図中特記無き配管・配線サイズは下記による		
記 号	配 線	保護管
—#—	EM-1E1.6×2	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×3	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×4	(PF16)
—##—	EM-1E1.6×5	(PF16)
—#—	EM-1E1.6×2 E1.6	(PF16)
—2.0—	EM-1E2.0×2	(PF16)
—2.0—	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
—2.0—	EM-1E2.0×2 E1.6	(PF16)
—2.0—	EM-1E2.0×7 E1.6	(PF22)
—2.0—	EM-1E2.0×8 E1.6	(PF22)
—#—	HIV2.0×2 E1.6	(PF16)
—#—	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
—#—	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
—#—	EM-EEF1.6-3C	(VM)
—2.0—	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
—AE—	EM-AE1.2-2C×2	(PF16)
—AE—	EM-AE1.2-2C	(PF16)
—C—	空配管 (導入線1.2×1)	(傍記とする)

2) ふかし壁・Ce壁の下下げ・立上げ部分は保護管にて保護すること

3) 貫通ヶ所は、保護管にて保護すること (サイズは図示のとおり)

4) 防火区画を貫通する配線ヶ所は、貫通処理を施すこと (国土交通大臣認定工法)

集会室分電盤結線図



注記

- 仕様：屋内壁掛型 樹脂製 かん付 (住宅用分電盤)
- 漏電遮断器の感度電流は30mA、動作時間は0.1sec以下としOC機能付きとする。
また、中性線欠相保護機能付きとする。
- 分岐回路は全て200V切替え可能型とする。

器具取付高さ

記号	ボックス仕様
1	700mm×700mm (樹脂製) 四角中浅 差代かん付
2	700mm×700mm (樹脂製) 四角大深 差代かん付
3	500mm×500mm (樹脂製) 5個用 差代かん付
4	500mm×500mm (樹脂製) 2個用 (かん付) 差代かん付
5	500mm×500mm (樹脂製) 3個用 (かん付) 差代かん付
6	500mm×500mm (樹脂製) 4個用 (かん付) 差代かん付
7	700mm×700mm (金属製) 四角中浅 差代かん付
8	700mm×700mm (金属製) 四角大深 差代かん付

種別	高さ
スイッチ	H=1,300
コンセント (一般)	H=300
コンセント (和室)	H=150
コンセント (エアコン)	CH
コンセント (洗濯機)	H=1,300
コンセント (冷蔵庫)	H=1,800
コンセント (台所専用)	H=1,300
電話	H=300
テレビ (一般)	H=300
テレビ (和室)	H=150
テレビ押釦	H=1,300

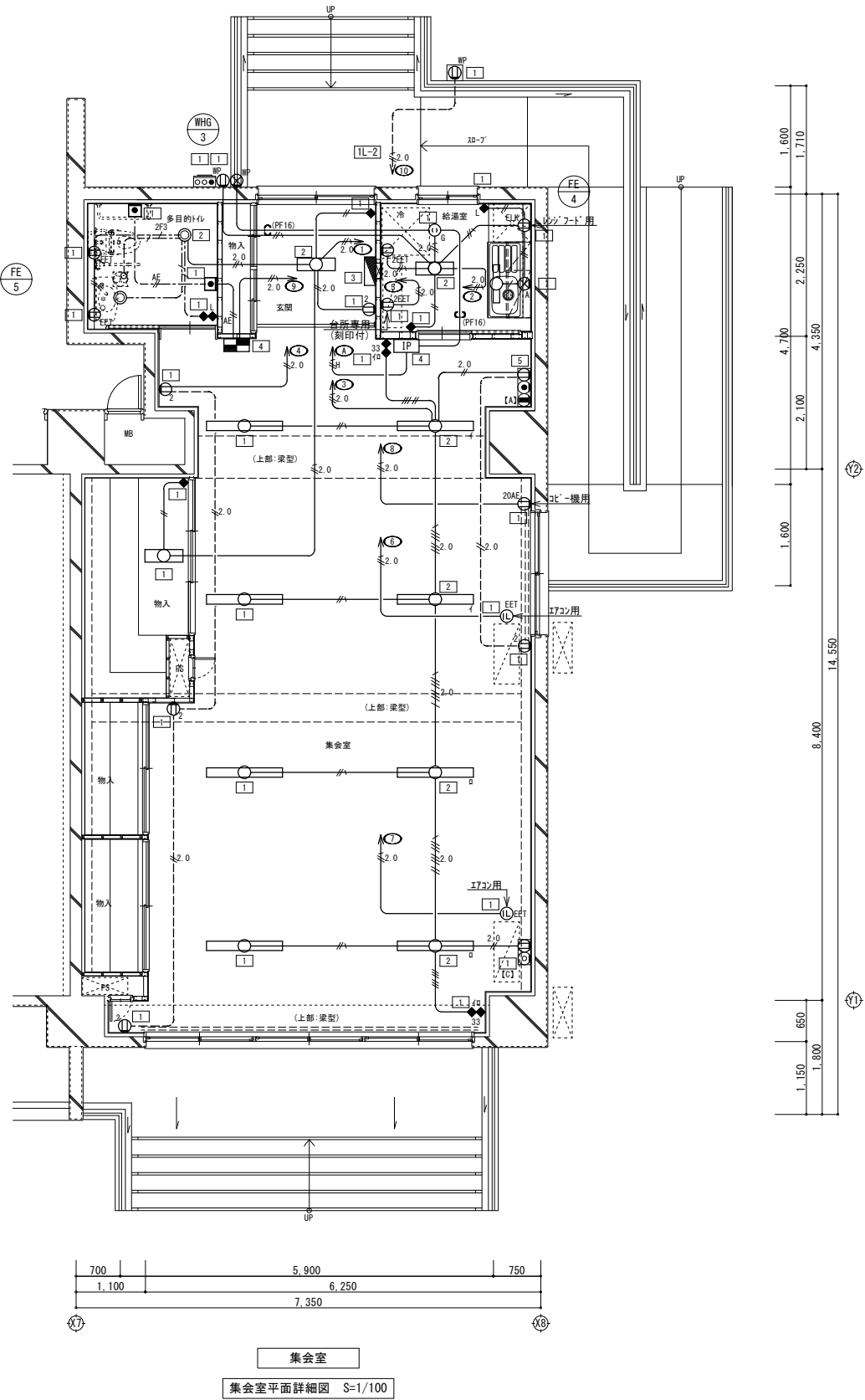
玄関
天井高 (CH=2,400)
B 1個

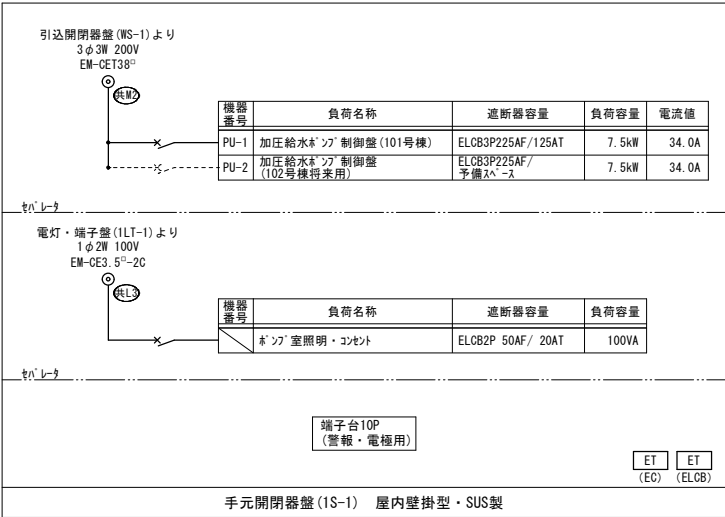
多目的トイレ
天井高 (CH=2,400)
E 2個

給湯室
天井高 (CH=2,400)
B 1個
G 1個

集会室
天井高 (CH=2,400)
A 8個

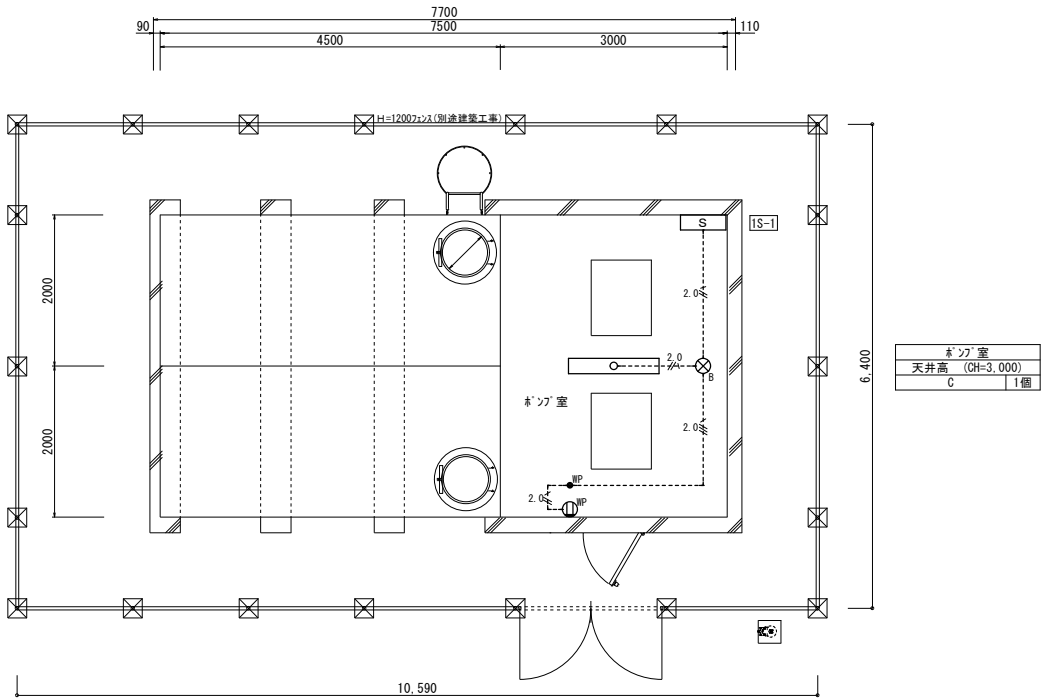
物入
天井高 (CH=2,400)
B 1個



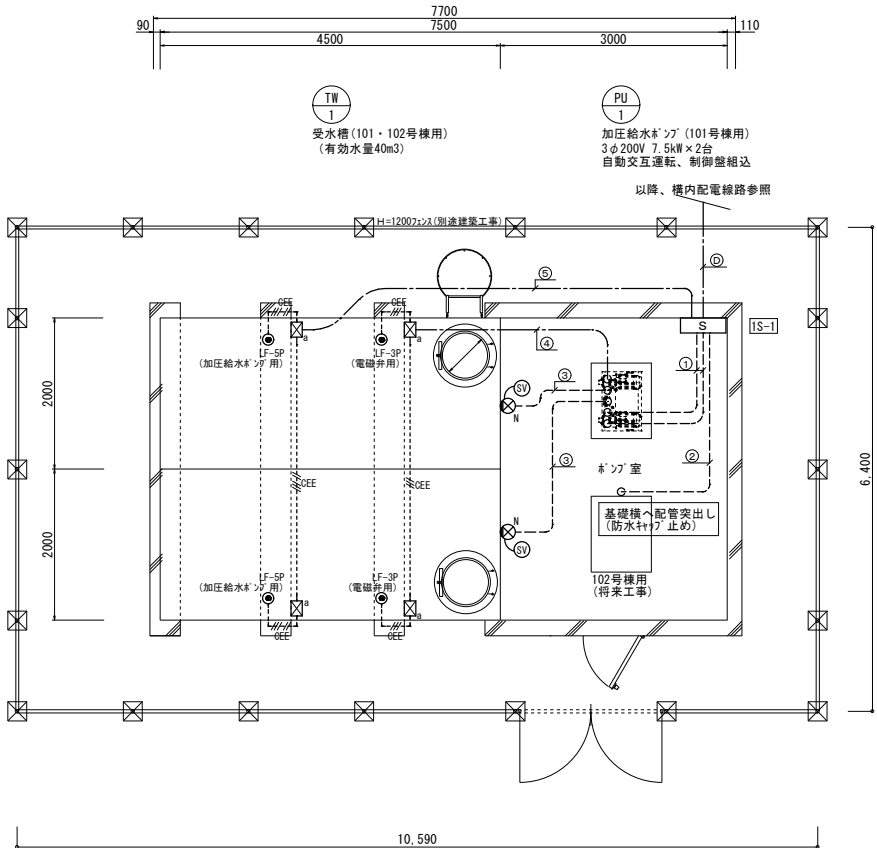


注記		
1) 図中特記無き配管・配線は下記による		
記号	配線	保護管
2φ	EM-1E2.0×2 E1.6	(ZnGP22)
2φ	EM-1E2.0×3 E1.6	(ZnGP22)
CEE	EM-CEE2 [□] -3C	(ZnGP22～F2-WP24)
CEE	EM-CEE2 [□] -5C	(ZnGP22～F2-WP24)
C	空配管 (導入線1.2×1)	(傍記とする)
2) ◎: 配線リスト参照		
3) 電極・電磁弁・ポンプ位置は参考とし、別途機械設備と協議の上決定すること		
4) 受水槽露出配管 (電極) は、受水槽架台 (別途機械設備工事) に支持すること		
5) ガラスからテープは露出する場合は、スリッパチューブにて保護すること		
6) 配管露出部分は、ZnGP及びF2-WPにて施工すること		

配線リスト					
	配線	保護管	径間	種別	
①	EM-CE38 [□] E5.5 [□] ×2	(FEP50)	引込開閉器盤 (WS-1) ～ ポンプ手元開閉器盤 (IS-1)	電磁弁	3φ3W
	EM-CE3.5 [□] -2C	(FEP30)	共用電灯・端子盤 (1LT-1) ～ ポンプ手元開閉器盤 (IS-1)	電灯	1φ2W (100V)
	EM-CEE2 [□] -4C	(FEP30)	共用電灯・端子盤 (1LT-1) ～ ポンプ手元開閉器盤 (IS-1)	警報	
②	EM-CE8 [□] -3C E8 [□]	(ZnGP28～PF28～ZnGP28～F2-WP30)	ポンプ手元開閉器盤 (IS-1) ～ ポンプ制御盤	電極・電磁弁	3φ3W
	EM-CEE2 [□] -12C	(ZnGP28～PF28～ZnGP28～F2-WP30)	ポンプ手元開閉器盤 (IS-1) ～ ポンプ制御盤	電極・電磁弁	3φ3W
③	C	(ZnGP28～PF28～ZnGP28)	予備 (102号機ポンプ制御盤用)	電極・電磁弁	3φ3W
	C	(ZnGP28～PF28～ZnGP28)	予備 (102号機ポンプ制御盤用)	電極・電磁弁	3φ3W
④	EM-CEE2 [□] -2C	(ZnGP22～PF22～F2-WP24)	ポンプ制御盤 ～ 電磁弁	電磁弁	
⑤	EM-CEE2 [□] -6C	(FEP30～ZnGP22～F2-WP24)	ポンプ制御盤 ～ 電極 (電磁弁用)	電極 (電磁弁)	
⑥	EM-CEE2 [□] -10C	(FEP30～ZnGP28～F2-WP30)	ポンプ手元開閉器盤 (IS-1) ～ 電極 (電磁弁用)	電極 (加圧給水ポンプ)	



受水槽ポンプ室平面詳細図 S=1/100
【電灯設備 (電灯分岐)】



受水槽ポンプ室平面詳細図 S=1/100
【動力設備 (動力分岐)】